

令和8年度 岡山市消防団大野分団機庫新築工事

図面リスト								
【意匠】	図面名	縮尺		図面名	縮尺	【電気設備】	図面名	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	—	A-19	展開図	A3 1/80	E-01	岡山市建築設備工事(電気)仕様書	—
A-01	木造建築工事特記仕様書 1	—	A-20	建具表	A3 1/100	E-02	電気設備配置図	A3 1/300
A-02	木造建築工事特記仕様書 2	—	A-21	屋根詳細図	A3 1/4	E-03	1・2階電気設備平面図	A2 1/50
A-03	木造建築工事特記仕様書 3	—	A-22	ホース乾燥塔詳細図	A3 1/50			
A-04	木造建築工事特記仕様書 4	—	A-23	ホース乾燥塔基礎詳細図	A3 1/30 1/60	【機械設備】		
A-05	木造建築工事特記仕様書 5	—	A-24	便槽詳細図	A3 1/30	M-01	岡山市建築設備工事(機械)仕様書	—
A-06	木造建築工事特記仕様書 6	—	A-25	外構改修図(1)	A3 1/40 1/50 1/200	M-02	機械設備配置図	A3 1/150
A-07	木造建築工事特記仕様書 7	—	A-26	外構改修図(2)	A3 1/5 1/6 1/50	M-03	1・2階機械設備平面詳細図, 換気機器リスト	A2 1/50
A-08	建築概要・仕上表	—						
A-09	附近見取図・配置図	A3 1/300 1/2500						
A-10	仮設計画図(参考)兼外構図・外構詳細図	A3 1/10 1/300	【構造】					
A-11	面積表	A3 1/100 1/300	S-01	木造在来軸組工法標準納まり図(1)	—			
A-12	平面図・天井伏図	A3 1/100	S-02	木造在来軸組工法標準納まり図(2)	—			
A-13	壁量計算表(1)	A3 1/100	S-03	木造在来軸組工法標準納まり図(3)	—			
A-14	壁量計算表(2)・LVS検討表	A3 1/150	S-04	基礎伏図・杭伏図・基礎詳細図	A3 1/30 1/100			
A-15	平面詳細図	A3 1/60	S-05	1階床伏図・2階床伏図・軸組図	A3 1/150			
A-16	立面図・断面図	A3 1/100	S-06	小屋伏図・母屋伏図	A3 1/50 1/150			
A-17	矩計図(1)	A3 1/40						
A-18	矩計図(2)	A3 1/40						

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事				No.	A-00		
図面名	表紙・図面リスト				縮尺	A-26		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年4月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認	検印	製図	

16	コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 [6. 2. 1~4]	※普通コンクリート 設計基準強度 Fc (N/mm ²) 容積質量 (t/m ³) スラブ (cm) 適用場所 表 6. 2. 1
	コンクリートの構造体強度補正等の適用期間	工場場所 打込みから材齢28日までの予想平均気温の範囲 (普通ポルトランドセメント、混合セメントのA種) ※中コンクリートの適用期間 ※重中コンクリートの適用期間 岡山市 (旧市域) 2月26日～11月22日 11月23日～2月25日 7月2日～9月10日 1月21日～1月31日
17	セメント [6. 3. 1]	表 6. 3. 1 セメントの種類 使用部位 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種 (G)、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 (G) 高炉セメントB種 (G) フライアッシュセメントB種 (G) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5 2 1 0に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く
18	骨材の種類 [6. 3. 1] [6. 5. 4]	アルカリシリカ反応による区分 ※A - B (※コンクリート中のアルカリ総量 R t = 3. 0 k g / m ³ 以下)
19	20 混和材料 [6. 3. 1]	※混和剤 (JIS A 6 2 0 4に適合するA E 剤、A E 減水剤又は高性能A E 減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はI 種とする。また、防錆剤を併用する場合はJIS A 6 2 0 5による防錆剤とする。) 混和材 (JIS A 6 2 0 1に適合するフライアッシュのI 種、II 種、若しくはIV 種、JIS A 6 2 0 6による高炉スラグ微粉末、JIS A 6 2 0 7によるシリカフューム又はJIS A 6 2 0 2による珪藻材とする。)
20	21 コンクリート強度試験	※構造体コンクリートの材齢 28 日圧縮強度試験及び構造体コンクリートの材齢 2 8 日を超え 9 1 日以内の圧縮強度試験は公的機関において行う。
4 大造工事	1 一般事項 [4. 2. 1]	材料のホルムアルデヒド放散量 ※木造標準仕様書4.2.1(2)による
	2 製材 [4. 2. 2]	製材 - JAS 1083-3Iに基づく目視等級区分構造用製材 (G) - JAS 1083-4Iに基づく機械等級区分構造用製材 (G) - JAS 1083-6Iに基づく広葉樹製材 (G) 加工前にJAS 1052付属書B [縦振動ヤング係数試験]により、縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材) 無等級材 (G) 加工前にJAS 1052付属書B [縦振動ヤング係数試験]により、縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材) (注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。 無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材-第4節に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質曲げ性能における等級の区分に準拠する。 それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。 あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ (参考) JAS 1083-4Iに基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤング係数の基準 (等級と曲げヤング係数) 等級 E50 E70 E90 E110 E130 E150 曲げヤング係数 (×10N/mm) 3.9以上～5.9未満 5.9以上～7.8未満 7.8以上～9.8未満 9.8以上～11.8未満 11.8以上～13.7未満 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材 (G) 幹組壁工法構造用製材 - JAS 0600に基づく甲種幹組材 (G) - JAS 0600に基づく乙種幹組材 (G) 直交集成板 - JAS 3079に基づく直交集成板 (G) 丸太材 (G) 加工前にJAS 1052付属書B [縦振動ヤング係数試験]により、縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材) 木質接着成形軸材料 (G) 鋼材 [4. 2. 5] 鋼材の表面処理 [4. 2. 6]

・JAS 0600に基づくMSR幹組材 (G)					
施工箇所	樹種又は樹種群	MSR等級 (曲げ強度性能)	寸法型式 (mm)	長さ (mm)	未乾燥材又は乾燥材
					・未乾燥材 ・乾燥材
・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された幹組壁工法構造用製材及びMSR幹組材 (G)					
施工箇所	樹種又は樹種群	区分	等級	寸法型式 (mm)	含水率 (%)
幹組壁工法構造用たて組材 ・JIS 0600Iに基づくたて組材 (G)					
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	長さ (mm)		
・JIS 0600Iに基づく甲種たて組材 (G)					
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	長さ (mm)		
・JIS 0600Iに基づく乙種たて組材 (G)					
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	長さ (mm)		
・JIS 0600Iに基づくMSRたて組材 (G)					
施工箇所	樹種又は樹種群	MSR等級 (曲げ強度性能)	寸法型式 (mm)	長さ (mm)	
・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて組材 (G)					
施工箇所	樹種又は樹種群	区分	等級	寸法型式 (mm)	含水率 (%)
下地用製材 ・JAS 1083-5Iに基づく下地用製材 (G)					
施工箇所	樹種	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理
		・1等 ・2等		・15 ・20	
集成材 ・JAS 1152に基づく構造用集成材 (G)					
施工箇所	樹種	強度等級 (曲げ性能)	材面の品質 (使用環境)	寸法 (mm)	保存処理
		・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C		
・JAS 1152に基づく構造用集成柱 (G)					
施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積 (mm ²)	見付け材面の品質	寸法 (mm)
		化粧薄板、芯材		・1等 ・2等	
構造用単板積層材 ・JAS 0701に基づく構造用単板積層材 (G)					
施工箇所	品名	樹種	接着性能 (使用環境)	曲げ性能 (曲げヤング係数区分)	水平せん断区分
	・A種構造用単板積層材		・A ・B ・C	係数区分 () 等級 ・特級 ・1級 ・2級	
	・B種構造用単板積層材		・A ・B ・C	係数区分 ()	
直交集成板 ・JAS 3079に基づく直交集成板 (G)					
施工箇所	品名	樹種	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)
	・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板			・A種構成 ・B種構成 ・C	・A ・B ・C
丸太材 (G)					
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	含水率 (%)	末口径 (mm)	
加工前にJAS 1052付属書B [縦振動ヤング係数試験]により、縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材)					
木質接着成形軸材料 (G)					
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)		
鋼材 [4. 2. 5]					
鋼材の表面処理 [4. 2. 6]					

・木質複合軸材料 (G)					
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)		
構造用面材 ・JIS A 5905Iに基づくミディアムデンシティファイバーボード (MDF) (G)					
施工箇所	普通、構造用による区分	表面面状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	※構造用 ・普通				※9
・JAS 0223Iに基づく構造用合板 (G)					
施工箇所	寸法 (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)
		・特級 ・1級 ・2級			
※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特級とする。					
・JAS 0233Iに基づく化粧張り構造用合板 (G)					
施工箇所	寸法 (mm)	接着の程度	単板の樹種		
		・特級 ・1級			
※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特級とする。					
・JAS 0360Iに基づく構造用パネル (G)					
施工箇所	寸法 (mm)	曲げ性能 (等級)	(・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験)		
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級			
・JIS A 5908Iに基づくパーティクルボード (G)					
施工箇所	種類の区分	表面面状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)
・JIS A 5905Iに基づくハードファイバーボード (G)					
施工箇所	油、油脂等の特殊処理による区分	表面面状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
・JIS A 5404Iに基づく硬質木片セメント板 (G)					
施工箇所	断面形状	重ねしろの有無	厚さ (mm)		
	・平板 ・凹凸板	・有 ・無			
・JIS A 6901Iに基づくせっこうボード (G)					
施工箇所	種類	厚さ (mm)	備考		
	・構造用せっこうボード (GB-ST-A) ・構造用せっこうボード (GB-ST-B) ・構造用せっこうボード (GB-R) ・構造用せっこうボード (GB-F) ・構造用せっこうボード (GB-L)				
・JIS A 5905Iに基づくシーディングボード (G)					
施工箇所	厚さ (mm)	備考			
・JIS A 5524Iに基づくラスシート (G)					
施工箇所	ラス目による区分	山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分	備考		
		・LS1 ・LS2 ・LS3 ・LS4			
・JIS A 5430Iに基づくフレキシブル板					
施工箇所	密度による区分	厚さ (mm)	備考		
	・0.6以上0.8未満 ・0.8以上				
・JIS A 5440Iに基づく火山性ガラス質複層板 (VSボード)					
施工箇所	厚さ (mm)	含水率			
木質接着成形軸材料 (G)					
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率		
木質接着成形軸材料 (G)					
施工箇所	形状	寸法 (mm)	備考		
種類等					
施工箇所	種類の記号	形状・寸法 (mm)	規格等		
			・JISによる		
工事名 岡山市消防団大野分団機庫新築工事 図面名 木造建築工事特記仕様書2 岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課 令和8年4月					

5 接合金物 [4. 2. 7]					
・鉄鋼面の錆止め塗料塗り 施工箇所 錆止め塗料の種類 錆止め塗料塗りの種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・A種 ・B種					
・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料塗り 施工箇所 錆止め塗料の種類 錆止め塗料塗りの種類 ・A種 ・B種					
Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物 種類 規格 短期許容耐力 (kN) その他 ○火打金物 Z.D.S-T-7間等以上 使用環境2 ○筋かいプレート Z.D.S-T-7間等以上 使用環境2 ○引き寄せ金物 Z.D.S-T-7間等以上 使用環境2 ○梁受け金物 使用環境2 注) Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合金物も含む。 ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 材料の種類 形状・寸法 (mm) 備考 ○釘 (JIS A 5508) 材質 備考 ○鉄丸くぎ 表面処理された鉄製 ○太め鉄丸くぎ 表面処理された鉄製 ○ステンレス鋼くぎ ステンレス製 ・木ねじ (JIS B 1112、JIS B 1125、JIS B 1135)、その他の木ねじ 種類 材質 その他 ・十字穴付き木ねじ 表面処理された鉄製又はステンレス製 JIS B 1112 ・ドリリングタッピンねじ 表面処理された鉄製又はステンレス製 JIS B 1125 ・すりわり付き木ねじ 表面処理された鉄製又はステンレス製 JIS B 1135 ・木質構造用ねじ (JIS A 5559) 種類 性能 表面処理 その他 ※鉄製 ・ステンレス製 ボルト及びナット Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物 ○Zマーク 性能 ・図示による ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外 材料等 ※木造標準仕様書 表4.2.2Iによる 寸法 ・図示による アンカーボルト Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物 ○Zマーク 性能 ・図示による ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外 材質 ・ 寸法 ・図示による 産金 Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物 ○Zマーク 性能 ・図示による ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外 種類 ・引張り応力を受けるボルトの産金 木造標準仕様書表4.2.3 () 種類 ・せん断応力を受けるボルトの産金 木造標準仕様書表4.2.4 () ラグスクリュー ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物 (・Zマーク) 性能 ・図示による ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外 材質 ・木造標準仕様書表4.2.2Iによる 寸法・形状等 ・図示による ドリフトピン ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物 (・Zマーク) 性能 ・図示による ・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外 材質 ※SS400 (JIS G 3101) 形状等 ※丸鋼 (JIS G 3191) 径・寸法等 ・図示による 木栓及び木だば ・樹種 () ・形状・長さ等 ・図示による 接着剤 ・床鳴り防止用接着剤 (JIS A 5550) による ・接着剤の種類 () ・接着剤による接合又は接着剤を併用した接合 ・接着剤の種類 () ジェル接合 ・軸型ジェル 材質 () 形状・寸法等 ・図示による ・圧入型ジェル 材質 () 形状・寸法等 ・図示による					
工事名 岡山市消防団大野分団機庫新築工事 図面名 木造建築工事特記仕様書2 岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課 令和8年4月					
No. A-02 A-26 評長 評長補佐 係長 課長 令和8年4月 担当者 承認 確認 製図					

7	防蟻・防蟻処理 [4.3.1]	・工場における薬剤の加圧注入等 ・木造標準仕様書4.3.1(1)(7)(b)に基づく加圧注入		
		<table border="1"> <tr> <th>適用部材 (部位)</th> <th>薬剤の加圧注入等</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・K2 ・K3 ・K4 ・AQ1 ・AQ2 ・AQ3</td> </tr> </table>	適用部材 (部位)	薬剤の加圧注入等
適用部材 (部位)	薬剤の加圧注入等			
・	・K2 ・K3 ・K4 ・AQ1 ・AQ2 ・AQ3			
8	防蟻措置 [4.3.4]	・木造標準仕様書4.3.1(1)(7)(b)に基づく加圧式保処理 保存処理の性能 () インサイジング ・適用する ・適用しない		
		<p>○薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理</p> <p>薬剤の種類</p> <p>※木造標準仕様書4.3.1(f)(a) ・附属書A(規定)に基づく表面処理用木材保存剤による</p> <p>適用部材 (部位)</p> <p>・図示による ○dL-1.0m以内の柱、防交い、土台</p> <p>処理の方法</p> <p>※木造標準仕様書4.3.1(f)(b)による</p> <p>・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理</p> <p>適用部材 (部位)</p> <p>・図示による</p> <p>・合板、集成材、単板積層材の加圧注入等による防蟻・防蟻処理</p> <p>保存処理の性能区分</p> <p>※K3又はAQ2</p> <p>適用部材 (部位)</p> <p>・図示による</p> <p>・防蟻性能のある断熱材 使用 () 適用部材 (部位)</p> <p>・図示による</p> <p>・地盤に接する鉄筋コンクリート等による床下の防蟻処理</p> <p>木造標準仕様書4.3.2(7)による</p> <p>配筋 ・図示による</p> <p>木造標準仕様書4.3.2(7)による</p> <p>配筋 ・図示による</p> <p>・土壌の防蟻処理 使用する薬剤 () 処理方法及び使用量</p> <p>帯状散布 (帯状の幅: 約 cm)</p> <p>液剤: 処理長さ L/m 粒剤: ()</p> <p>面状散布</p> <p>液剤: 処理長さ L/m² 粒剤: ()</p>		
9	防耐火処理等 [4.4.1~4]	・国土交通大臣の認定を受けた材料又は工法		
		<p>防火被覆の材料及び工法</p> <p>・防火被覆の材料</p> <p>・図示による</p> <p>・防火被覆の厚さ</p> <p>・図示による</p> <p>・防火被覆の留付け材の種類</p> <p>・図示による</p> <p>・防火被覆の留付け間隔</p> <p>・図示による</p> <p>・防火被覆の下地材への留付け長さ</p> <p>・図示による</p> <p>・防火被覆の下地材への端あき距離</p> <p>・図示による</p> <p>・防火被覆の下地材への接着剤の使用</p> <p>・使用する ・適用しない</p> <p>・防火被覆の目地等の処理方法</p> <p>・図示による</p> <p>・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理</p> <p>・図示による</p> <p>防火被覆処理部への二次部材の取付け</p> <p>防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理</p> <p>・図示による</p> <p>防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理</p> <p>・図示による</p> <p>燃えしろ層の工法</p> <p>・燃えしろ層の厚さ</p> <p>・図示による</p> <p>・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理</p> <p>・図示による</p> <p>・接合部にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理</p> <p>・図示による</p> <p>・燃えしろ層への二次部材の取付け</p> <p>・設備配管等が燃えしろ層を貫通する場合の処理</p> <p>・図示による</p> <p>・燃えしろ層に取り付ける建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理</p> <p>・図示による</p> <p>不燃処理木材等</p> <p>・図示による</p> <p>木材と鋼材の接合部分</p> <p>・図示による</p>		
10	鋼材等の接合 [4.5.1]	木材と鋼材の接合部分 ・図示による		

5	軸組構法 (壁構造系) 工事
6	軸組構法 (軸組構造系) 工事
7	枠組壁工法 工事

1	現寸図 [5.4.2] [6.4.2]	・床書き現寸図を作成する															
2	仕口及び継手の工法 [5.4.5] [6.4.5]	・仕口及び継手の工法 ※図示															
3	孔あけ加工 [5.4.6] [6.4.6]	ボルトの径に加える木部のボルト孔の大きさ ※木造標準仕様書表5.4.2による ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示															
4	表面仕上げ [5.4.7] [18.12.2] [6.4.7]	見え掛り面の表面仕上げの程度 ※プレーナー加工仕上げ 適用部材 (部位) () ・超自動機械かんな掛け仕上げ 適用部材 (部位) () ・サンダー掛け仕上げ 適用部材 (部位) () 手加工															
5	アンカーボルトの設置等 [5.5.3] [6.5.3]	見え掛り面の表面保護 ・標準仕様書 表18.12.11による木材保護塗料塗り 適用部材 (部位) () 種別 ・A種 ※B種 埋込み深さ ※図示 保持、埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示															
6	基礎天端及び柱均しモルタル仕上げ [5.5.4] [6.5.4]	材料 ○木造標準仕様書 5.5.4 (イ) による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm程度 ・図示 ・柱均しモルタルの工法 種別 ・A種 ※B種															
7	建方精度 [5.5.7] [6.5.7]	建入れ直し後の建方精度の許容値 ※1/1000以下 ・図示 (水平、垂直の誤差の範囲)															
8	接合金物の工法 [5.5.9] [6.5.9]	接合金物が面材の取付けに必要な場合の木材への彫り込み ※行わない 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金物の取付け方法 ・図示による															
9	釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [5.5.8, 5.5.10] [6.5.8, 6.5.10]	釘、木ねじ及び木質構造用ねじ 種類 ・図示による 間隔 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し															
10	各種ボルトの工法 [5.5.11] [6.5.11]	ボルトの種類 ・図示による ボルトの径 ・図示による ボルトの本数 ・図示による ボルトの間隔 ・図示による ボルトに応じた産金の大きさ ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付け方法 ・図示による															
11	ラグスクリーウの工法 [5.5.12] [6.5.12]	形状及び寸法 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリーウの取付け方法 ・図示による															
12	ドリフトピンの工法 [5.5.13] [6.5.13]	形状及び寸法 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付け方法 ・図示による															
13	火打土台 [5.6.2] [6.6.2]	・木製の火打土台 見付け平使いとした場合 土台との仕口の形状 ・図示による 留付け釘の種類 ・図示による 留付け方法 ・図示による ・鋼製の火打土台 ・図示による															
14	火打梁 [5.7.8, 5.8.6] [6.7.8, 6.8.6]	小屋組 ・木製の火打梁 ○鋼製の火打梁 床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁															
15	床束 [5.8.2] [6.8.2]	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>床荷重条件</th> <th>性能</th> <th>仕様</th> <th>設置方法</th> </tr> <tr> <td>・鋼製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・樹脂製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		床荷重条件	性能	仕様	設置方法	・鋼製床束					・樹脂製床束				
	床荷重条件	性能	仕様	設置方法													
・鋼製床束																	
・樹脂製床束																	
7	アンカーボルトの設置等 [7.5.3]	埋込み深さ ・ 図示 保持、埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示															
2	基礎天端均しモルタルの仕上げ [7.5.4]	材料 ・木造標準仕様書 7.5.4 (イ) による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm															
3	釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [7.5.6]	枠組材相互を架結する釘の打ち方も種類 ※木造標準仕様書7.5.7(1)(7)~(9)による															
		構造用面材と枠組材を架結する釘の種類、釘打ちの間隔及び釘の打ち方 ※木造標準仕様書7.5.7(2)(7)~(8)による															

4	各種ボルトの工法 [7.5.9]	ボルトの種類 ・図示による ボルトの径 ・図示による ボルトの本数 ・図示による ボルトの間隔 ・図示による ボルトに応じた産金の大きさ ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付け方法 ・図示による															
		<table border="1"> <tr> <th></th> <th>床荷重条件</th> <th>性能</th> <th>仕様</th> <th>設置方法</th> </tr> <tr> <td>・鋼製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・樹脂製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		床荷重条件	性能	仕様	設置方法	・鋼製床束					・樹脂製床束				
	床荷重条件	性能	仕様	設置方法													
・鋼製床束																	
・樹脂製床束																	
5	ラグスクリーウの工法 [7.5.10]	形状及び寸法 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリーウの取付け方法 ・図示による															
6	ドリフトピンの工法 [7.5.12]	径 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付け方法 ・図示による															
7	床束 [7.7.2]	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>床荷重条件</th> <th>性能</th> <th>仕様</th> <th>設置方法</th> </tr> <tr> <td>・鋼製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・樹脂製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		床荷重条件	性能	仕様	設置方法	・鋼製床束					・樹脂製床束				
	床荷重条件	性能	仕様	設置方法													
・鋼製床束																	
・樹脂製床束																	
8	丸太組構法 工事	1 接合具等 [8.2.4]	ジャッキボルト 材質 ※SS400 (JIS G 3101) ボルト径 産金の大きさ及び厚さ 垂木用スライド金物 材質 ※SS400 (JIS G 3101) 垂木と桁との釘接合の接合方法 ・図示による														
		2 丸太組壁用木材の断面加工 [8.2.4]	・機械加工 断面形状 木造標準仕様書8.4.11による ・(イ) ・(ロ) ・(ハ) ・(ニ) 美形状 ※製造所の仕様 ・図示 見付高さ、重なり幅、部材幅 ※図示														
3	丸太組壁用木材の交差部形状加工 [8.6.3]	交差部の位置 ・図示 交差部の形状 ※製造所の仕様 交差部が壁面から200mm未満の場合の補強方法 ※図示															
4	木材の表面仕上げ [8.4.5]	見え掛り面の表面仕上げの程度 ※プレーナー加工仕上げ 適用部材 (部位) () ・超自動機械かんな掛け仕上げ 適用部材 (部位) () ・サンダー掛け仕上げ 適用部材 (部位) () 手加工															
5	丸太組壁以外に用いる木材の孔あけ加工 [8.4.6]	見え掛り面の表面保護 ・標準仕様書 表18.12.11による木材保護塗料塗り 適用部材 (部位) () 種別 ・A種 ※B種															
6	継手の補強方法 [8.4.7]	ボルトの径 ※木造標準仕様書表8.4.4 ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示															
7	仮組立 [8.4.9]	・行う ・行わない															
8	アンカーボルトの設置等 [8.5.3]	埋込み深さ ・図示による 保持及び埋込み工法 種別 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm以下 (JASS6 付則6「鉄骨精度検査基準」付表5「工事現場」(3)による)															
9	基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ [8.5.4]	材料 ・木造標準仕様書8.5.4(イ)によるモルタル ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ・図示による															
10	通しボルトの工法 [8.5.7]	通しボルトを耐力壁の上端部及び中間部で締付け及び増締めする場合の工法 ・図示による 通しボルトを木造標準仕様書8.5.7(8)(9)(a)から(c)以外で増締めを行う場合の時期															
11	ジャッキボルトの工法 [8.5.8]	・ジャッキボルトを木造標準仕様書8.5.8(2)(7)から(9)以外で増締めを行う場合の時期															

12	釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [8.5.11]	釘、木ねじ及び木質構造用ねじの種類 ・図示による 間隔 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し															
		<table border="1"> <tr> <th></th> <th>床荷重条件</th> <th>性能</th> <th>仕様</th> <th>設置方法</th> </tr> <tr> <td>・鋼製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・樹脂製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		床荷重条件	性能	仕様	設置方法	・鋼製床束					・樹脂製床束				
	床荷重条件	性能	仕様	設置方法													
・鋼製床束																	
・樹脂製床束																	
13	各種ボルトの工法 [8.5.12]	ボルトの種類 ・図示による ボルトの径 ・図示による ボルトの本数 ・図示による ボルトの間隔 ・図示による ボルトに応じた産金の大きさ ・図示による															
14	火打土台 [8.6.2]	・木製の火打土台 見付け平使いとした場合 土台との仕口の形状 ・図示による 留付け釘の種類 ・図示による 留付け方法 ・図示による ・鋼製の火打土台 ・図示による															
15	火打梁 [8.7.9] [8.8.6]	小屋組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁															
16	床束 [8.8.2]	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>床荷重条件</th> <th>性能</th> <th>仕様</th> <th>設置方法</th> </tr> <tr> <td>・鋼製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・樹脂製床束</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		床荷重条件	性能	仕様	設置方法	・鋼製床束					・樹脂製床束				
	床荷重条件	性能	仕様	設置方法													
・鋼製床束																	
・樹脂製床束																	
9	CLTパネル工法 工事	1 孔あけ加工 [9.4.4]	ボルトの径に加える木部のボルト孔の大きさ ※木造標準仕様書9.4.11による ・図示による ドリフトピンの孔径 ※軸径と同径 ・図示による 引きボルトの孔径 ※軸径+5~10mm ・図示による														
		2 表面仕上げ [9.4.5] [18.12.2]	見え掛り面の表面仕上げの程度 ※プレーナー加工仕上げ 適用部材 (部位) () ・サンダー掛け仕上げ 適用部材 (部位) () 見え掛り面の表面仕上げの程度 ・標準仕様書 表18.12.11による木材保護塗料塗り 適用部材 (部位) () 種別 ・A種 ※B種														
3	アンカーボルトの設置 [9.5.3]	埋込み深さ ・ 図示による 保持及び埋込み工法 種別 ・A種 ・B種 (土台用) ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差															
4	基礎天端均しモルタルの仕上げ [9.5.4] [15.3.2]	材料 ・木造標準仕様書 5.5.4(イ)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ・図示による															
5	建方精度 [9.5.7]	建入れ直し後の建方精度の許容値 (水平、垂直の誤差の範囲) ※1/1,000以下、かつ床の天端及び壁の天端の平坦さ±3mm以下															
6	接合金物の工法 [9.5.9]	構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金物の取付け方法 ・図示による															
7	釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [9.5.10]	釘、木ねじ及び木質構造用ねじの種類 ・図示による 間隔 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し															
8	各種ボルトの工法 [9.5.11]	ボルトの種類 ・図示による ボルトの径 ・図示による ボルトの本数 ・図示による ボルトの間隔 ・図示による ボルトに応じた産金の大きさ ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付け方法 ・図示による															
9	ラグスクリーウの工法 [9.5.12]	構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリーウの取付け方法 ・図示による															
10	ドリフトピンの工法 [9.5.13]	構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付け方法 ・図示による															
工事名		岡山市消防団大野分団機庫新築工事			No. A-03												
図面名		木造建築工事特記仕様書3			A-26												
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和8年4月															
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印											

Table with 3 main sections: ① 表面仕上げ (10.1.4), ② 一般事項 (10.2.1), ③ 材料 (10.2.1). It details construction specifications for surface finishing, general items, and materials, including references to JAS standards and specific material properties.

Table with 3 main sections: ④ 接合具等 (10.2.2), ⑤ 防蟻・防蟻・防虫処理 (10.3.1), ⑥ 不燃処理木材等 (10.3.3), ⑦ 外壁通気構法下地 (10.8.2). It details specifications for fasteners, ant/termite/pest treatment, fire-resistant wood, and exterior wall ventilation underlayment.

Table with 3 main sections: 1 防水工 (11.2.2, 4), 2 シーリング (11.3.2), 3 防水テープ (11.4.2), 4 バルコニー手すり (11.4.3), 5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1~4). It details specifications for waterproofing, sealing, waterproofing tape, balcony handrails, and silicate-based waterproofing.

Table with 3 main sections: ⑧ 屋根及び土間工事 (14.2.2), ⑨ 金属板葺 (14.3.2), ⑩ 折板葺 (14.4.2), ⑪ 粘土瓦葺 (14.5.2), ⑫ スレート瓦 (14.6.2). It details specifications for roof and floor work, metal sheeting, corrugated sheeting, clay tile roofing, and slate roofing.

Project information table including: 工事名 (岡山市消防団大野分団機庫新築工事), 図面名 (木造建築工事特記仕様書 4), 図面番 (A-04/A-26), 調査 (調査員, 調査日), and 承認 (承認者, 承認日).

Table with 2 main sections: ① 塗装工事 (Painting Work) and ② 内装工事 (Interior Work). It details materials, application methods, and specifications for various parts of a building.

Table detailing construction materials and methods, including sections for ④ 合成樹脂塗床 (Synthetic Resin Coating), ⑤ 防じん用塗床 (Dust-Resistant Coating), ⑥ フローリング張り (Flooring Installation), and ⑦ 畳敷き (Straw Mat Laying).

Table detailing fireproofing and insulation materials, including sections for ⑩ 断熱材 (Insulation Material), ⑪ メラミン樹脂化粧板 (Melamine Resin Decorative Board), and ⑫ 断熱材等材料 (Insulation Material etc.).

Table detailing interior finishing and furniture, including sections for ⑬ 可動間仕切 (Movable Partition), ⑭ 移動間仕切 (Movable Partition), ⑮ トイレブース (Toilet Booth), ⑯ 階段滑止め (Stair Slip Prevention), ⑰ 黒板及びホワイトボード (Blackboard and Whiteboard), ⑱ 鏡 (Mirror), ⑲ 表示 (Signage), ⑳ 煙突ライニング (Chimney Lining), ㉑ ブラインド (Blind), ㉒ ロールスクリーン (Roller Screen), ㉓ カーテン及びカーテンレール (Curtain and Curtain Rail), and ㉔ 点検口 (Access Panel).

Project summary table including project name (岡山市消防団大野分団機庫新築工事), location (岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課), dates, and contact information for the architect and contractor.

15	旗竿受金物	材種	・ステンレス製 (SUS 304)
		形式	・標準品 ・スプリング式
16	車止め支柱	材種	・ステンレス製
		柱径、肉厚(mm)	・
17	フェンス	フェンスの種類	・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス
		高さ	・図示
18	屋内掲示板 (G)	枠の材質	※ アルミニウム製
		表面の材質	※ 塩ビ発泡シート張り
19	収納家具 (G)	材質、形状、寸法	※ 図示
		※ 規格対象外	
20	屋外掲示板 (G)	本体材質	※ ステンレス製
		※ 図示による	
21	くつきマット	・塩化ビニル又はゴム製 (受け枠ステンレス製 (SUS304)) ワンライン型	
		・ステンレス製 (SUS304) (受け枠ステンレス製 (SUS304))	
22	階段手すり笠木	材質	・CL ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製
		取付箇所	・
23	天井見切り縁	材種	・アルミニウム既製品 ○ビニル既製品
		移動フック	安全重量 ※ 15kg以上
24	ピクチャーレール	材種	・レジンコンクリート製 (厚さ60mm) ・磁器質タイル製
		寸法	※ 300 x 300
25	誘導用床材、注意喚起用床材	種類	・導線型 ・点字型
		寸法	※ 300 x 300
26	サイディング (20.3.2)	種類	・セラミック ・珪藻土 ・繊維強化プラスチック
		寸法	※ 300 x 300
27	排水工	種類	・UPVC ・FRP ・ステンレス
		寸法	※ 100 x 100
28	排水工	種類	・UPVC ・FRP ・ステンレス
		寸法	※ 100 x 100
29	排水工	種類	・UPVC ・FRP ・ステンレス
		寸法	※ 100 x 100

1	路床 (22.2.2~5)	路床の材料	(22.2.2, 3, 5) (表22.2.1)
		種類	・A種 ・B種 ・C種 ・D種
2	路盤 (22.3.2~5)	路盤の厚さ	・図示
		試験	路盤締め度の試験 ※行わない ・行う
3	アスファルト舗装 (22.4.2~6)	アスファルト舗装の構成及び厚さ	※ 図示
		材料	・再生アスファルト (G) ・ストレートアスファルト ・骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 (G)
4	コンクリート舗装 (22.5.2~6)	コンクリート舗装の構成及び厚さ	※ 図示
		試験	コンクリート舗装の強度試験 ※行わない ・行う
5	カラー舗装 (22.6.2~4)	カラー舗装の構成	※ 図示
		試験	カラー舗装の強度試験 ※行わない ・行う
6	透水性アスファルト舗装 (22.7.2~6)	透水性アスファルト舗装の構成	※ 図示
		試験	透水性アスファルト舗装の強度試験 ※行わない ・行う
7	ブロック系舗装 (22.8.2~3)	ブロック系舗装の種類	・普通型 ・透水性 ・保水性
		試験	ブロック系舗装の強度試験 ※行わない ・行う
8	砂利敷き (22.9.2)	砂利敷きの種類	・A種 ・B種
		試験	砂利敷きの強度試験 ※行わない ・行う
9	路面標示用塗料 (22.10.2~4)	路面標示用塗料の種類	・反射型 ・夜間発光型 ・低揮発性有機溶剤型
		試験	路面標示用塗料の強度試験 ※行わない ・行う
10	植栽地の確認 (22.11.3)	植栽地の確認	・樹高 ・幹径
		試験	植栽地の確認試験 ※行わない ・行う
11	植栽基盤の整備 (23.2.2~4)	植栽基盤の整備	・有効土層の厚さ ・排水設備
		試験	植栽基盤の整備試験 ※行わない ・行う

3	樹木 (23.3.2~3)	樹木の種類	・常緑樹 ・落葉樹
		試験	樹木の試験 ※行わない ・行う
4	新植、移植樹木、芝等の保証 (23.3.4, 6) (23.4.7)	新植、移植樹木の保証	・樹高 ・根径
		試験	新植、移植樹木の保証試験 ※行わない ・行う

12	植込み用土	植込み用土	・現場発生土の改良土 ・客土
		試験	植込み用土の試験 ※行わない ・行う
13	土壌改良材	土壌改良材	・バーク堆肥 (G) ・堆肥 ・堆肥 ・堆肥
		試験	土壌改良材の試験 ※行わない ・行う
14	材料	材料	・金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする
		試験	材料の試験 ※行わない ・行う
15	樹種、寸法、株立数等	樹種、寸法、株立数等	・樹種 ・寸法 ・株立数
		試験	樹種、寸法、株立数等の試験 ※行わない ・行う
16	支柱材	支柱材	・丸太 (間伐材) (G) ・真竹
		試験	支柱材の試験 ※行わない ・行う
17	工事名	工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事
		図面名	木造建築工事特記仕様書 7
18	図面名	図面名	岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課
		年月	令和8年4月
19	No.	No.	A-07
		No.	A-26
20	課長	課長	
		課長補佐	
21	係長	係長	
		係員	
22	担当者	担当者	
		承認	
23	確認	確認	
		製図	

建築概要

外部仕上表

工事名称	岡山市消防団大野分団機庫新築工事	規模	敷地面積 1,389.64㎡(420.36坪)	外部巾木	コンクリート打放シ 撥水材塗布
工事場所	岡山市北区西野山町1649番1		建築面積 33.12㎡(10.01坪)	外壁	防火サイディングt16 横張り 構造用合板t9 下地
主要用途	消防機庫(消防団詰所・機庫)		延床面積 66.24㎡(20.03坪)	屋根	着色ガルバリウム鋼板t0.4 タテハゼ葺 野地板:構造用合板t=12、改質7A7Bt&Ft用下地
工事種別	新築		1階床面積 33.12㎡(10.01坪)	軒裏	軒天井*ト' (有機質系繊維混入t12板) t12 一部有孔ボード 塗装品
構造	木造2階建		2階床面積 33.12㎡(10.01坪)	庇	箱庇:着色ガルバリウム鋼板t0.4 平葺 軒裏:軒天井*ト' t12 塗装品
用途地域	市街化調整区域			雨樋	軒樋:塩ビ角樋 SUS受金物 前高120 壁樋:ｶﾞｰVP60 SUS控金物
防火地域	-			建具	アルミサッシ(カラー) 軽量スチールシャッター
				断熱材	天井面:グラスウール t105 16kg/m3 外壁面:グラスウール t75 16kg/m3
				犬走り	コンクリート金コテ直押エ

内部仕上表

階	室名	床	巾木及腰壁	H	壁	天井	廻縁	天井高	備考
1階	機庫	コンクリート金コテ直押エ	モルタル金コテ押エ	105~135	ケイ酸カルシウム板t6 EP塗 構造用合板t9+PBt9.5下地	化粧石膏ボードt9.5	塩ビ	2.700	鋼製柵、帽子掛け(10個) 天井点検口
	物置スペース	同上	同上	同上	同上	同上	同上	—	
	便所	同上	同上	同上	PBt9.5下地、化粧ケイ酸カルシウム板t6 水切:7A5製	同上	同上	2.350	PS 上部欄板 洋風便器、紙巻器、換気扇
	玄関	同上	同上	同上	PBt12.5下地 ビニールクロス	同上	同上	2.750	上框、下足入(別途工事)
	ホール	構造用合板t28下地 塩ビシートt1.8	杉 OSC塗	60	同上	同上	同上	—	
	階段	タモ積層材t28(踏面・蹴上共)	木製 OSC塗	300	同上	同上	同上	—	手摺38φ木製OSC塗、アルミ製ノンスリップ(ビニールタイヤ入)
2階	ホール	構造用合板t28下地 塩ビシートt1.8	杉 OSC塗	60	同上	同上	同上	2.400	
	湯沸コーナー	同上	同上	100	PBt12.5下地 ビニールクロス 流し前:化粧ケイ酸カルシウム板t6 (PBt-9.5mm捨て張)	同上	同上	2.458	SUSライニング柵・天井点検口 流シ台L=1200・吊戸棚L=600・レンジフードL=600
	詰所	構造用合板t28下地 タタミ敷t60 一部 塩ビシートt1.8	タタミ寄兼巾木 OSC塗	40	PBt12.5下地 ビニールクロス	同上	同上	2.400	月間行事板・吸気口
	物入	構造用合板t12下地 ラワン合板t9	雑巾摺	15	ラワン合板t9	ラワン合板t5.5	木製	2.340	中柵・枕柵・天井点検口
	物入	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	枕柵

シックハウス検討表

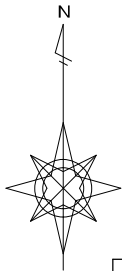
階数	部屋名	換気種別	床面積(㎡)	天井高(m)	部屋容積(m³)	換気回数(回/h)	必要換気量(m³/h)	設計換気量(m³/h)	換気扇メーカー名品番
2階	詰所	3種	19.87	2.40	47.69	0.3	14.31	38.00	V-08KLD4
	湯沸コーナー		6.62	2.458	16.27		4.89		
合計							19.2(≒20.0)	38.00	
天井裏等	・小屋裏、天井裏への措置:第3種材料以上を使用、及び密閉措置とする。								

[注記]

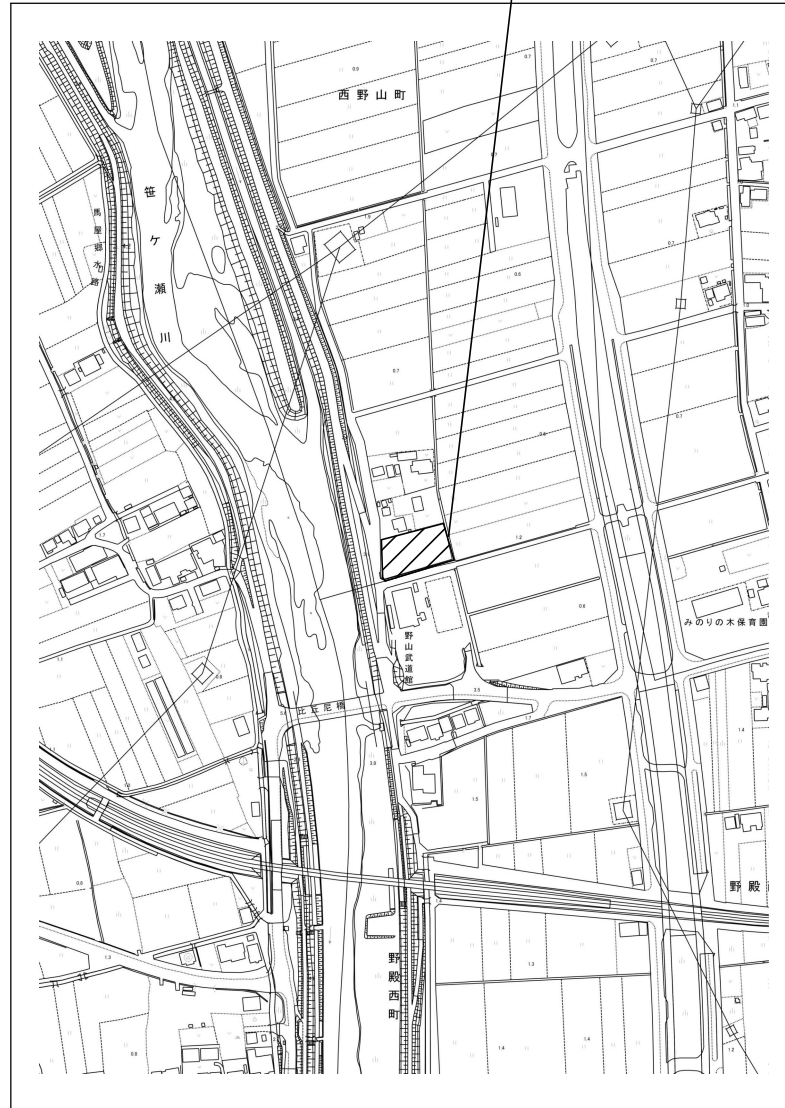
〈下地材〉	〈塗装記号〉	〈認定番号〉
PB プラスターボード	OSC オイルステインクリア	壁:ケイ酸カルシウム板t6 不燃認定:NM-1001
	EP 合成樹脂エマルジョン	壁:PBt12.5下地 ビニールクロス 準不燃認定:QM-9296
		天井:化粧石膏ボードt9.5 準不燃:QM-0524
		流シ廻り壁:化粧ケイ酸カルシウム板t6 不燃認定:NM-3430
		便所腰壁:化粧ケイ酸カルシウム板t6 不燃認定:NM-3430
		外壁:防火サイディングt16 PC030BE-9201(防火) (内壁:PBt-9.5mm以上 若しくは、合板t-4以上+ｸﾞﾗｽｰﾙt-75 施工の事)
		軒裏:軒天井*ト' QF030RS-0154<ﾌﾗｯｼﾞｰﾄﾞ> t12 QF030RS-0155<有孔板> t12

建築材料一覧表			部屋名	面積(㎡)	仕上部分	種別	記号	長さ(m)	高さ(m)	面積(㎡)	係数	使用面積(㎡)	合計判定
記号	建築材料	種別	詰所	19.87	床	F☆☆☆	b						OK
a	クッションフロアー(床)	F☆☆☆			壁	F☆☆☆	c						
b	タタミ敷(床)	F☆☆☆			天井	F☆☆☆	e						
c	ビニールクロス(壁)	F☆☆☆			建具	F☆☆☆	f						
d	化粧ケイ酸カルシウム板(壁)	F☆☆☆	湯沸コーナー	6.62	床	F☆☆☆	a					OK	
e	化粧石膏ボード(天井)	F☆☆☆			壁	F☆☆☆	c						
f	ポリ合板フラッシュ(木製建具)	F☆☆☆			天井	F☆☆☆	e						
					建具	F☆☆☆	f						

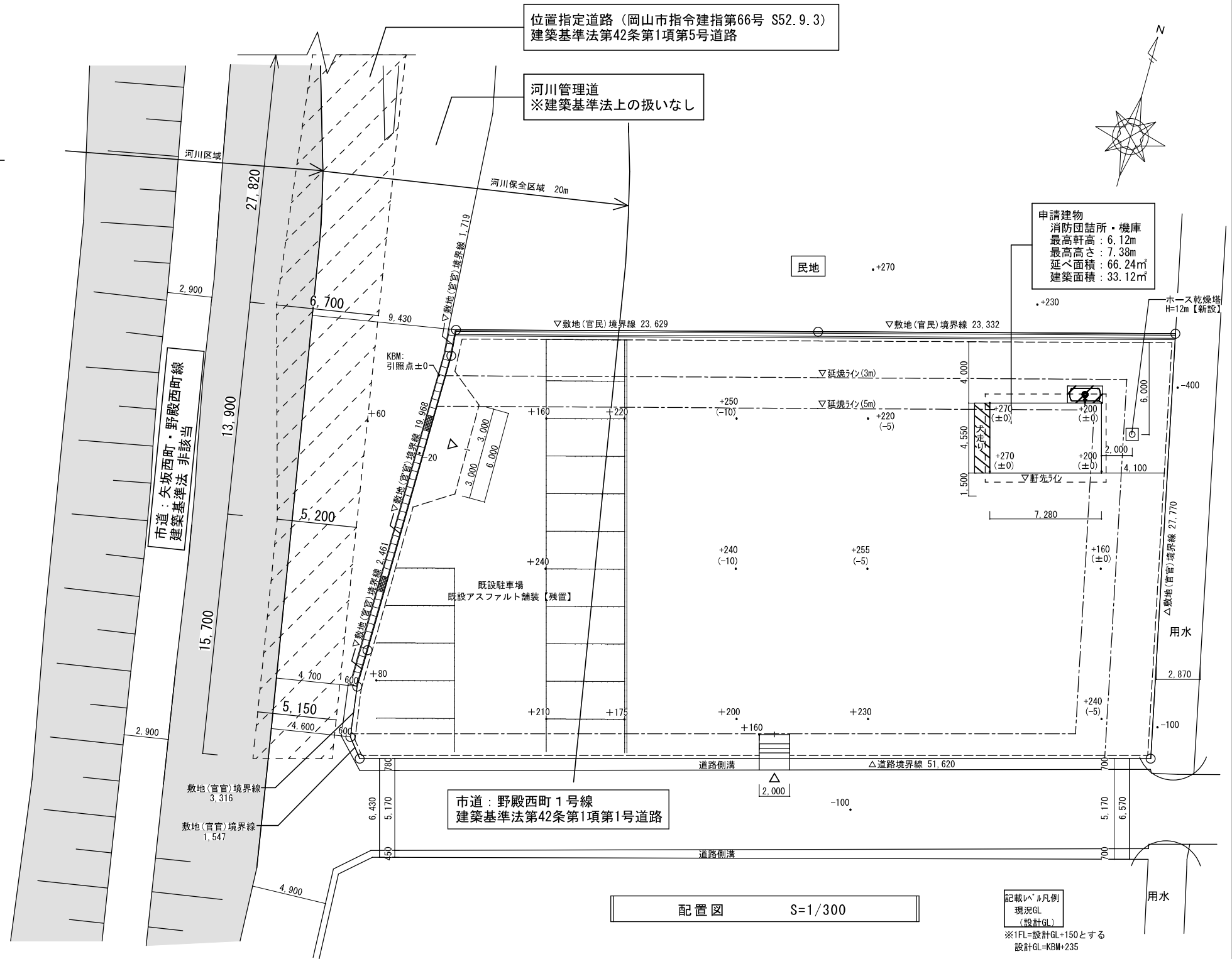
工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事			No.	A-08
図面名	建築概要・仕上表			階尺	A-26
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和8年4月	
課長	課長補佐	係長	係員	担当者	承認
					検閲
					製図



工事場所：岡山市北区西野山町1649番1



附近見取図 S=1/2,500



配置図 S=1/300

記載し凡例
現況GL
(設計GL)

※1FL=設計GL+150とする
設計GL=KBM+235

位置指定道路 (岡山市指令建指第66号 S52.9.3)
建築基準法第42条第1項第5号道路

河川管理道
※建築基準法上の扱いなし

市道：矢坂西町・野殿西町線
建築基準法 非該当

市道：野殿西町1号線
建築基準法第42条第1項第1号道路

申請建物
消防団詰所・機庫
最高軒高：6.12m
最高高さ：7.38m
延べ面積：66.24㎡
建築面積：33.12㎡

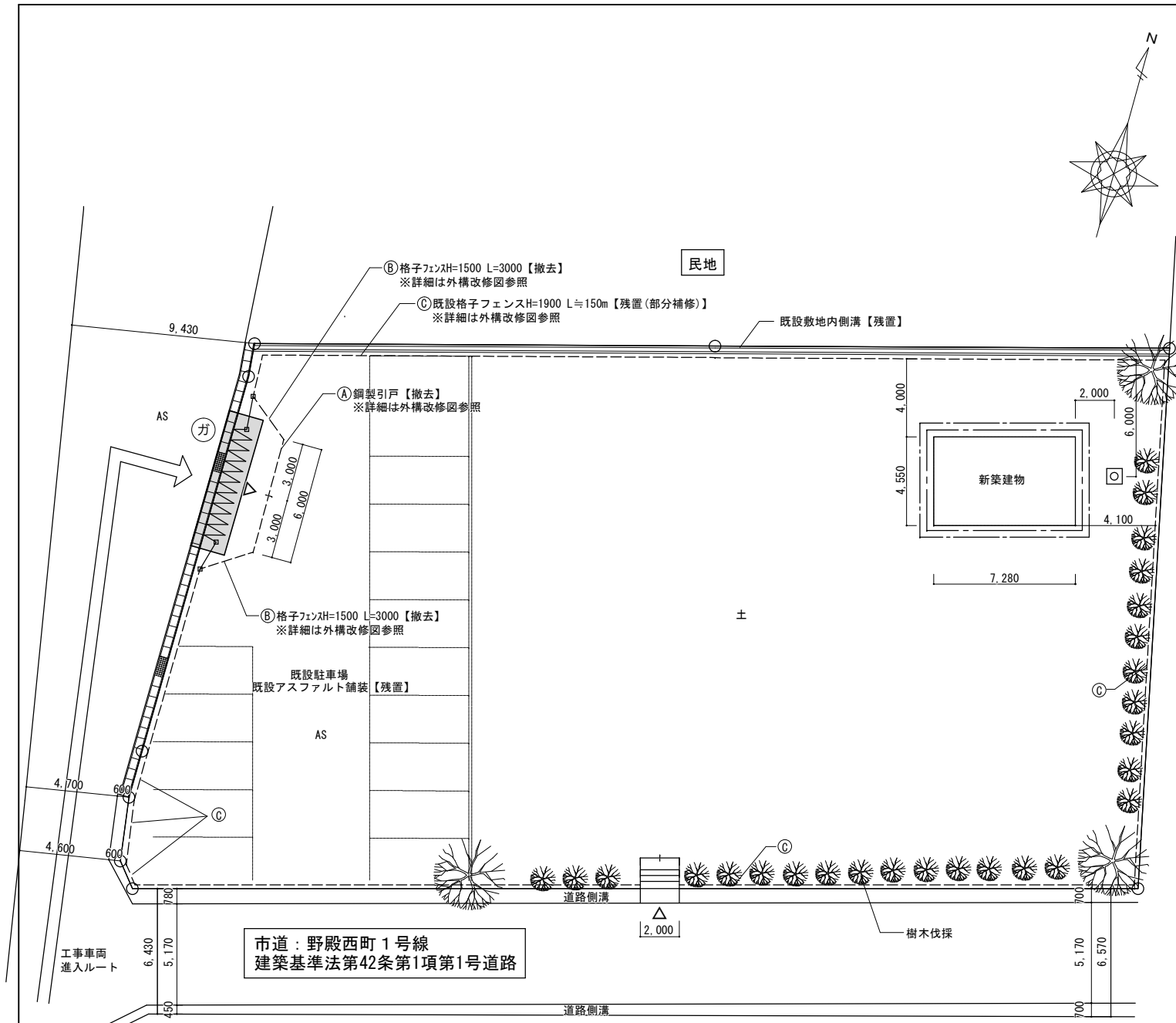
ホース乾燥塔
H=12m【新設】

民地 +.270

用水

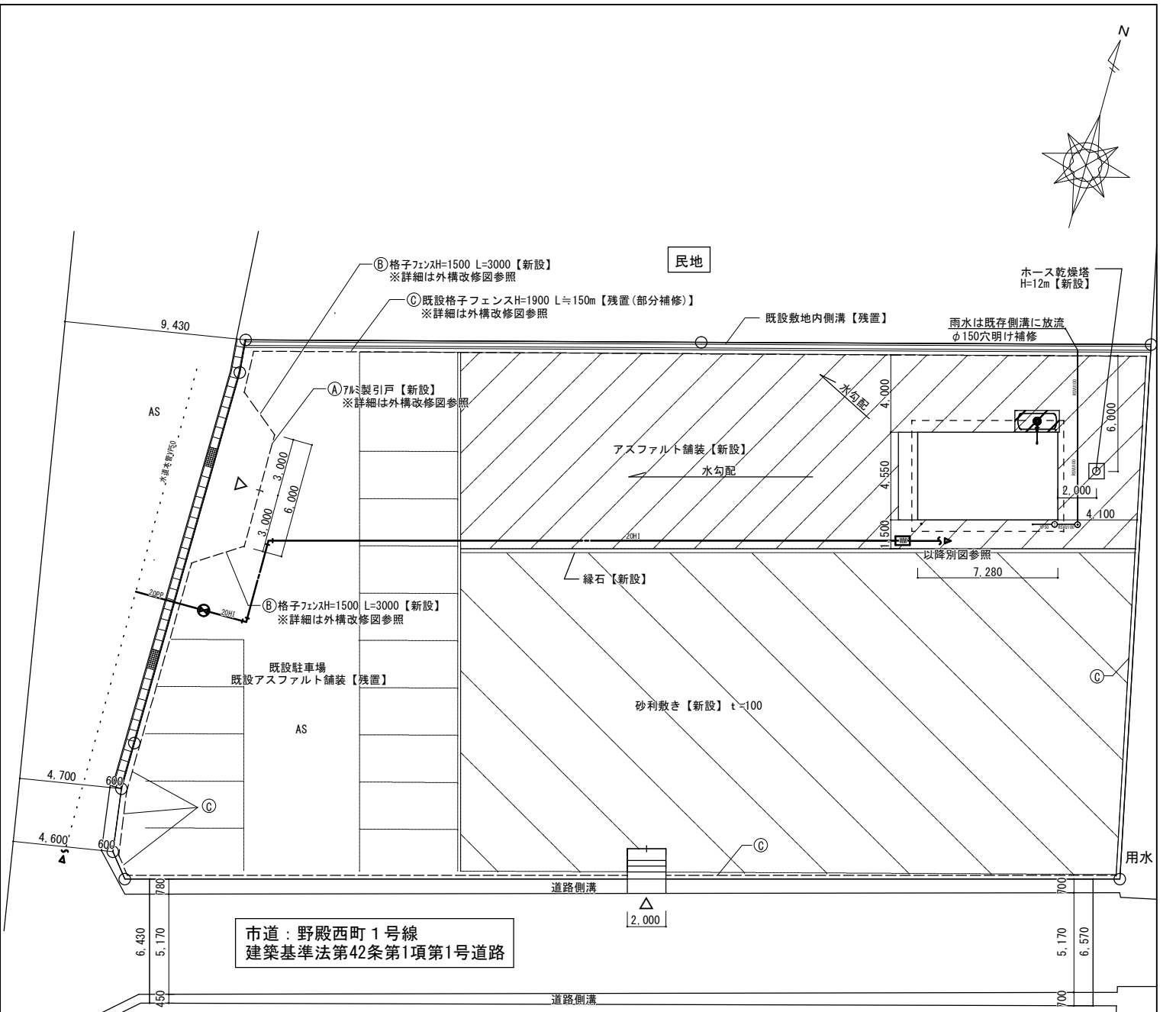
用水

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事				N. No.	A-09		
図面名	附近見取図・配置図				縮尺	A3 1/300 1/2500		
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和8年4月	A-26			
課長	課長補佐	係長	係長	担当官	承認	検印	製図	



仮設計画図(参考)兼外構図(施工前) S=1/300

記載レベル凡例
 現況GL
 (設計GL)
 ※1FL=設計GL+150とする
 設計GL=KBM+235

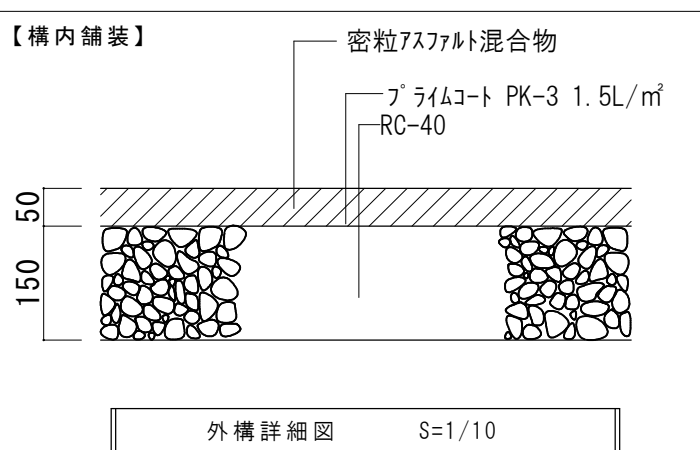


外構図(施工後) S=1/300

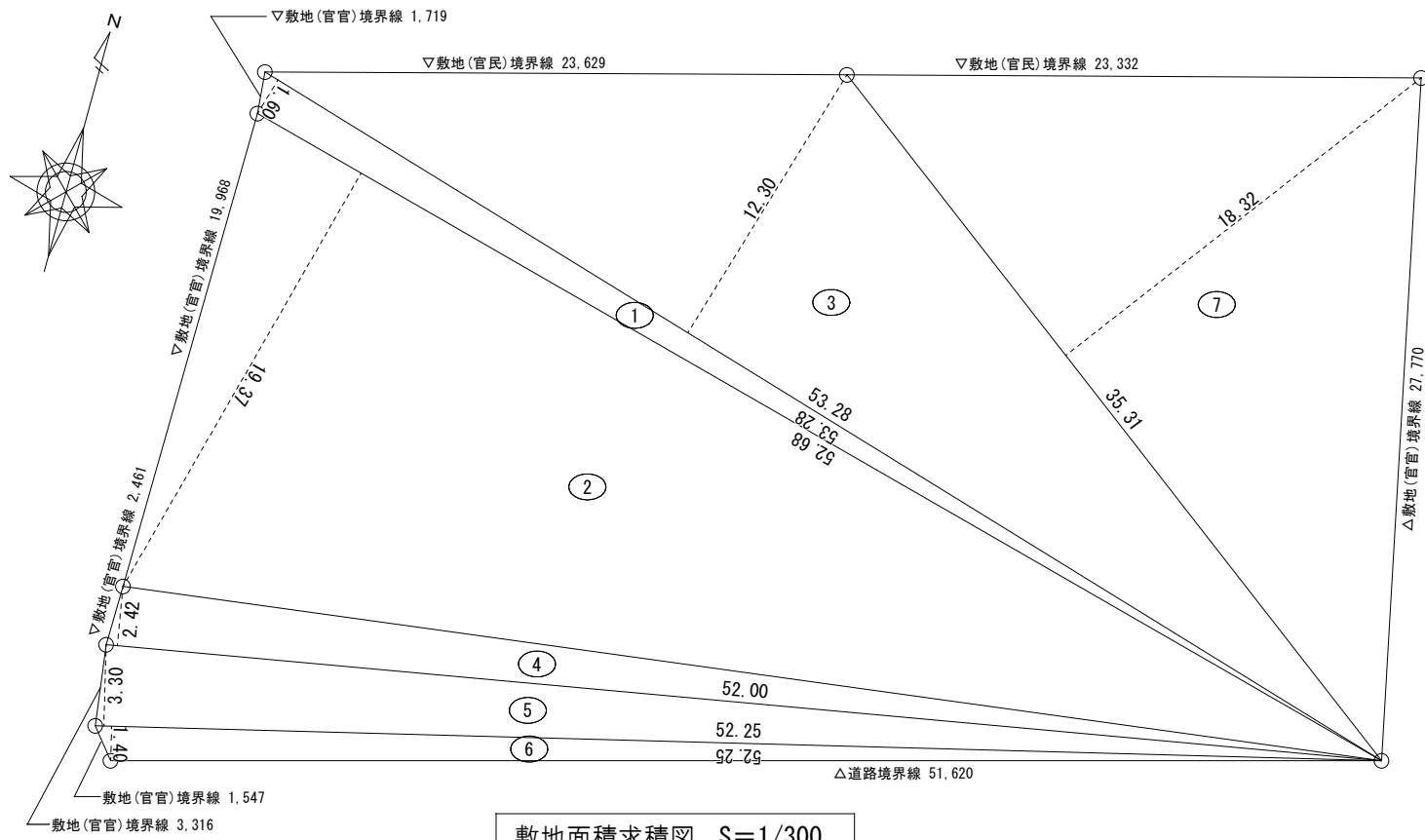
記載レベル凡例
 現況GL
 (設計GL)
 ※1FL=設計GL+150とする
 設計GL=KBM+235

仮設計画：凡例

○—○	ガードフェンス H=1,800 チェーブライト共(道路境界沿のみ)
〰〰〰	キースターゲート (W=6,000 H=1,800)
⊙ガ	ガードマン
〰〰〰	くさび緊結足場 W=600+養生シート張り
■	敷き鉄板 (W=1,524 L=6,096 t=22)



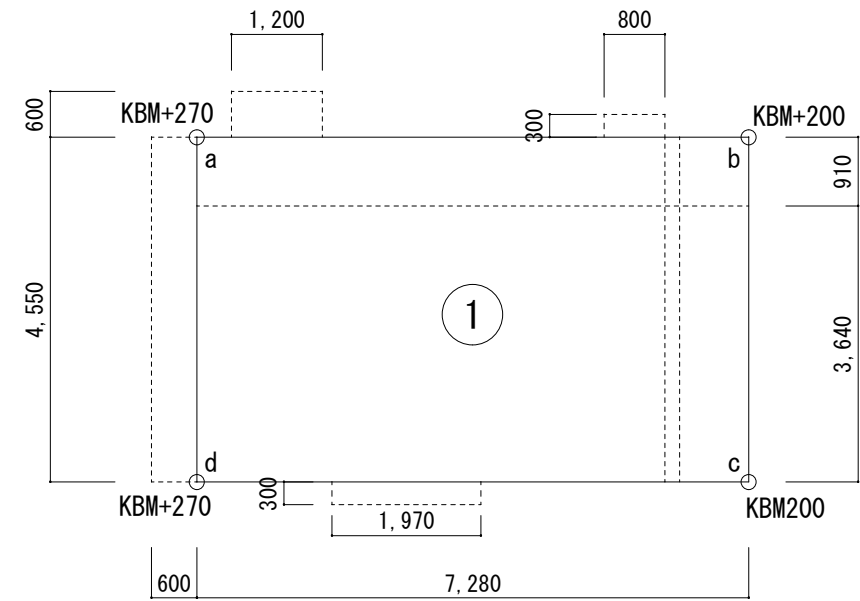
工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事			No.	A-10		
図面名	仮設計画図(参考)兼外構図・外構詳細図			縮尺	A3 1/10 1/300		
図面番号	A-26			年月	令和8年4月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印	製図



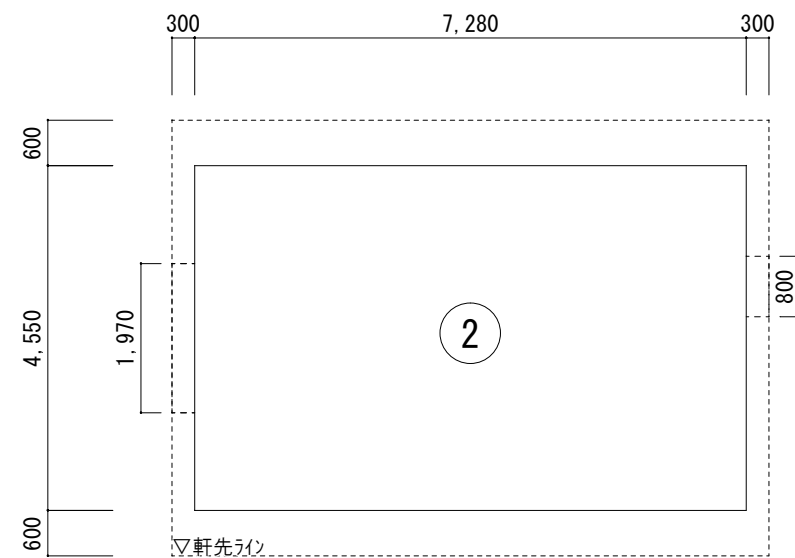
■敷地面積 求積表

番号	底辺	高さ	倍	面積	面積
1	53.28	1.60		85.2480	42.62400
2	52.68	19.37		1,020.4116	510.20580
3	53.28	12.30		655.3440	327.67200
4	52.00	2.42		125.8400	62.92000
5	52.25	3.30		172.4250	86.21250
6	52.25	1.40		73.1500	36.57500
7	35.31	18.32		646.8792	323.43960
合計					1,389.64890
敷地面積					1,389.64 m ²

側点	高さ	長さ	面積
a ~ b	+0.270	+0.200	7.280
b ~ c	+0.200	+0.200	4.550
c ~ d	+0.200	+0.270	7.280
d ~ a	+0.270	+0.270	4.550
合計		23.660	5.56000
総面積/総長さ			0.23500
平均地盤面			KBM +0.235



1階面積求積図兼平均地盤面算定図 S=1/100

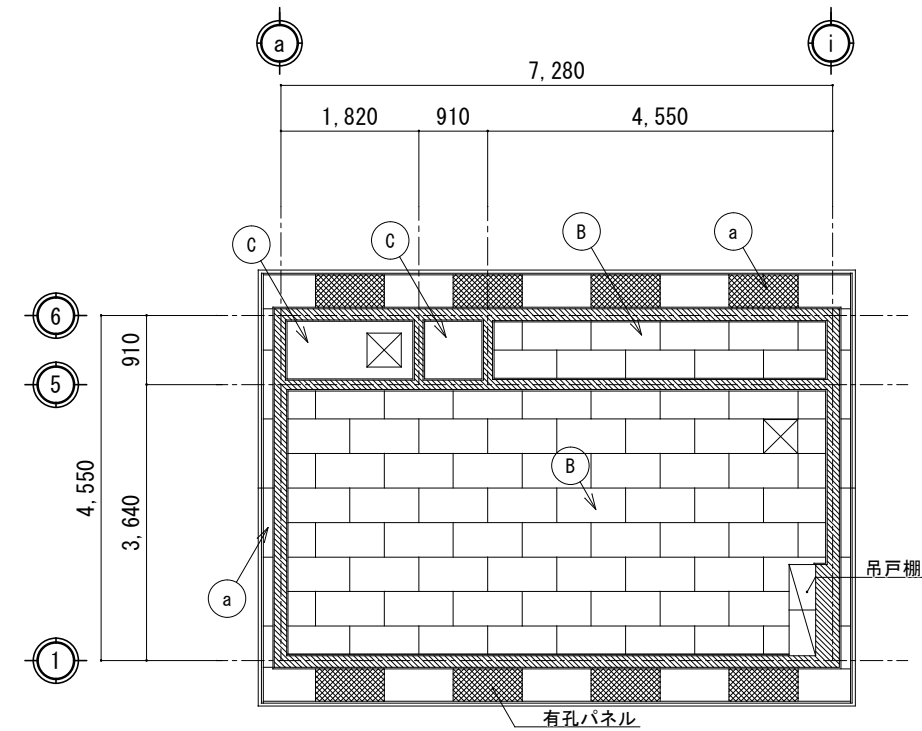
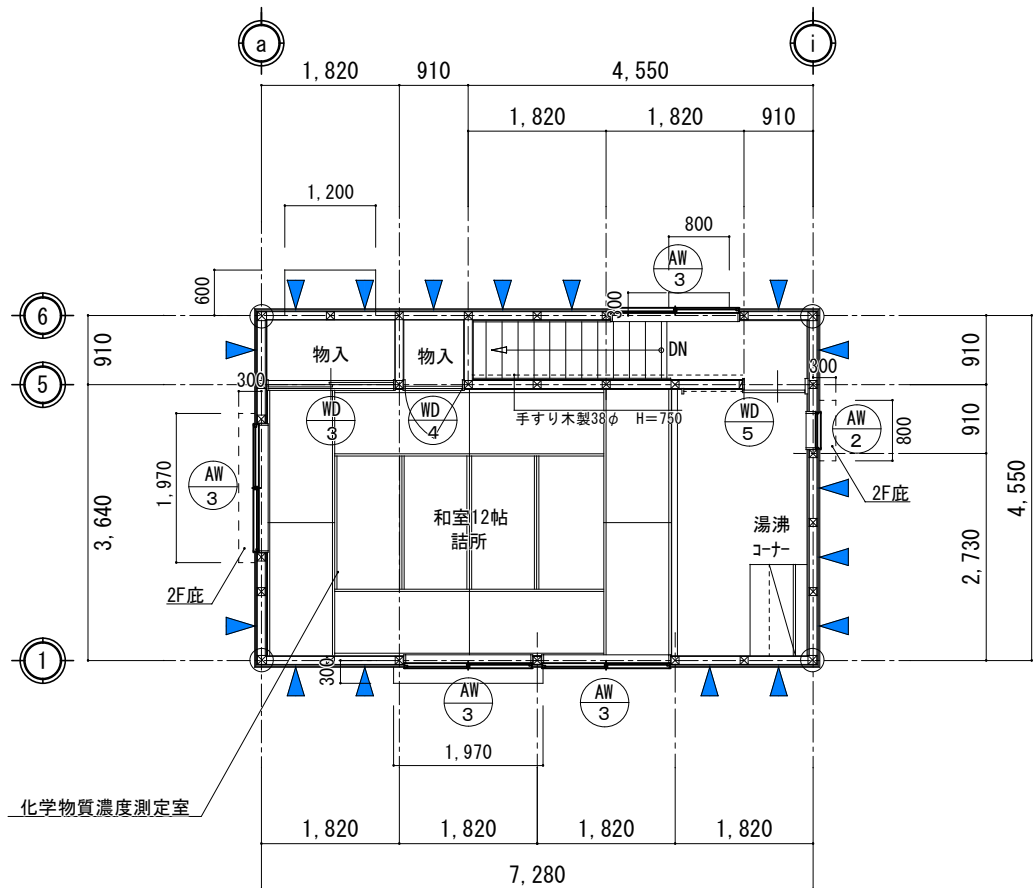
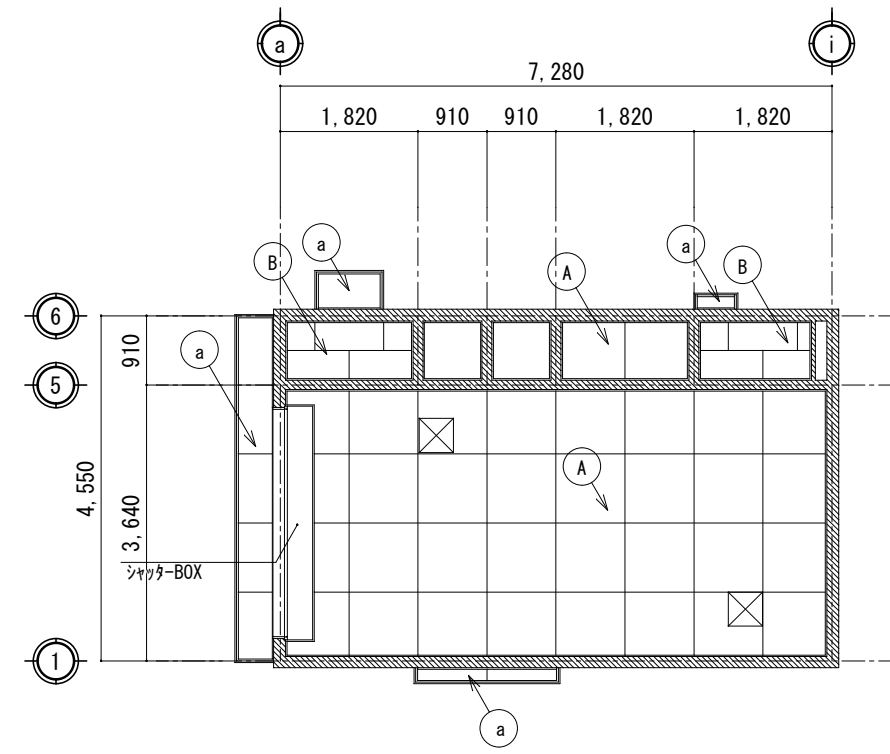
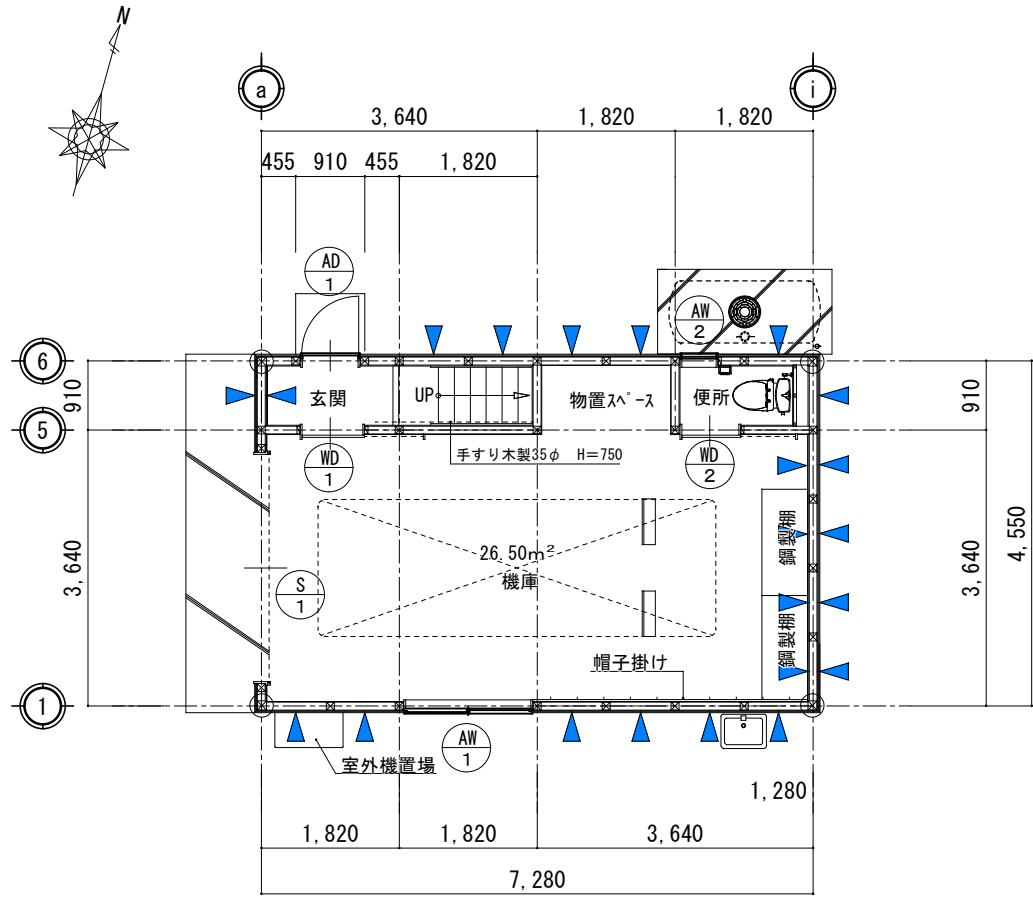


2階面積求積図 S=1/100

■建物面積 求積表

	記号	算式	面積 (m ²)
1階床面積	①	7.280 × 4.550	33.12
		(7.280 × 3.640)	(車庫等 26.50)
2階床面積	②	7.280 × 4.550	33.12
延べ床面積	① + ②		66.24
建築面積	②		33.12

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事				縮尺	A3 1/100 1/300	No. A-11 A-26
図面名	面積表				年月	令和8年4月	
図面番号	岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	課長	課長補佐	係長	係長	担当者	承認
図面							



面積表	
建築面積	33.12㎡
1階床面積	33.12㎡
(車庫等)	(26.50㎡)
2階床面積	33.12㎡
延べ床面積	66.24㎡

凡例		
	通柱位置	120x120
	管柱位置	105x105
	耐力壁位置	構造用合板 t=9mm

階段 (15段)	
有効幅	780mm
踏み面寸法	210mm
蹴上寸法	186.6mm

天井仕上リスト		
記号	使用材	廻縁
A	化粧石膏ボード t=9.5mm (準不燃) 910x910	塩ビ製
B	化粧石膏ボード t=9.5mm (準不燃) 455x910	塩ビ製
C	珞合板 t=5.5mm	木製
a	軒天井ボード t=12mm 塗装品 一部有孔ボード	
	天井点検口 7ミリ製450x450	

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事	No.	A-12
図面名	平面図・天井伏図	縮尺	A3 1/100
岡山市	都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和8年4月	A-26
課長	課長補佐	係長	係員
		担当者	承認
		検図	製図

必要壁量計算表

階	単位床面積による必要壁量				見付面積による必要壁量				必要壁量 (m)			
	壁量計算用床面積 (m ²)	単位面積当たりの必要壁量 (m/m) [※]	必要壁量 (m)		見付面積 (m ²)		係数 (m/m ²)	必要壁量 (m)		X方向	Y方向	
			X方向	Y方向	X方向	Y方向		X方向	Y方向			
平家建												
2階建	1階	33.12	0.38	12.59	12.59	24.62	43.51	0.5	12.31	21.76	12.59	21.76
	2階	33.12	0.18	5.97	5.97	10.77	21.61	0.5	5.39	10.81	5.97	10.81

※壁量等の基準に対応した表計算ツールによる

□X方向計算用見付面積計算表

区画	計算式	面積 (m ²)
A	4,735 × 1,196 ÷ 2	2.832
B	4,735 × 1,614	7.643
C	512 × 256 ÷ 2	0.066
D	512 × 150	0.077
E	512 × 256 ÷ 2	0.066
F	512 × 150	0.077
G	208 × 20 ÷ 2	0.002
H	208 × 106	0.022
I	4,735 × 2,920	13.827

□Y方向計算用見付面積計算表

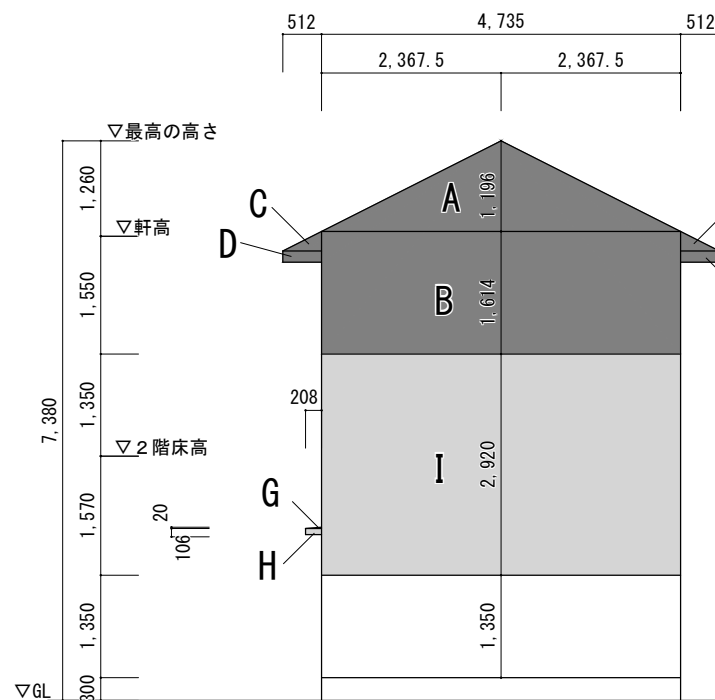
区画	計算式	面積 (m ²)
A	(7,465+180+180) × 1,602	12.536
B	7,465 × 1,208	9.018
C	208 × 20 ÷ 2	0.002
D	208 × 106	0.022
E	208 × 20 ÷ 2	0.002
F	208 × 106	0.022
G	7,465 × 2,920	21.798
H	508 × 25 ÷ 2	0.006
I	508 × 200	0.102

□X方向計算用見付面積計算結果

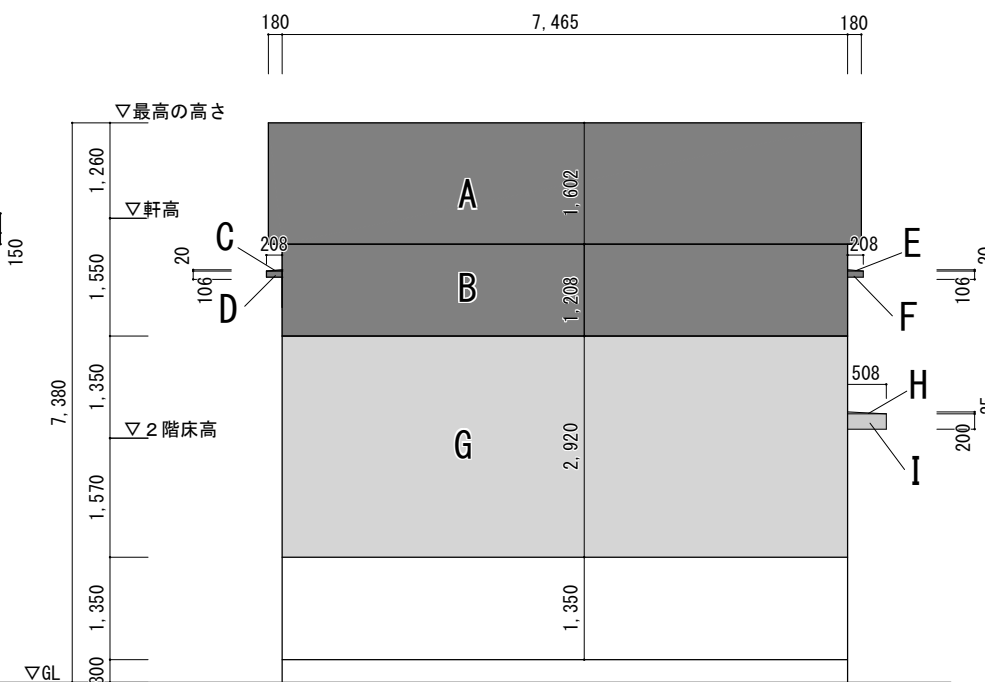
階	計算式	面積 (m ²)
1階	A+B+C+D+E+F+G+H+I	24.612
2階	A+B+C+D+E+F	10.761

□Y方向計算用見付面積計算結果

階	計算式	面積 (m ²)
1階	A+B+C+D+E+F+G+H+I	43.508
2階	A+B+C+D+E+F	21.602



X方向計算用見付面積根拠図 1/100



Y方向計算用見付面積根拠図 1/100

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事				No. A-13 A-26	承認	検印	製図
図面名	壁量計算表(1)	縮尺	A3 1/100					
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年4月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者				

耐力壁・準耐力壁仕様一覧

種類	材料名	基準倍率	係数	開口有無	開口高さ	取付高さ	下地貼材高さ	垂壁高さ	腰壁高さ	下地貼材実高さ	横架材間内法寸法	有効壁倍率	規格	釘打ちの方法種類	間隔
耐力壁	構造用合板 t9	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5	—	N50	150
準耐力壁等															

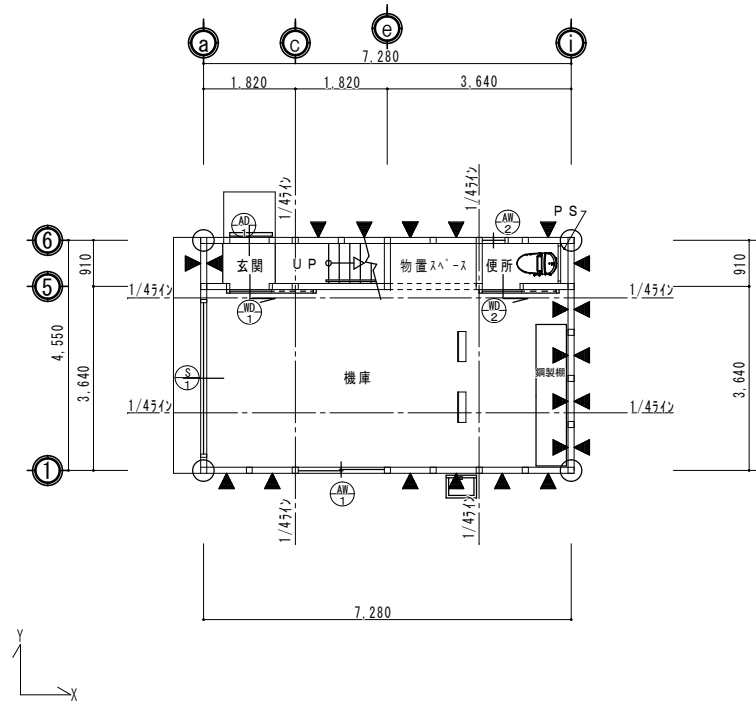
存在壁量計算表

建築物の階数	階	ゾーン	耐力壁の種類	倍率	X方向 (m)			Y方向 (m)			
					耐力壁	存在壁量	小計	耐力壁	存在壁量	小計	
平家建 2階建	1階	北側 1/4	構造用合板 t9	2.5	4.55	11.37	11.37	1.82	4.55	4.55	
		中央									
	南側 1/4	構造用合板 t9	2.5	5.46	13.65	13.65	8.19	20.47	20.47		
	存在壁量の合計					12.59	< 25.02	OK	21.76	< 25.02	OK
	2階	北側 1/4	構造用合板 t9	2.5	5.46	13.65	13.65	1.82	4.55	4.55	
		中央									
南側 1/4	構造用合板 t9	2.5	3.64	9.10	9.10	3.64	9.10	9.10			
存在壁量の合計					5.97	< 22.75	OK	10.81	< 13.65	OK	

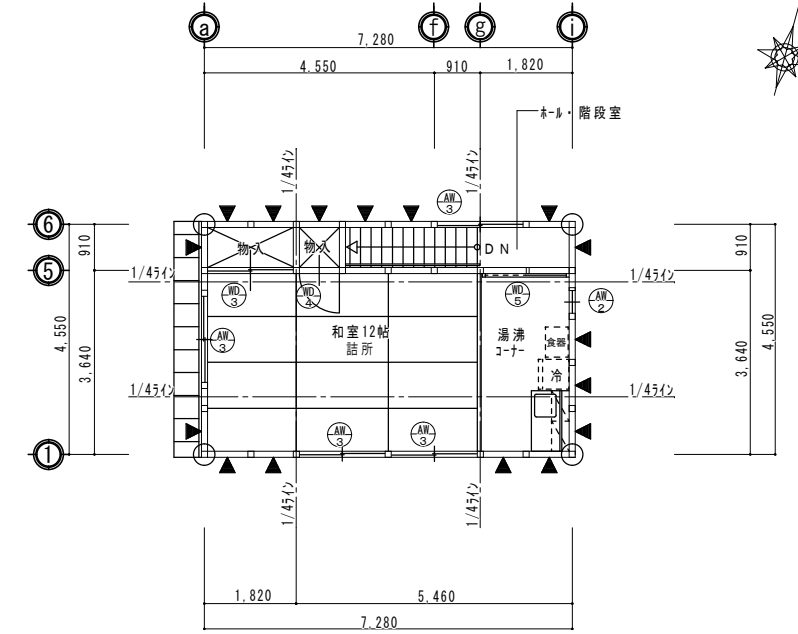
バランスよい壁配置計算表

階	ゾーン	ゾーン床面積 (㎡)	係数※ (㎡/㎡)	必要壁量 (m)	存在壁量 (m)	壁量充足率 (存在壁量/必要壁量)	壁率比 (≥0.5)	判定
1階	北側 1/4	8.28	0.38	3.15	11.37	3.61	—	OK
	南側 1/4	8.28		3.15	13.65	4.34		
	西側 1/4	8.28		3.15	4.55	1.45		
	東側 1/4	8.28		3.15	20.47	6.51		
2階	北側 1/4	8.28	0.18	1.50	13.65	9.10	—	OK
	南側 1/4	8.28		1.50	9.10	3.03		
	西側 1/4	8.28		1.50	4.55	4.54		
	東側 1/4	8.28		1.50	9.10	6.07		

※係数：単位面積当たりの必要壁量



1階平面図 S = 1 / 150



2階平面図 S = 1 / 150

凡例	
	通シ柱 120×120mm
	管柱 105×105mm
	耐力壁 構造用合板t9

※耐力壁の構造用合板はJASに適合するものとし、釘はN50で@150以下とする。

(L) 採光面積検討表

室名	居室床面積 A (㎡)	必要採光面積 A=1/7 (㎡)	採光面積検討計算式	有効採光面積 ※AW3	判定

※採光補正係数αは3とする

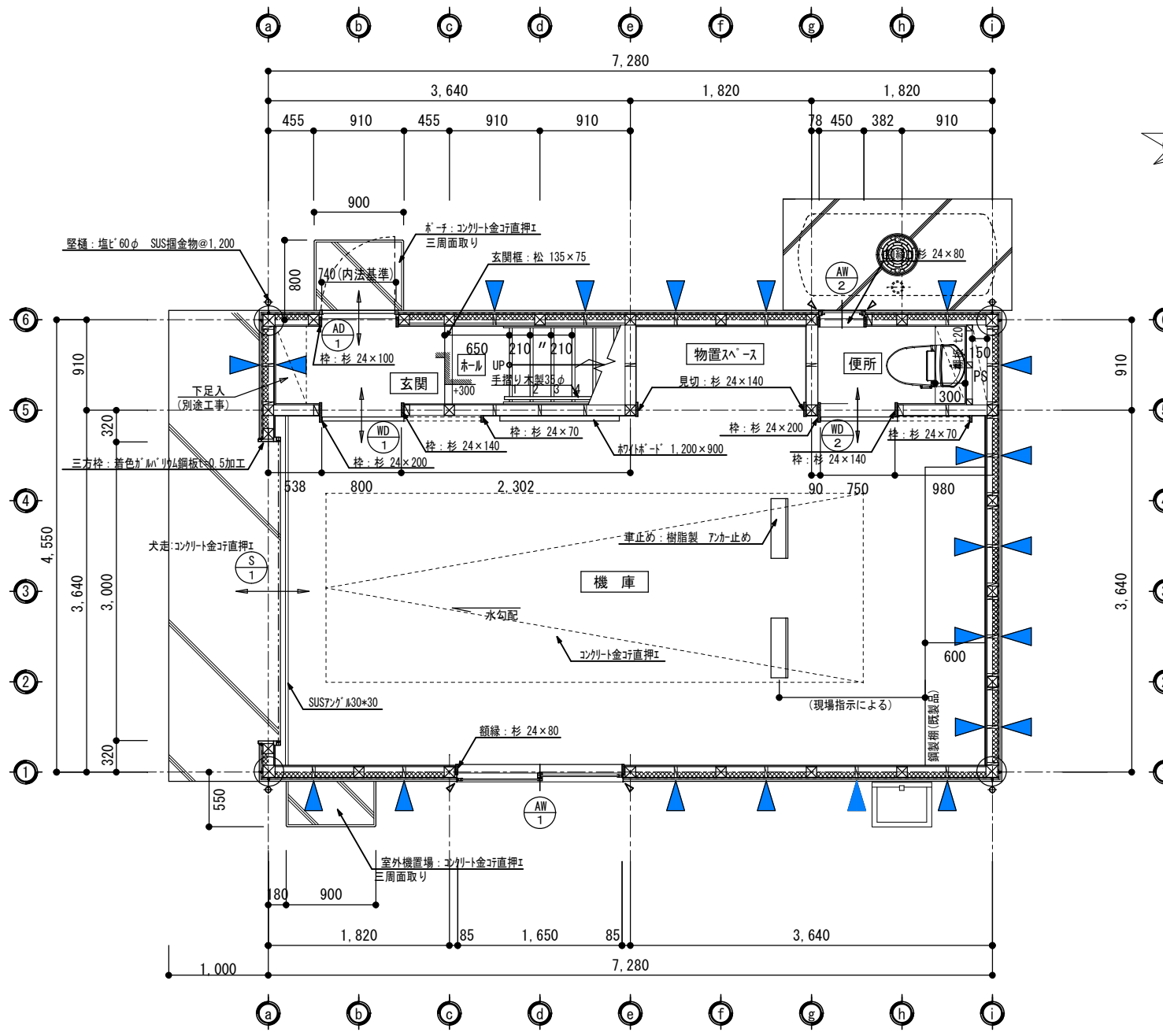
(V) 換気面積検討表

室名	居室床面積 A (㎡)	必要換気面積 A=1/20 (㎡)	換気面積検討計算式	有効換気面積 ※AW3	判定

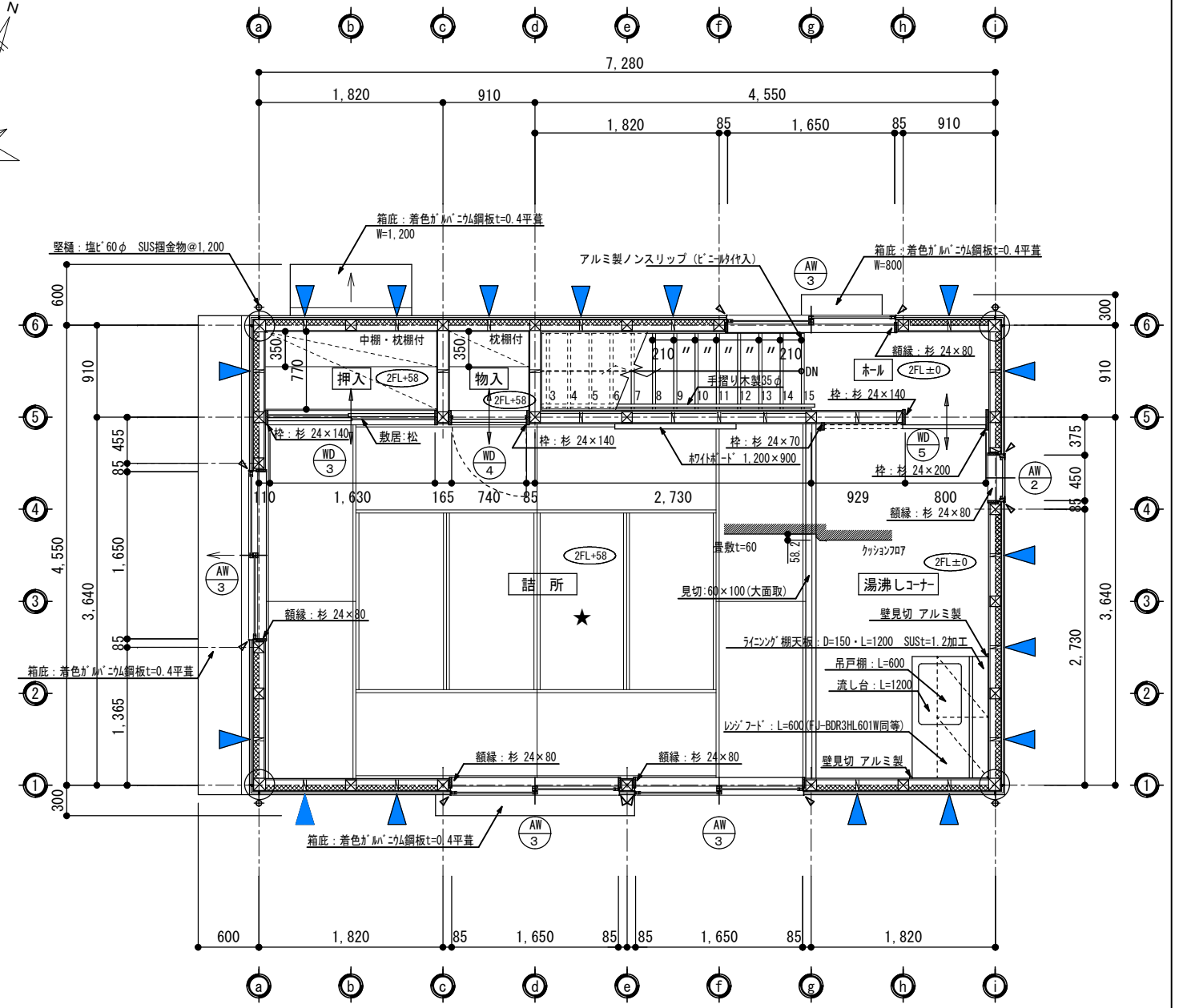
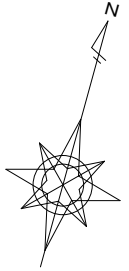
(S) 排煙面積検討表

室名	居室床面積 A (㎡)	必要排煙面積 A=1/50 (㎡)	排煙面積検討計算式	有効排煙面積 ※AW3	判定

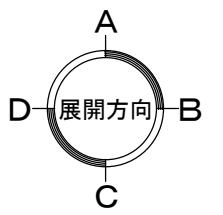
工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事	No.	A-14
図面名	壁量計算表(2)・LVS検討表	縮尺	A3 1/150
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和8年4月	承認	A-26
課長	課長補佐	係長	課員
			担当者
			検閲
			製図



1階平面詳細図 1/60

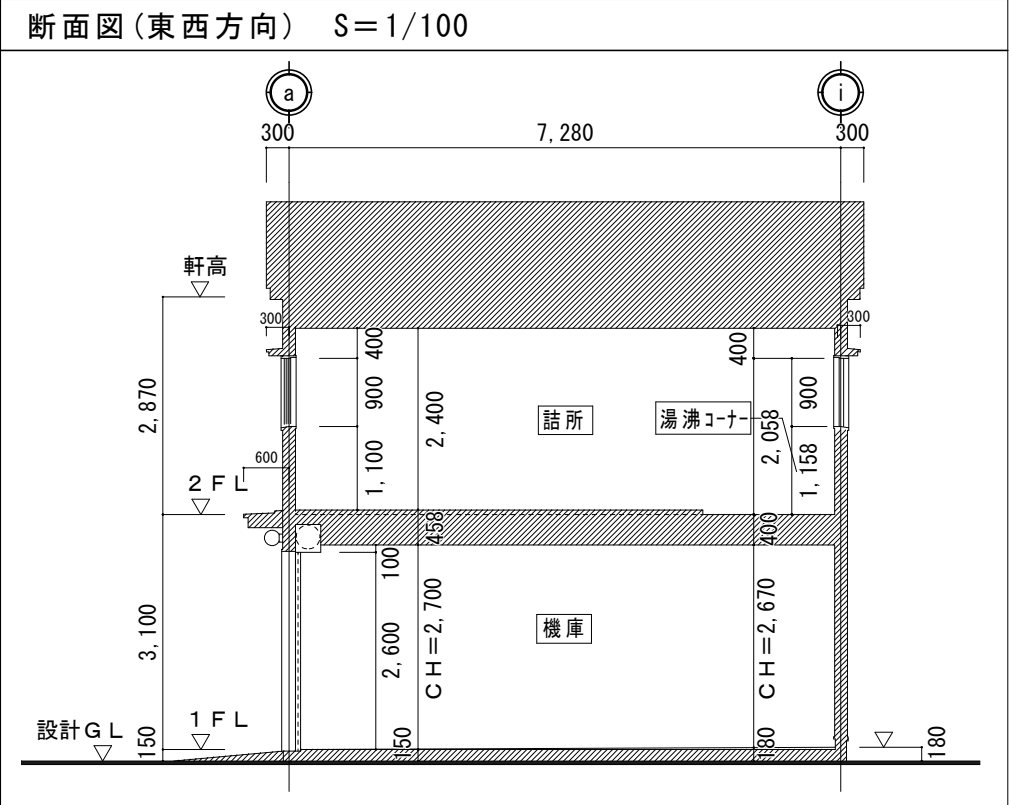
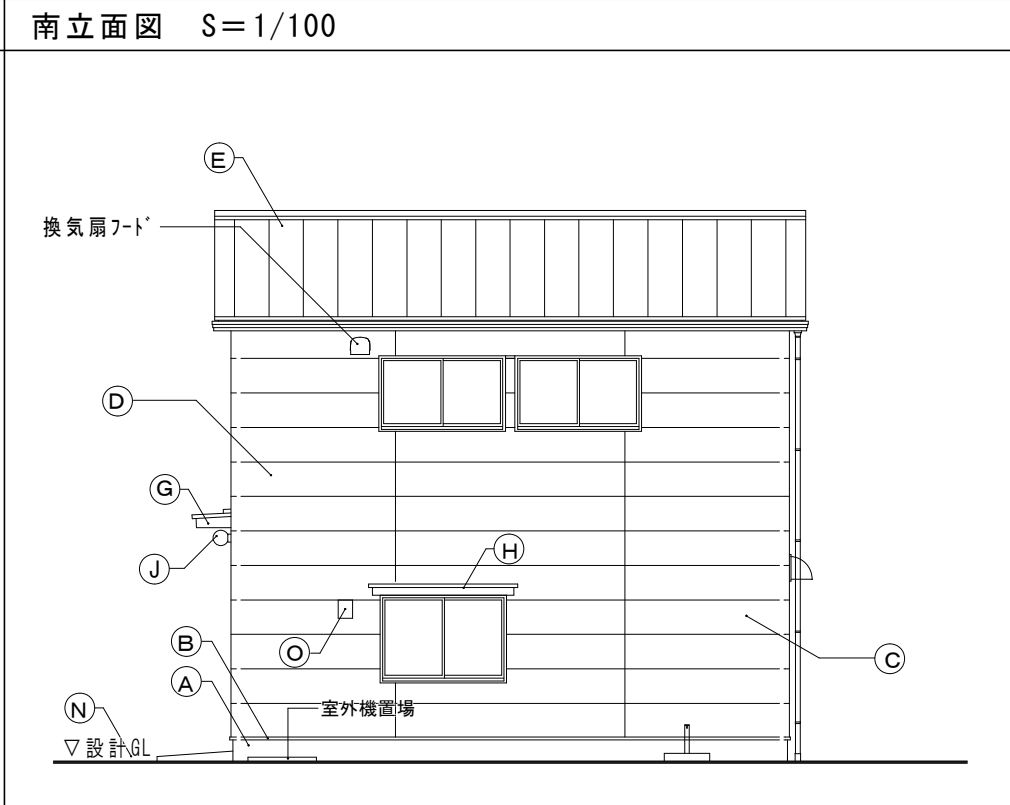
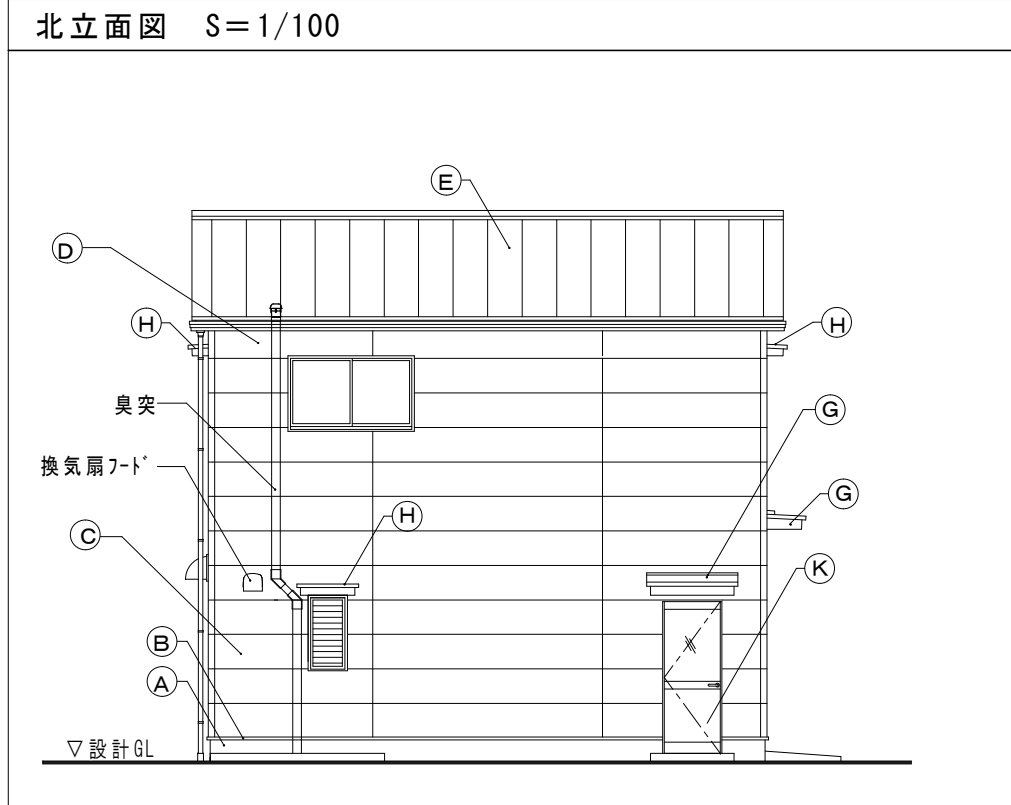
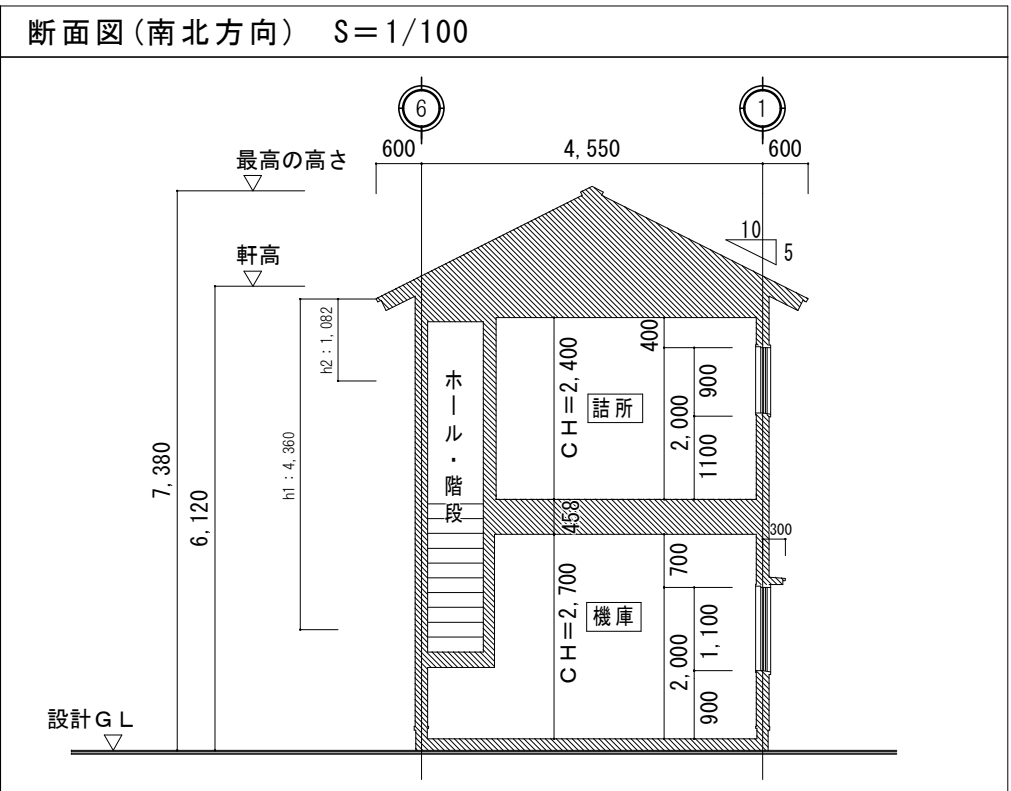
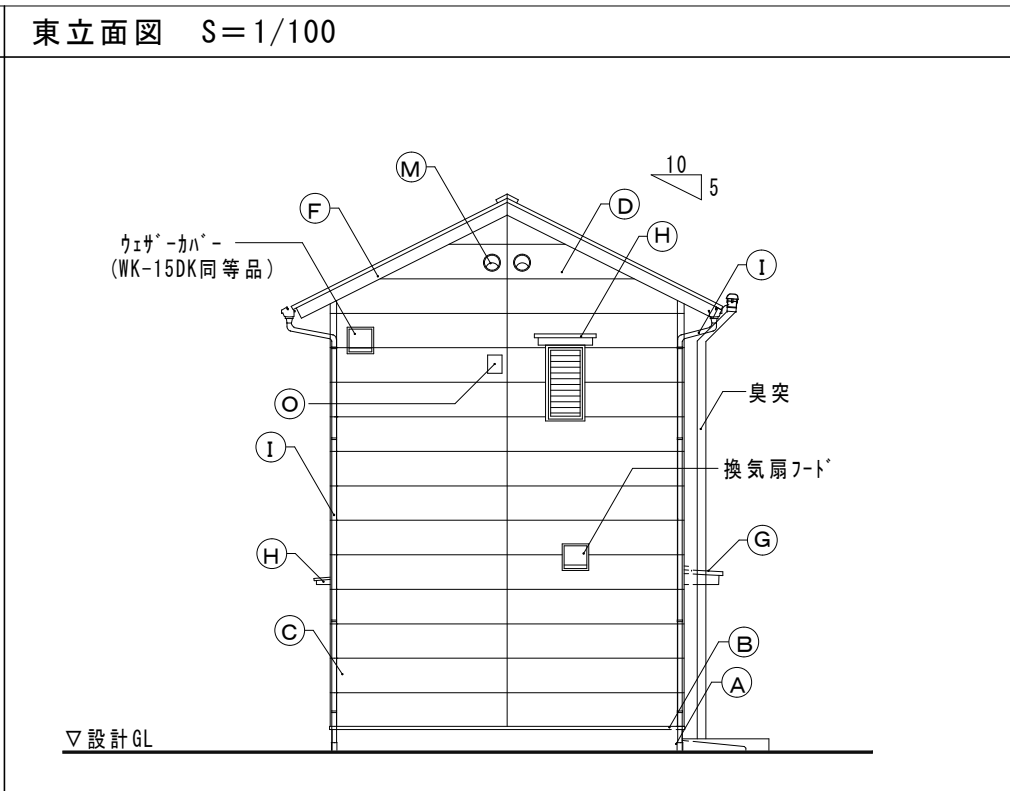
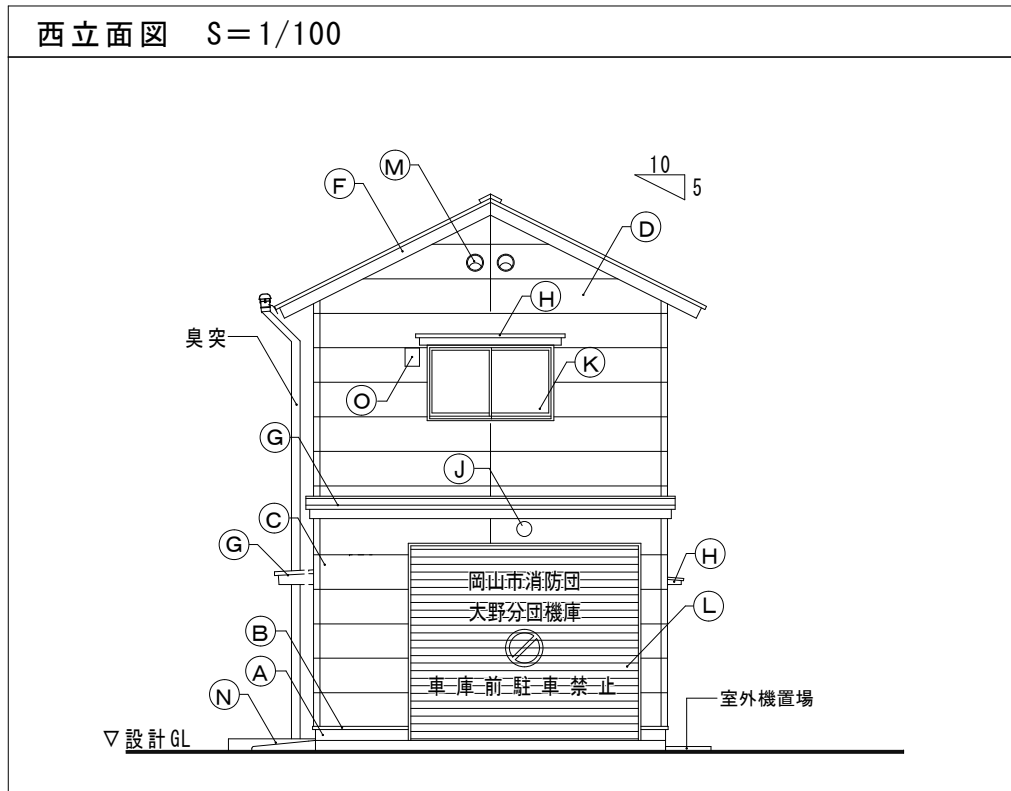


2階平面詳細図 1/60



凡例	
	通し柱 120×120
	耐力壁 構造用合板 t=9
	壁: グラスウール 16kg/m3 t=75 充填
	変性シリコンコーキング処理
	室内空气中化学物質濃度測定
	・ 桟廻り及額縁は見付24とする
	・ 建具桟廻り材は杉材OSC塗とする

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事			No.	A-15
図面名	平面詳細図	縮尺	A3 1/60	A-26	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和8年4月	担当者	承認		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認



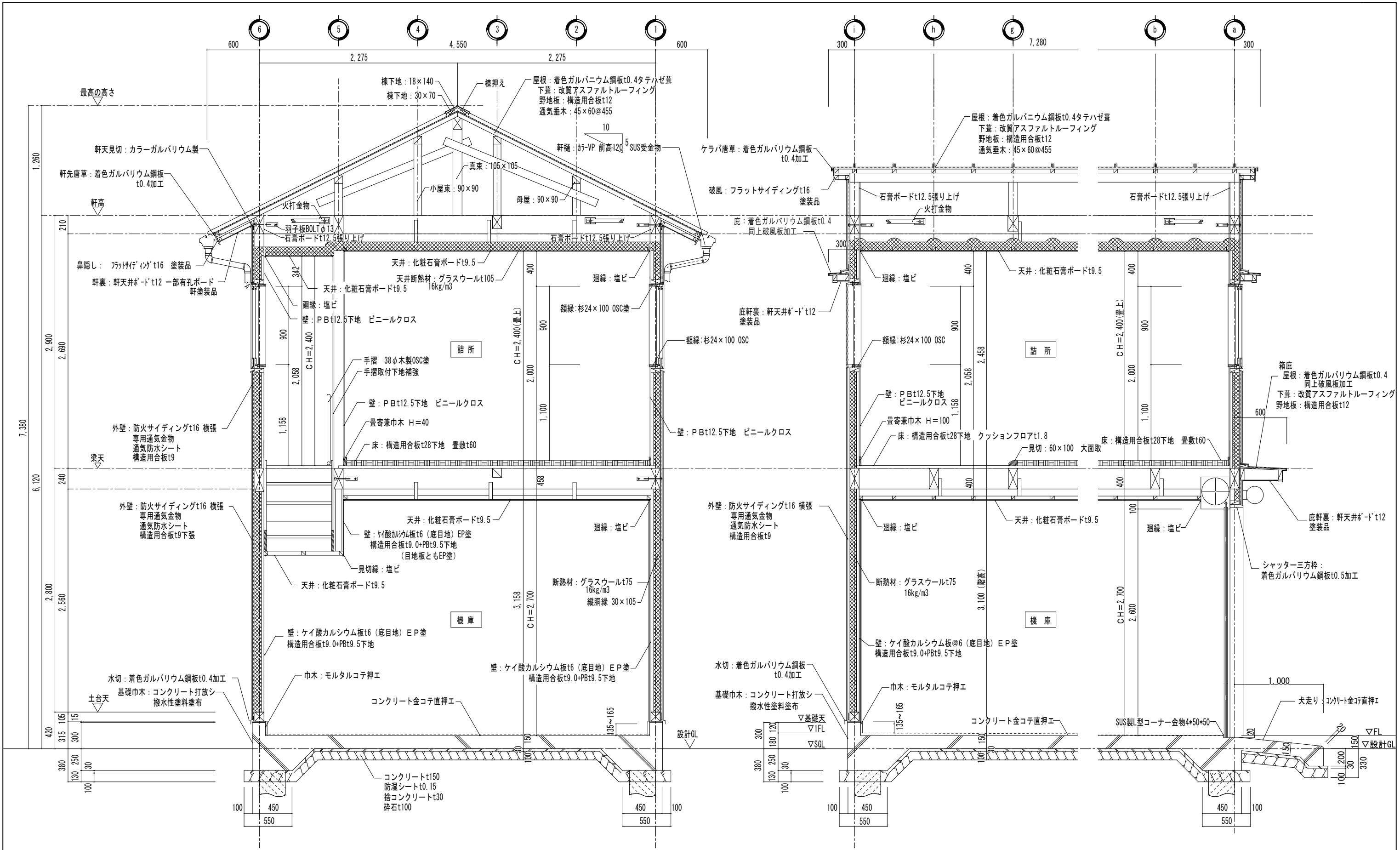
外部仕上げ表

(A) 巾木	コンクリート打放し 撥水材塗布
(B) 土台水切	着色ガルバリウム鋼板 t0.4加工
(C) 外壁	防火サイディング t16 横張 塗装品(金具止め工法) 働き巾455 専用通気金物、通気防水シート、下地：構造用合板 t9
(E) 屋根	着色ガルバリウム鋼板 t0.4 タテハゼ葺 下葺：改質アスファルトルーフィング940 (JIS A 6013) 野地板：構造用合板 t12 垂木：45×60@455 軒裏：軒天井*ト t12 一部有孔ボード 塗装品
(F) 破風板 鼻隠し	フラットサイディング t16 塗装品
(G) 庇 D=600	箱庇：着色ガルバリウム鋼板 t0.4 平葺 破風板一体加工 軒裏：軒天井*ト t12 塗装品

(H) 庇 D=300	箱庇：着色ガルバリウム鋼板 t0.4 平葺 破風板一体加工 軒裏：軒天井*ト t12 塗装品
(I) 樋	軒樋：塩ビ角樋 SUS受金物 前高120 堅樋：カラーVPφ60 SUS挿金物
(J) 赤色灯	赤色LEDφ200
(K) 開口部	アルミサッシ 型板ガラス
(L) 車庫入口	軽量スチールシャッター 文字ステッカー共 書き入れ文字共 三方枠：着色ガルバリウム鋼板 t0.5加工
(M) 天井裏換気孔	SUS丸型ガラリ200
(N) 犬走り・ポーチ	コンクリート金コテ直押え
(O) 給気口	アルミ製150φ 深型フード付き

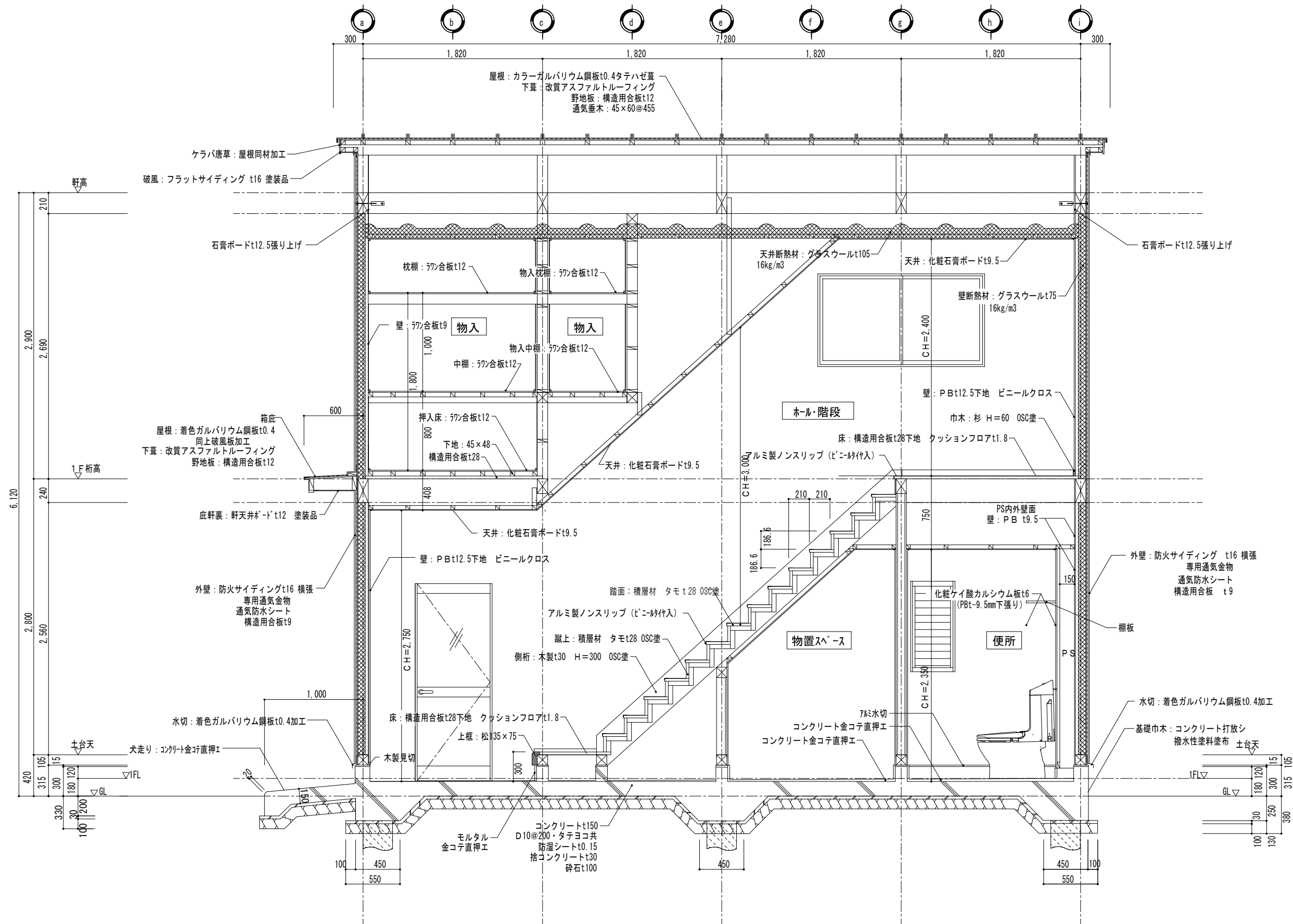
() 内の数値はKBMからの高さを示す
 北側斜線制限：市街化調整区域のため、対象外
 隣地斜線制限：最高高さ10m未満のため、適当

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事	No.	A-16
図面名	立面図・断面図	縮尺	A3 1/100
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和8年4月	A-26
課長	課長補佐	係長	課員
承認	承認	承認	承認



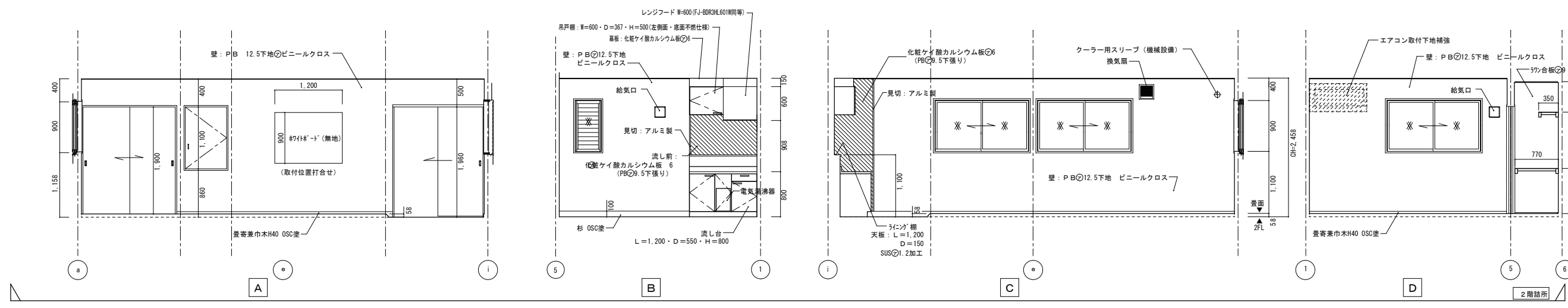
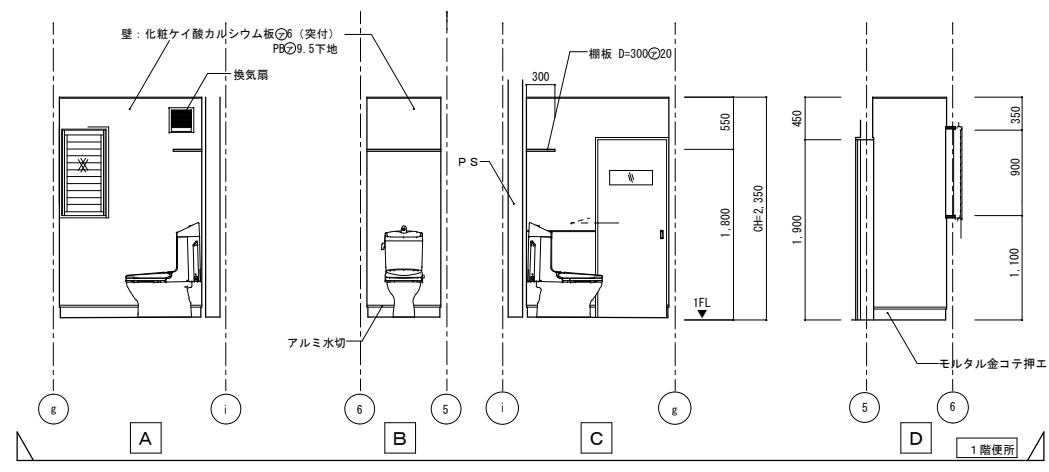
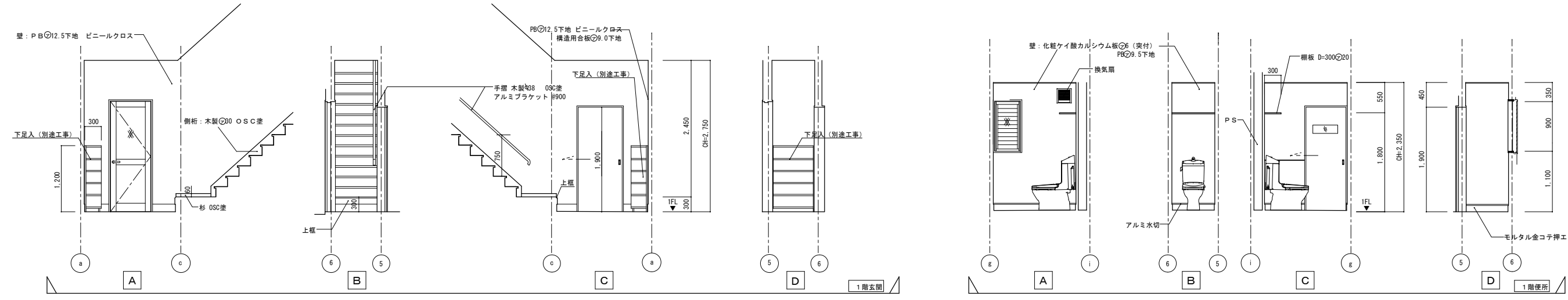
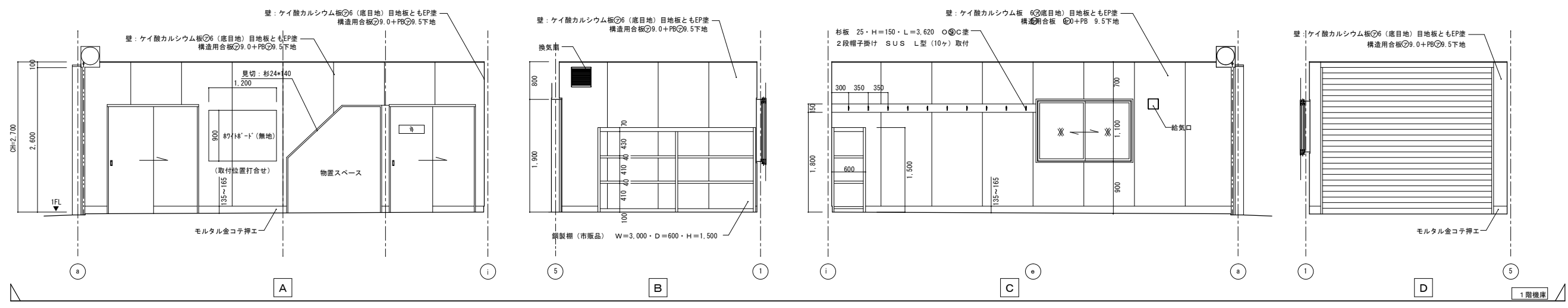
矩計図 (1) S = 1/40

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事				No.	A-17
図面名	矩計図 (1)				縮尺	A3 1/40
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年4月	A-26	
課長	課長補佐	係長	係員	担当者	承認	検閲

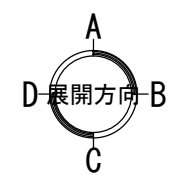


矩計図(2) S=1/40

工事名 岡山市消防団大野分団機庫新築工事					No. A-18	
図面名 矩計図(2)					縮尺 A3 1/40	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和8年4月	
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認	検印



展開図 1/80

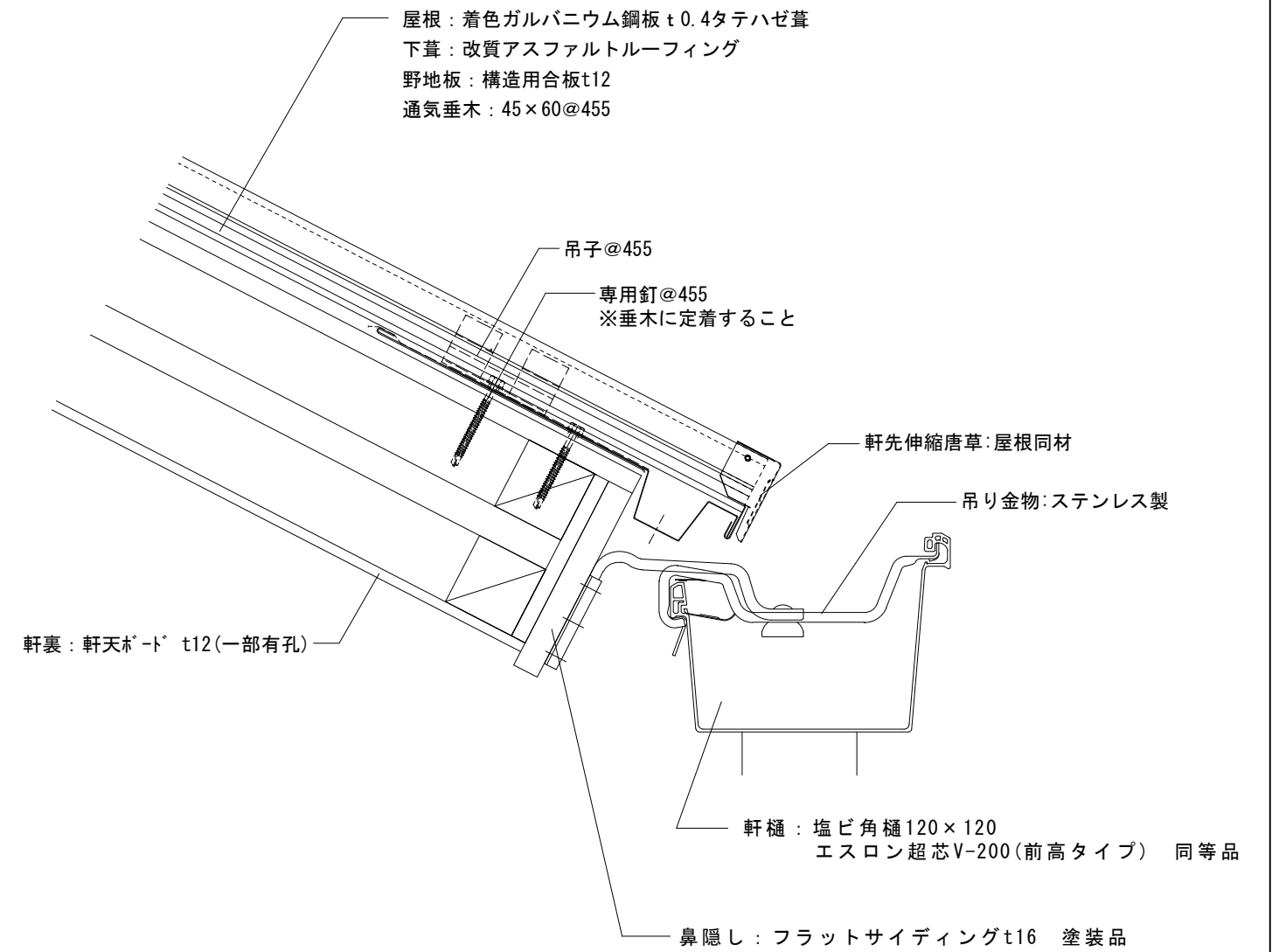
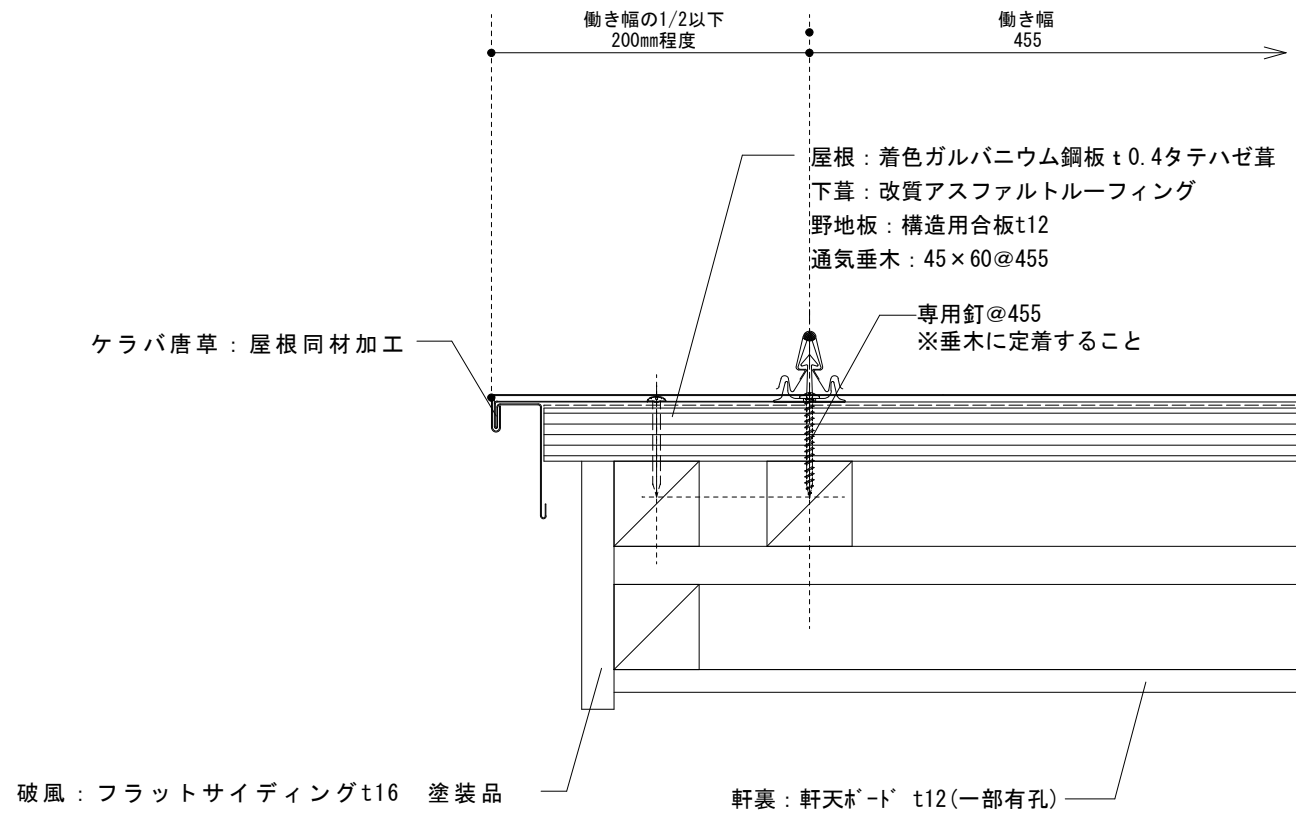


工事名 岡山市消防団大野分団機庫新築工事				No. A-19	
図面名 展開図				縮尺 A3 1/80	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和8年4月	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認
					検図 製図

建具表 S=1/100											
形式	数量	片開き戸	1	軽量スチールシャッター	1	引違窓	1	ルーバー窓	2	引違窓	4
記号		(AD) 1		(S) 1		(AW) 1		(AW) 2		(AW) 3	
姿図											
				(外観図)				() 内は2階の寸法を示す			
位置	見込	玄関	70	1階機庫入口	スラット t0.8	1階機庫	70	1階便所・2階湯沸コーナ	70	2階詰所・階段	70
材質	色	アルミ	カラー	スチール	カラー鋼板	アルミ	カラー	アルミ	カラー	アルミ	カラー
鍵	硝子	シリンダー錠 (内サムターン)	型板 t6	シリンダー中間錠		クレセント	型板 t6	オペレーターハンドル	型板 t6	クレセント	型板 t6
金物		標準金物一式・彫込引手		標準金物一式・SUSがイドレール・SUSマグサ SUS座板・シャッターケース・SUS床L型コーナ金物4*50*50共		標準金物一式・網戸		標準金物一式・網戸		標準金物一式・網戸	
備考		住宅用サッシ：半外付型7*1付				住宅用サッシ：半外付型7*1付		住宅用サッシ：半外付型7*1付		住宅用サッシ：半外付型7*1付	
形式	数量	吊式片引フラッシュ戸	1	吊式片引フラッシュ戸	1	引違フラッシュ戸	1	片開フラッシュ戸	1	吊式片引フラッシュ戸	1
記号		(WD) 1		(WD) 2		(WD) 3		(WD) 4		(WD) 5	
姿図											
位置	見込	1階ホール～機庫	33	1階便所	33	2階詰所物入	33	2階詰所物入	30	2階詰所～階段	33
材質	色	ポリ合板	小口OSC (ｽﾌﾟﾙｰｽ)	ポリ合板	小口OSC (ｽﾌﾟﾙｰｽ)	ポリ合板	小口OSC (ｽﾌﾟﾙｰｽ)	ポリ合板	小口OSC (ｽﾌﾟﾙｰｽ)	ポリ合板	小口OSC (ｽﾌﾟﾙｰｽ)
鍵	硝子			表示付錠錠	型板 t4						
金物		SUS引手・V型レール		SUS引手・V型レール		SUS引手・底車		SUS丁番・SUS取手・マグネットキャッチ		SUS引手・V型レール	
備考											

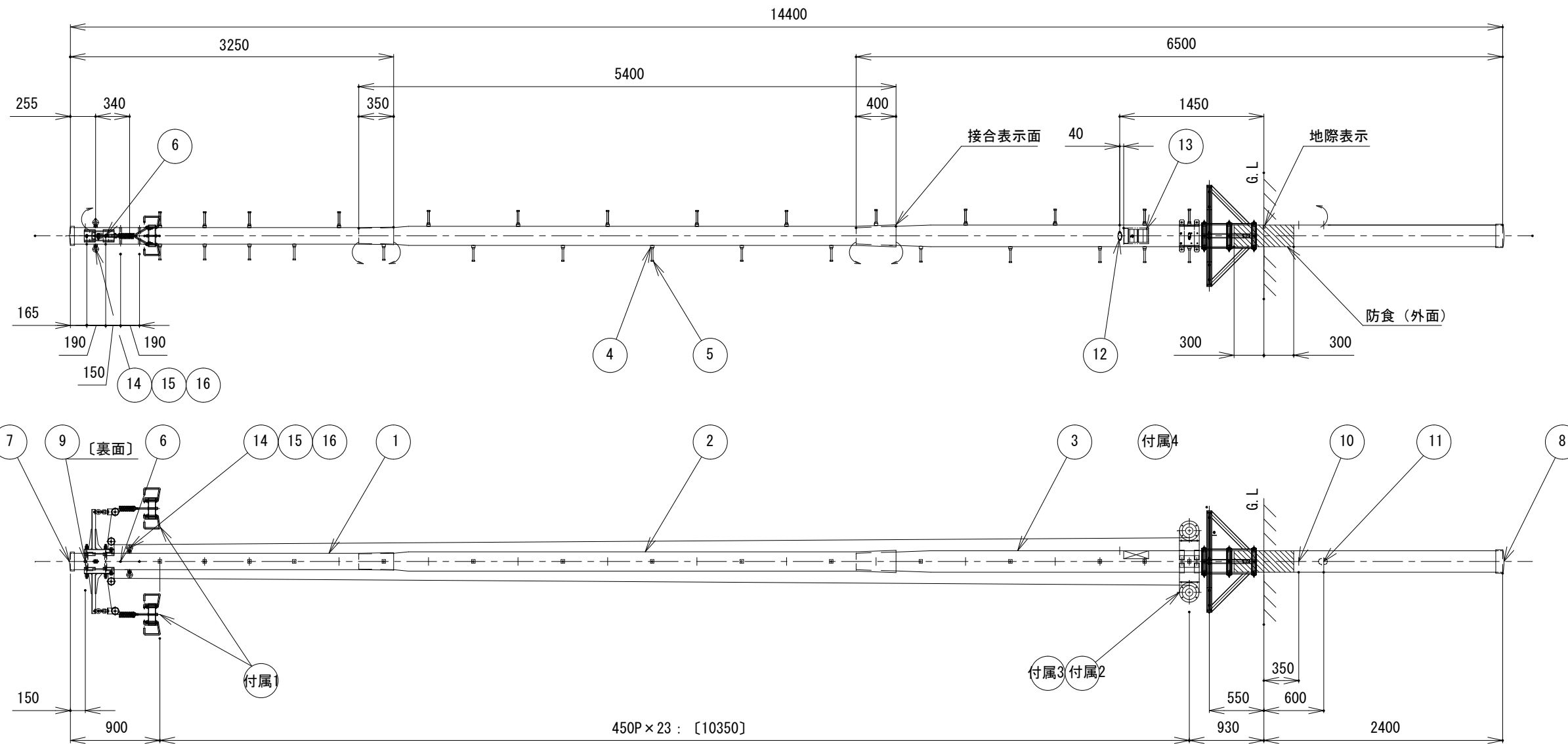
工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事				No.	A-20	
図面名	建具表				縮尺	A3 1/100	
岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課					令和8年4月	A-26	
課長	課長補佐	係長	係員	担当者	承認	検図	製図

元旦：TRX7型 同等以上



軒先、ケラバ 詳細図 S=1/4

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事				No. A-21 A-26	承認	検閲	製図
図面名	屋根詳細図	縮尺	A3 1/4					
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検閲	製図	



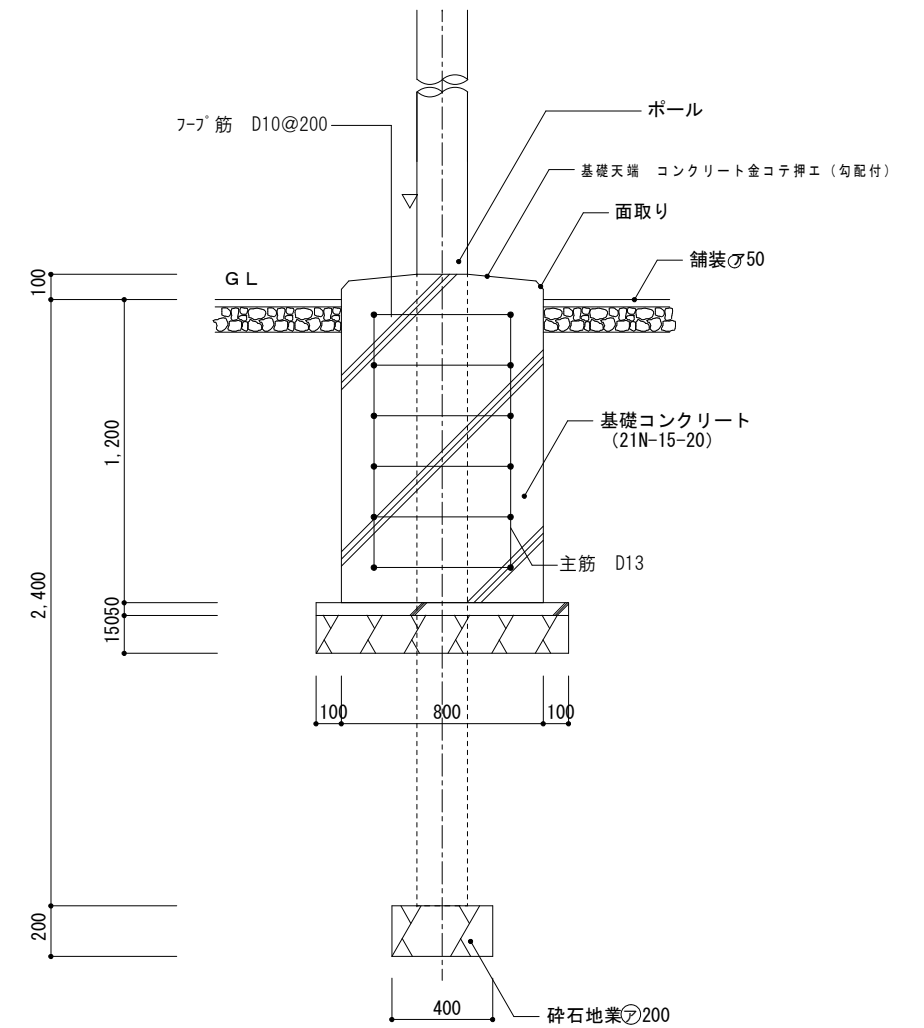
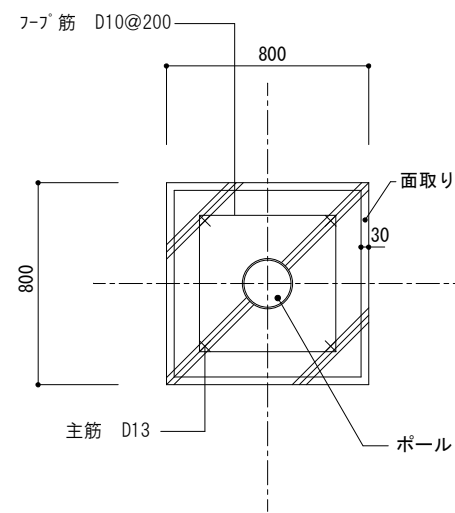
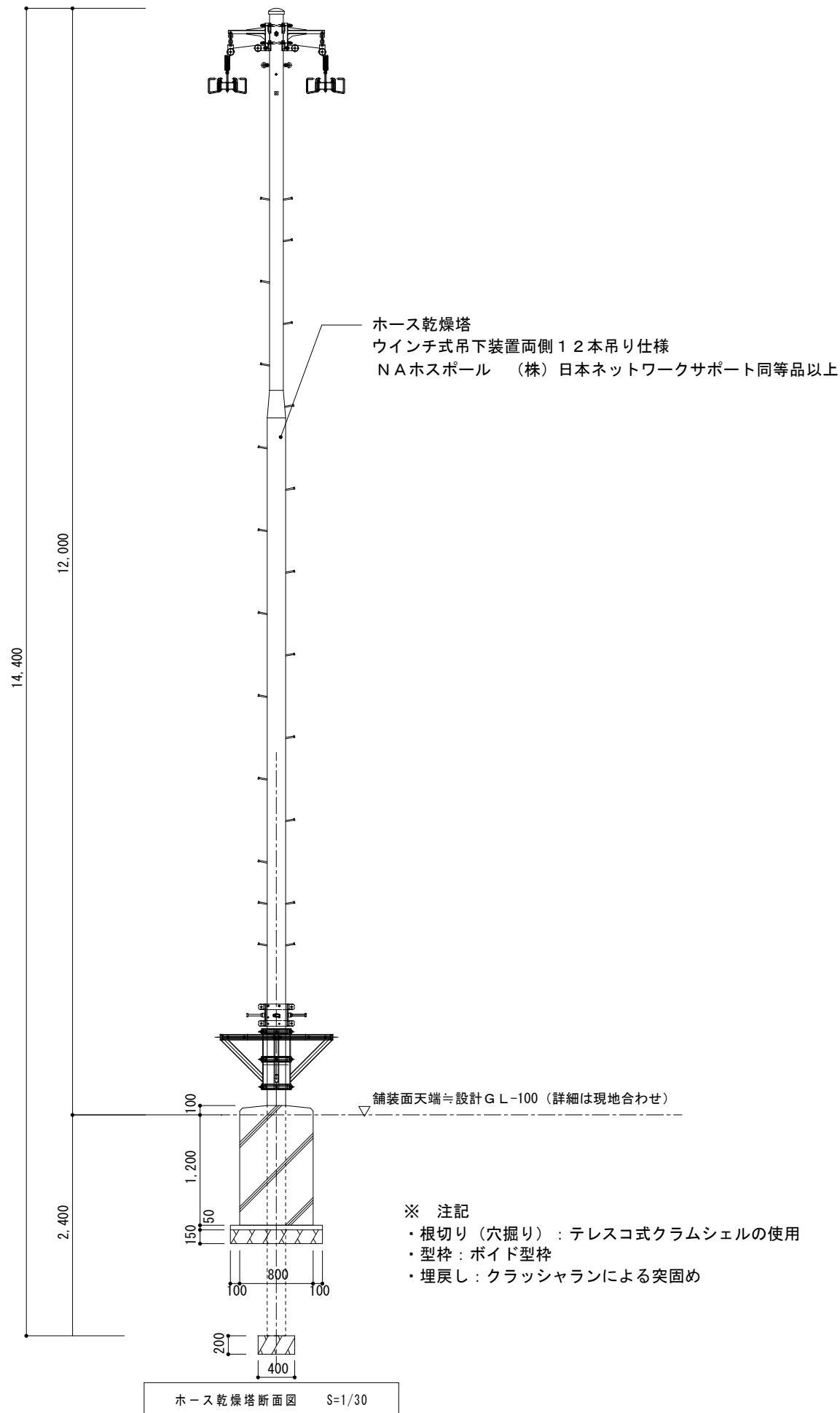
ホース乾燥塔 詳細図 S=1/50

ウインチ式吊下装置両側12本吊り仕様
 NAホスポール (株)日本ネットワークサポート同等品以上

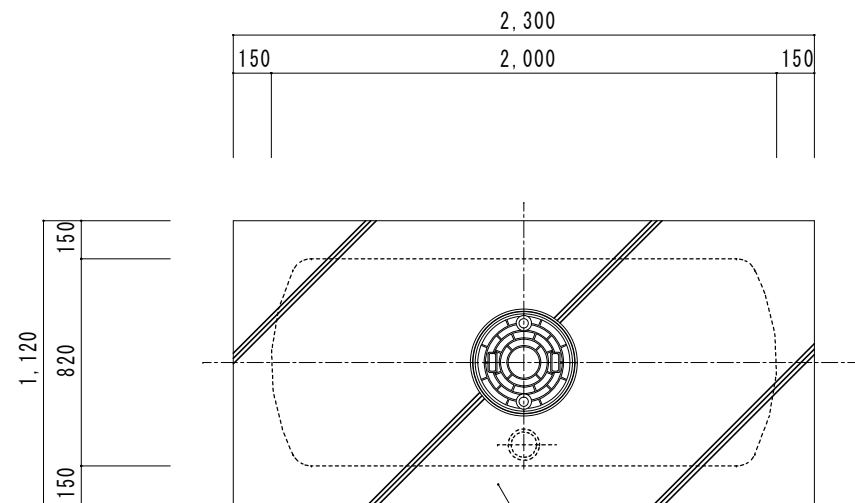
品番	品名	個数	材質	備考	品番	品名	個数	材質	備考
付属4	NAホースキャッチ [φ216.3用]	1式	SS材		10	六角ボルト M6×12×12	1	しんちゅう	
付属3	ウインチ [GM-3-S型]	2台	-		9	ゴムブッシュ [C20]	1	EPDM	
付属2	ウインチ架台 [両側用:併用タイプ]	1式	SS材	00986	8	底キャップ [φ216.3用]	1	SPHC	
付属1	ウインチ式吊下装置両側12本バンドレス型 [円形タイプ]	1式	SS材	00988	7	キャップ [φ165.2用]	1	SS材	00984
16	中複用六角ナットM16 [付W×3,クリップ]	4組	強度区分4		6	連通管 [φ21.7×1.9-165]	4	STK400	
15	アイボルト [M16]	4	SS400		5	足場ボルト [W5/8]	29	強度区分4.6	
14	安全帯取付用足場座 [C3型]	4	SAPH370		4	足場座 [C5型]	29	SAPH370	
13	警告ラベル [安全に関するご注意]	1	白コートテトロンR		3	φ216.3×4.5-6500	1	STK540	160kgf
12	商品ラベル	1	消銀-UCLR		2	φ193×3.2-5400	1	STK490	85kgf
11	ゴムブッシュ [29×63有効径]	1	STK400		1	φ165.2×3.3-3250	1	SS400	45kgf

○: リード線を示す。
 表示: 接合表示
 表示: 地際表示 (1/4円周に黄色表示)
 防食: エポタール 同等品 塗布
 仕上: 溶融亜鉛めっき450g/m2以上
 (ボルト類350g/m2以上)

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事			No.	A-22
図面名	ホース乾燥塔詳細図	縮尺	A3 1/50	A-26	
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和8年4月	
課長	課長補佐	係長	係員	担当者	承認
					検図
					製図



工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事			No.	A-23		
図面名	ホース乾燥塔基礎詳細図			縮尺	A3 1/30 1/60		
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和8年4月	A-26		
課長	課長補佐	係長	係員	担当者	承認	検図	製図

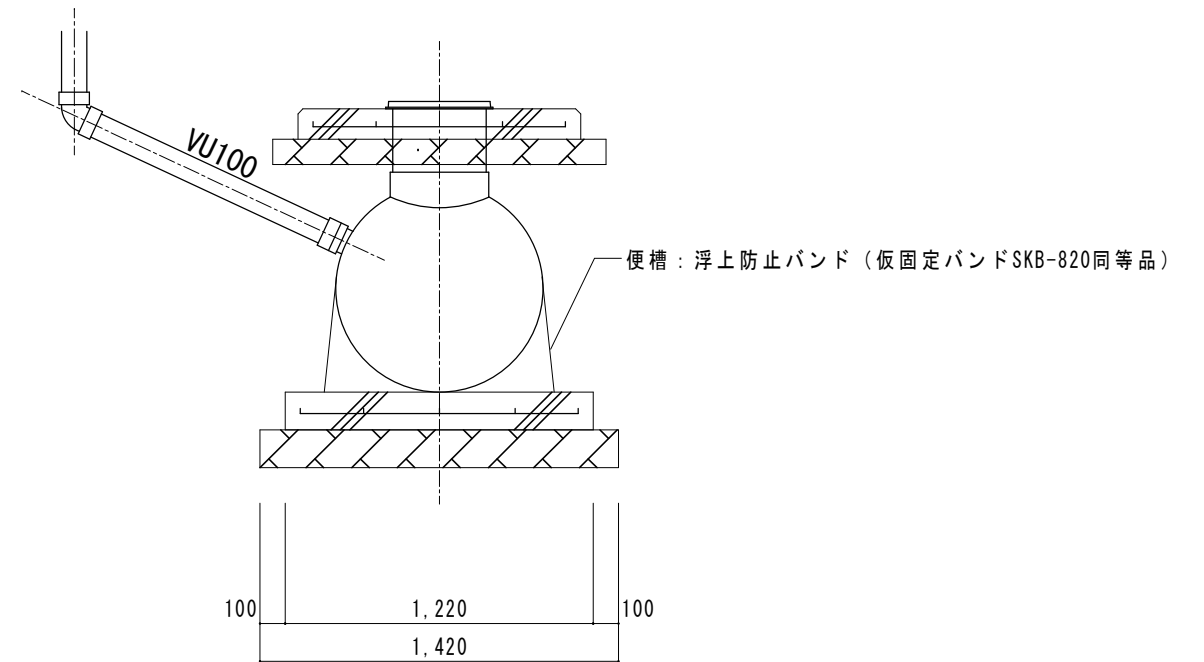
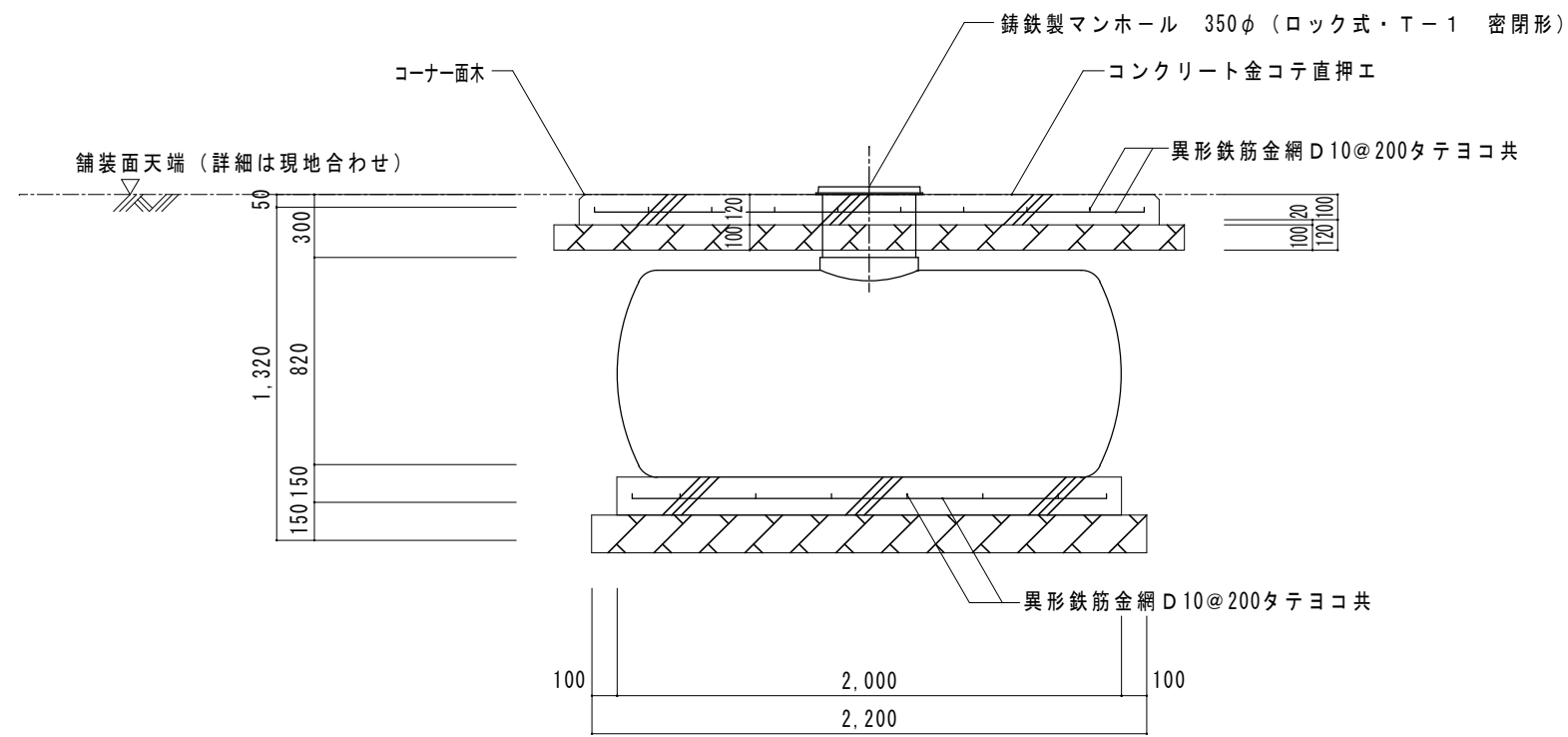


※便槽参考品番

ネボン株式会社
 NYU4-9 (960%)
 簡易水栓用便槽

コンクリート金コテ直押工

平面図 S=1/30



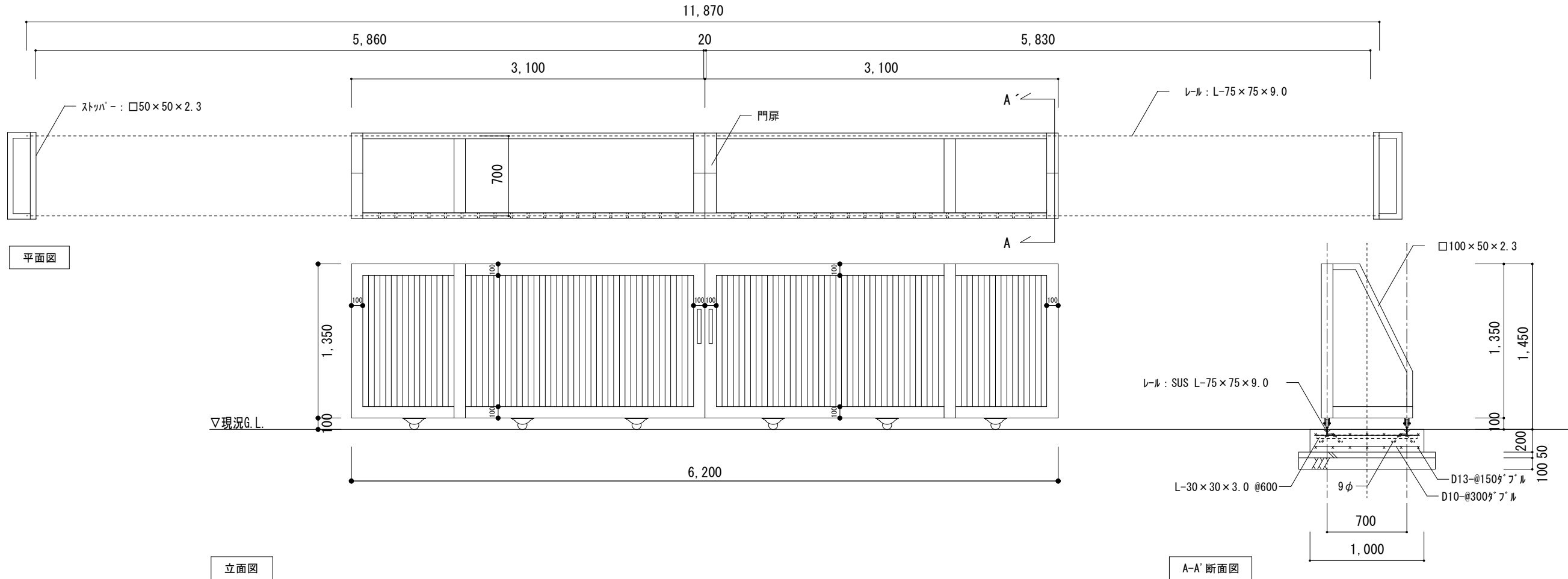
※注記

- ・臭突長さは軒下より1m以上とし、電動ファン取付け
 - ・臭突管はカラー色（壁樋と同色）とする。
 - ・埋戻し土は、山砂により行い、各層300mm程度ごとに締固め（転圧・水締め）を行うこと。
- ※周辺に井戸はありません。

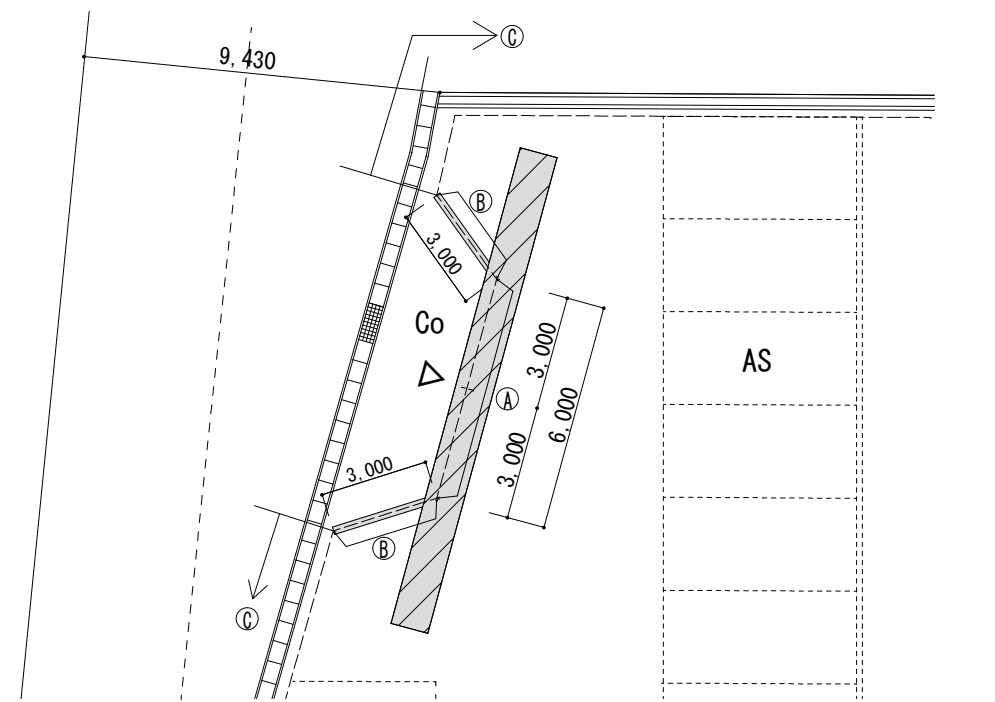
断面図 S=1/30

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事				縮尺	A3 1/30	No. A-24 A-26
図面名	便槽詳細図				年月	令和8年4月	
図面番号	岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	担当者	承認	検印
図面番号							製図

① 鋼製引戸 撤去 S=1:40



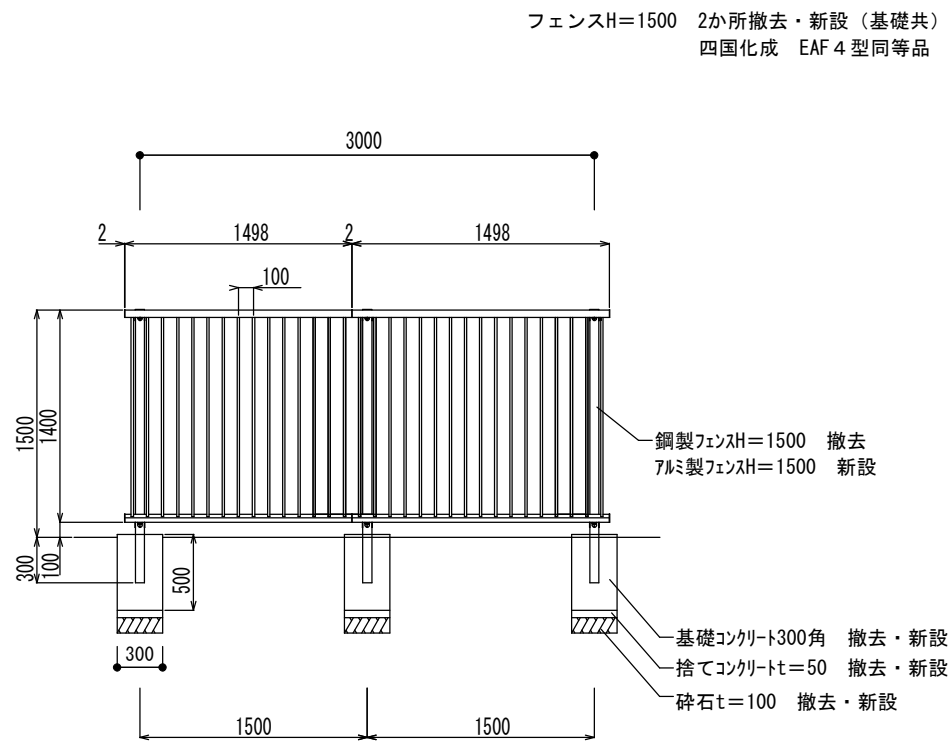
引戸・フェンス改修範囲 S=1:200



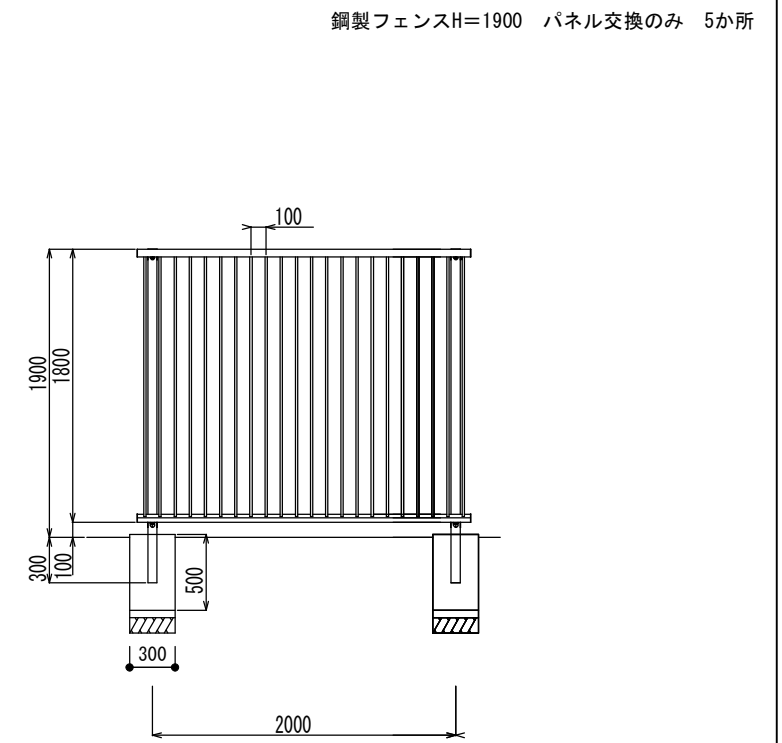
【凡例】

	引戸・フェンス撤去範囲 (範囲外はパネル交換のみ)
	既設引戸レール撤去範囲 (13m×1m) コンクリートカッター切、研り共
①	【改修前】鋼製引戸 撤去 【改修後】アルミ製引戸 新設 ※四国化成 スタックインSR1型手動式両引きステンレスフラットレール同等品
②	【改修前】鋼製フェンス H=1500 撤去 (基礎共) 【改修後】アルミ製フェンス H=1500 新設 (基礎共) ※四国化成 EAF 4 型同等品
③	【改修前・後】鋼製フェンス H=1900 パネル交換のみ (5か所)

② フェンスH=1500 撤去・新設 S=1:50

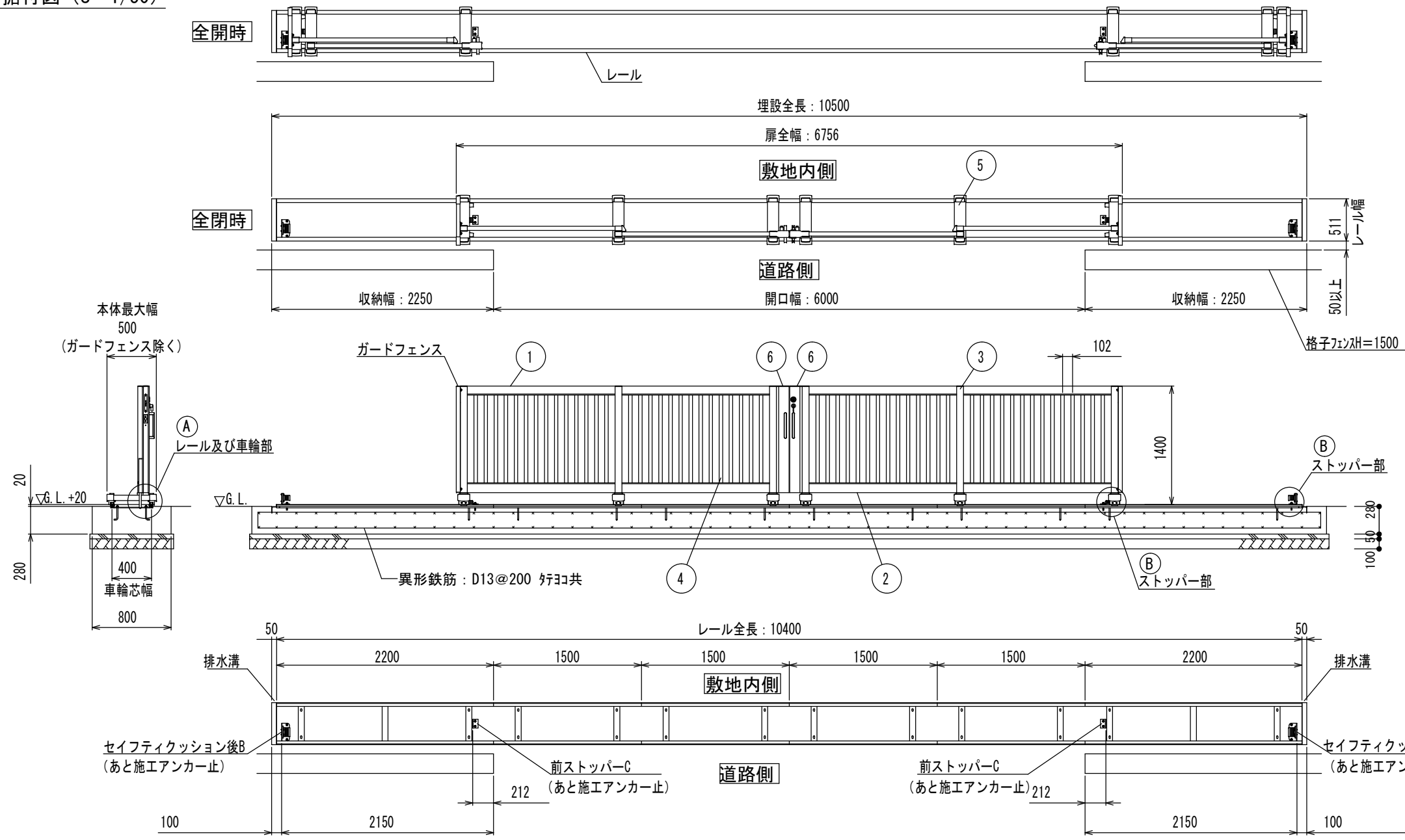


③ フェンスH=1900 パネル交換 S=1:50

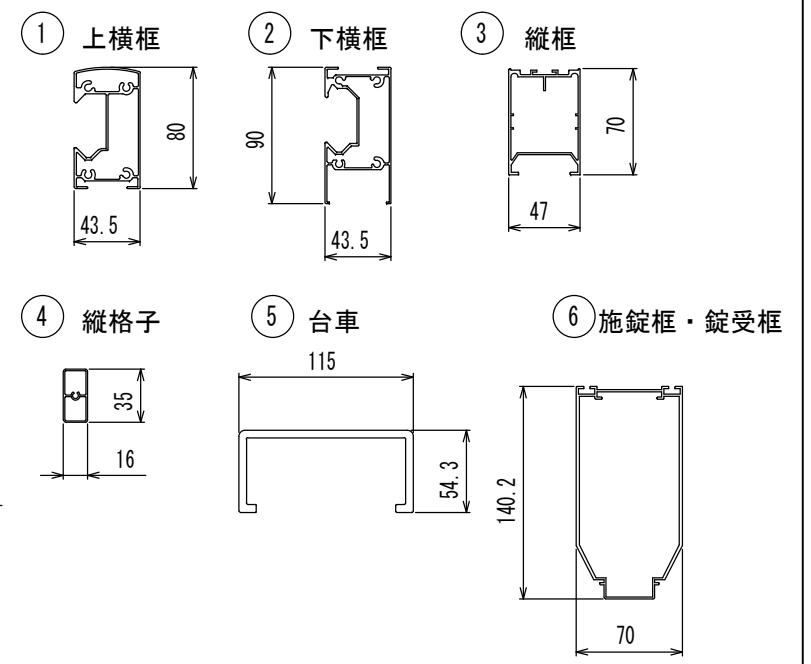


工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事	縮尺	1/40 1/50	No. A-25 A-26
図面名	外構改修図 (1)	縮尺	A3 1/200	
課長	岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	課長補佐	令和8年4月	承認
課長		課長		承認
課長		課長		承認

据付図 (S=1/50)

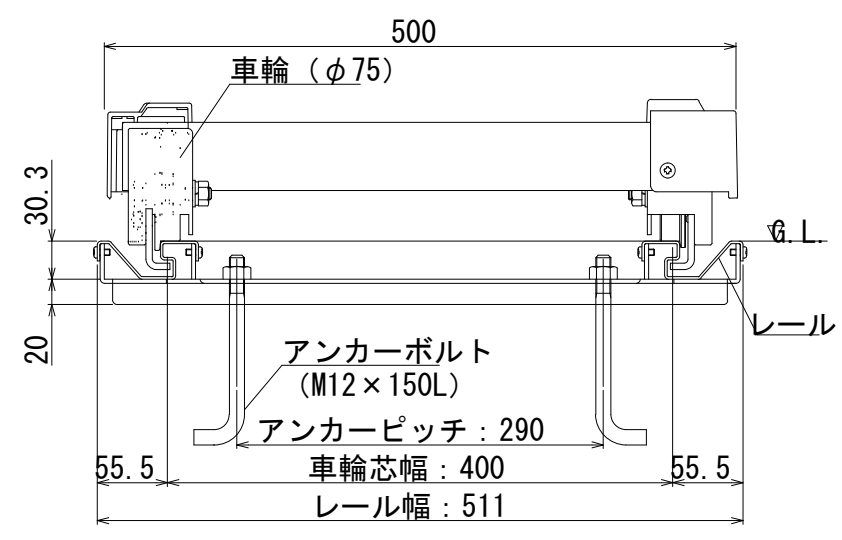


主要部材断面図 (S=1/5)

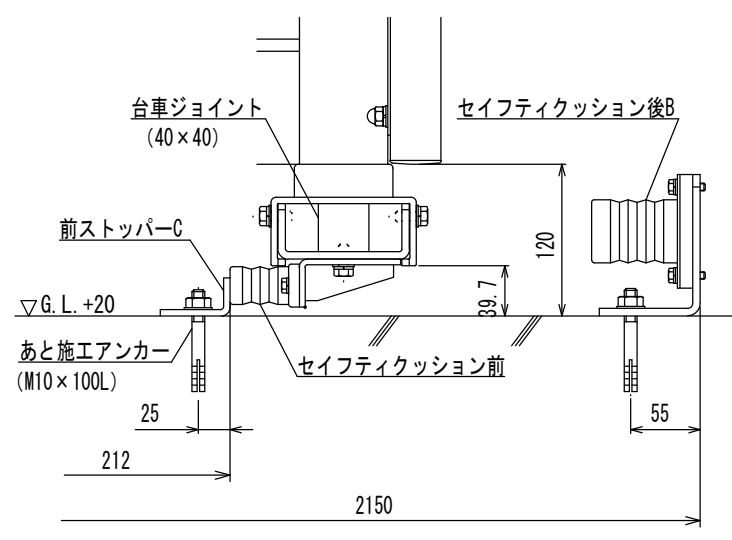


ねじ類	ステンレス
レール	ステンレス鋼
⑥ 施錠框・錠受框	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑤ 台車	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
④ 縦格子	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
③ 縦框	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
② 下横框	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
① 上横框	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜

① レール及び車輪部詳細図 (S=1/6)



② ストッパー部詳細図 (S=1/6)



※四国化成 スタックラインSR1型手動式両引きステンレスフラットレール同等品

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事	No.	A-26
図面名	外構改修図(2)	縮尺	A3 1/5 1/6 1/50
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課
課長	課長補佐	係長	係員
		担当者	承認
		検査	製図

木造在来軸組工法標準納まり図

§ 1 一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- 施工の際は本標準図の他、「木造住宅工事共通仕様書(解説付)」(財)住宅金融普及協会「木造軸組工法住宅 接合部の設計と金物の取付」(社)日本木造住宅産業協会等参照のこと。
- 床組 下記●印で選択した床組を適用する
 - 剛な床組
 - 柔な床組

§ 2 金物

- 使用する金物は、(財)日本住宅・木造技術センターの定める規格によるZマーク表示品または、これと同等以上のものを使用する。
- 接合及び補強をするに当たっては、接合部位の納まりに適した金物を使用すること。
- 接合金物の許容耐力一覧表

名称	記号	短期許容耐力(kN)			使用接合員等
		べいまつ類	べいつが類	すぎ類	
太めくぎ	ZN40	0.86	0.77	0.68	
	ZN65				
	ZN90	1.26	1.14	0.98	
スクリークぎ	ZS50	1.48	1.34	1.17	
柱脚金物	PB-33	11.38	10.40	10.00	六角ボルト M12(1本)
	PB-42	22.76	20.80	20.00	六角ボルト M12(2本)
ひら金物	SM-12	1.72	1.54	1.36	太めくぎ ZN65(4本)
	SM-40	4.30	3.85	3.40	太めくぎ ZN65(12本)
ひねり金物	ST-9	1.72	1.54	1.36	太めくぎ ZN40(4本)
	ST-12				
	ST-15				
折曲げ金物	SF	2.58	2.31	2.04	太めくぎ ZN40(6本)
くら金物	SS	5.16	4.62	4.08	
羽子板ボルト	SB・F, SB・F2	5.69	5.20	5.00	六角ボルト M12(1本)
	SB・E, SB・E2				
かど金物	CP・L	4.30	3.85	3.40	太めくぎ ZN65(10本)
	CP・T				
山形プレート	VP	5.04	4.56	3.92	太めくぎ ZN90(8本)
短ざく金物	S	5.69	5.20	5.00	六角ボルト M12(2本)
かね折り金物	SA				
かすがい	C-120	1.27	1.18	1.08	
	C-150				
	C C-120				
手違いかすがい	C C-150				
引き寄せ金物	HD-B10	11.38	10.40	10.00	六角ボルト M12(2本)
	S-HD10				又は分'ラクスクリュー(LS12)(2本)
	HD-B15				六角ボルト M12(3本)
	S-HD15	又は分'ラクスクリュー(LS12)(3本)			
	HD-B20	22.76	20.80	20.00	六角ボルト M12(4本)
	S-HD20				又は分'ラクスクリュー(LS12)(4本)
	HD-B25	28.45	26.00	25.00	六角ボルト M12(5本)
	S-HD25				又は分'ラクスクリュー(LS12)(5本)
	HD-N5				7.56
	HD-N10	12.60	11.40	9.80	太めくぎ ZN90(10本)
	HD-N15	20.16	18.24	15.68	太めくぎ ZN90(16本)
	HD-N20	22.68	20.52	17.64	太めくぎ ZN90(20本)
HD-N25	29.48	26.68	22.93	太めくぎ ZN90(26本)	

※ 表値は鋼板添え板による25%割増の値を示す。長期許容せん断耐力の値は表値の1/2とする。
 ※ べいまつ類：べいまつ・くろまつ・あかまつ・からまつ・つが
 ※ べいつが類：べいひ・べいつが・ひば・ひのき・もみ
 ※ すぎ類：とどまつ・えぞまつ・べにまつ・スプルス・すぎ・べいすぎ
 ※ ラクスクリューLS12は首下長11cm以上とし、柱法10.5cm角以上の部材に適用される。
 ※ 算出根拠は、日本建築学会発行の「木質構造設計基準・同解説」による。

(4) アンカーボルト 下記●印で選択したアンカーボルトを適用する

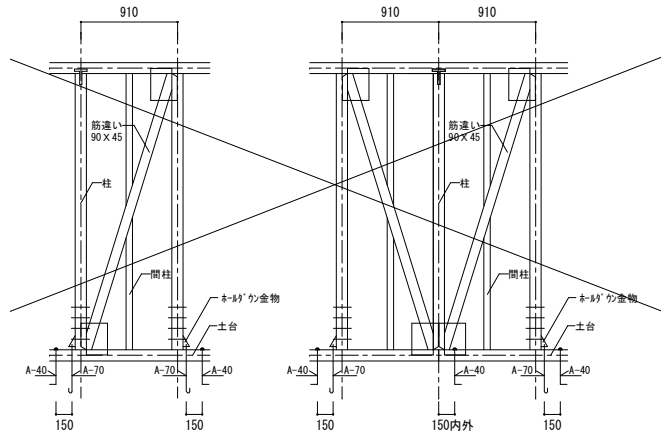
アンカーボルト	M12	L=	●					一般部
			400	450	500			
	M16	L=	●	●	●	●	●	通し柱出隅部

注：この図面は、一例を示したものであり、各現場の状況に合わせて変更して使用すること

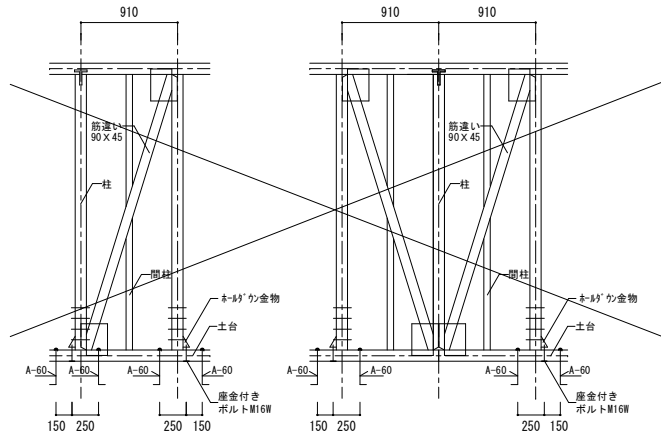
§ 3 各部構造の施工上の留意点

1 基礎と土台の緊結

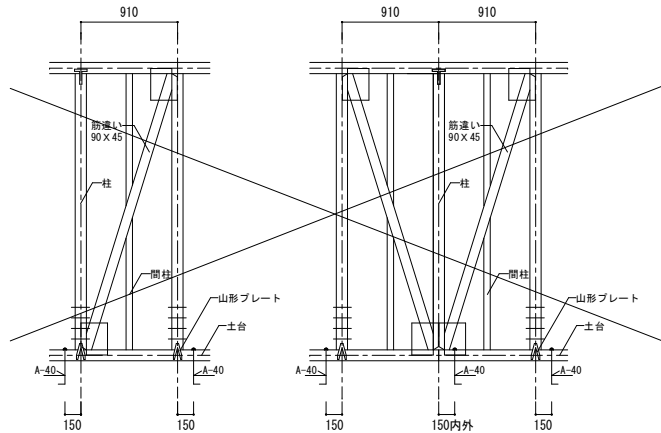
- アンカーボルトの配置
 - 筋違いを設けた耐力壁の部分は両端柱の外側下部に近い位置を原則とする
 - ホールダウン金物をアンカーボルト(A-70)で緊結する場合



② ホールダウン金物を座金付きボルト(M16W)で土台と緊結する場合

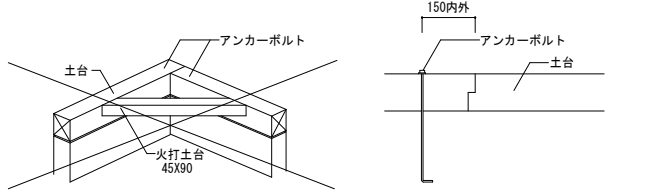


③ 山形プレートで土台と緊結する場合、または金物の無い場合



(b) 構造用合板を張った耐力壁の場合は(c)に準ずる

(c) 隅各部、土台継手及び土台仕口箇所の端部

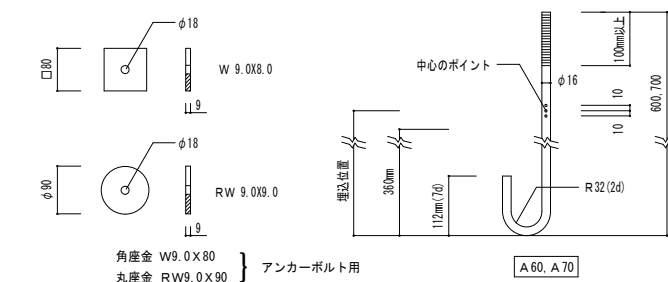


(d) 上記(a), (b)及び(c)以外の部分においては間隔 2m以内 になるような位置とする

- アンカーボルトの施工
 - アンカーボルトの芯出しは、型板を用いて基準墨に正確に合わせる。
 - アンカーボルトのコンクリート基礎への埋込み長さはA-60, A-70については360mm以上、A-40については250mm以上とする。
 なお、アンカーボルトの先端は土台の上端よりナットの外にねじが3山以上出るように固定する。
 - アンカーボルトは、所定の位置に垂直に敷設されるよう位置出し材を布基礎型枠材に打ち出し、アンカーボルトを固定してからコンクリートを打設すること。
 - アンカーボルトは、衝撃などにより曲がりが生じないように、慎重に取り扱う。
 また、ねじ部分には、損傷・錆の発生・汚れ等を防止するために布、ビニールテープなどを巻いて養生を行う。

(3) アンカーボルトの定着のチェック法

埋め込み位置のマークを確認する。(埋込マークの中心ポイント)

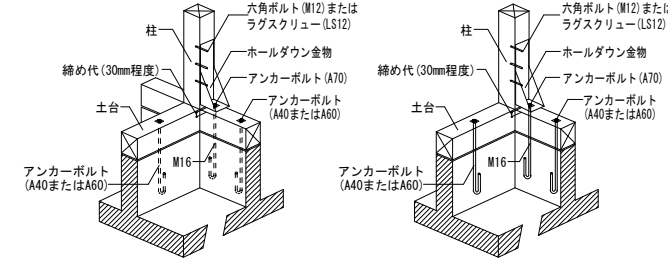


2 柱と基礎(土台)の緊結

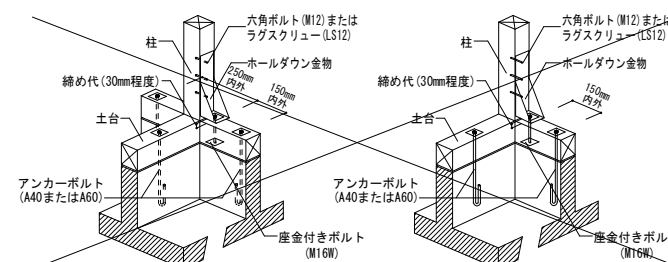
- 柱は、構造計算による引抜き応力に耐えられるように接合金物(ホールダウン金物)により基礎または土台と緊結する。ホールダウン金物は、柱の下部に締め代を30mm程度とり六角ボルト(M16)、ラクスクリュー(LS12)または太めくぎ(ZN90)にて柱に固定する。

(b) 緊結方法は次による

① ホールダウン用アンカーボルトを用いて直接基礎に緊結する場合

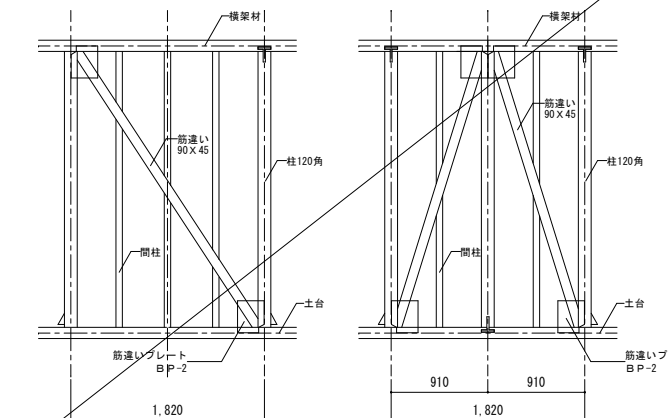


② 座金付きボルト(M16W)を用いて土台と柱を緊結する場合



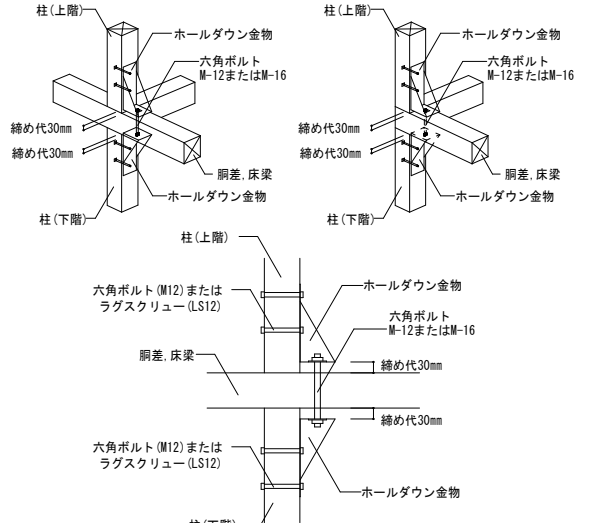
3 筋違いの仕口

筋違いの仕口は筋違いプレート(BP, BP-2)によって緊結する



4 通し柱

- 通し柱は、次のいずれかによる
 - 1階から3階に連する通し柱とする。
 - 1階から2階までの通し柱と、2階から3階までの通し柱を組み合わせて使用する場合、当該通し柱と管柱とは接合金物で緊結する。
- 通し柱に代わる管柱の補強
 外周部の主要な隅柱及び構造計算による引抜き応力が大きい2階の柱は、1階の管柱と接合金物(ホールダウン金物)で緊結する。ホールダウン金物の取付けは、次による。
 - 上階の柱及び下階の柱にホールダウン金物の取付けは、次による。
 - ホールダウン金物は相互に六角ボルト(M12またはM16)を用いて緊結する。

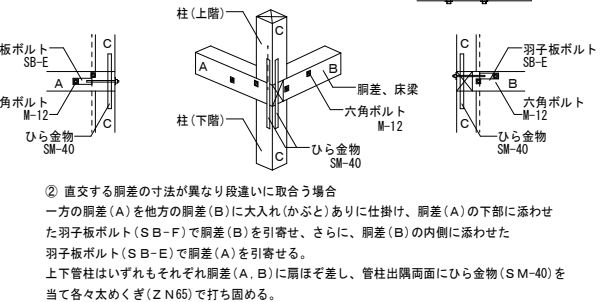
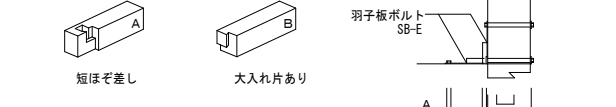


(c) 上記(b)以外の構造計算による引抜き応力が小さい2階柱の接合金物は、短ざく金物(S)ひら金物(SM-40)等のZマーク表示品、または、これらと同等以上のものとする。

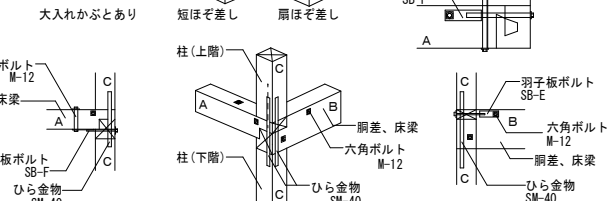
(1) 隅柱

① 直交

直交する鋼差の寸法がほぼ同等であり、かつ同一高さで取合う場合一方の鋼差(B)を他方の鋼差(A)に大入れ片あり掛け、鋼差相互を建物の内側に添えた羽子板ボルト(SB-E)で引寄せ、上下管柱は鋼差(A)に短ざく金物(S)と、管柱出隅部面にひら金物(SM-40)を当て、各々太めくぎ(ZN65)で打ち固める。



② 直交する鋼差の寸法が異なり段違いに取合う場合一方の鋼差(A)を他方の鋼差(B)に大入れ(かぶと)ありに仕掛け、鋼差(A)の下部に添寄せた羽子板ボルト(SB-F)で鋼差(B)を引寄せ、さらに、鋼差(B)の内側に添寄せた羽子板ボルト(SB-E)で鋼差(A)を引寄せ、上下管柱はそれぞれ鋼差(A, B)に短ざく金物(S)と、管柱出隅部面にひら金物(SM-40)を当て各々太めくぎ(ZN65)で打ち固める。

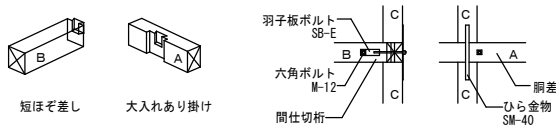


- ①, ②共に、状況に応じて、かね折り金物(SA)を鋼差に対して取り付けること。
- 入り隅
入り隅は出隅の場合に準ずる。ただし、準ずることが困難な場合には通し柱とする。

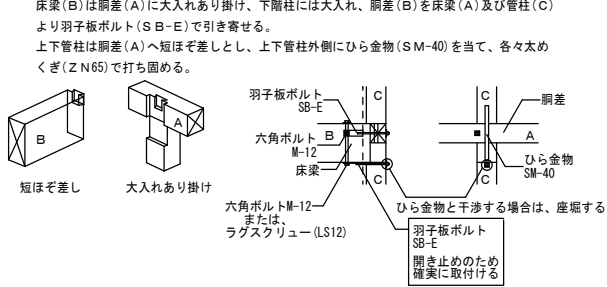
工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事	N o.	
図面名	木造在来軸組工法標準納まり図(1)	縮尺	S-01
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和8年4月	S-06	
担当課長	主幹	係長	課長

(2) 「隔柱に準ずる柱」の通し柱と同等以上の耐力を有するような補強方法

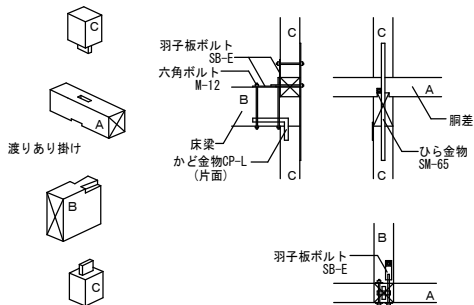
① 直交する胴差がほぼ同寸であり、かつ、同一高さで取合う場合
 間仕切桁(B)は胴差(A)に大入れあり掛け、胴差(A)を間仕切桁(B)より羽子板ボルト(SB-E)で引寄せ。
 上下管柱は胴差(A)へ短ほぼ差しとし、上下管柱外側にひら金物(SM-40)を当て、各々太めくぎ(ZN65)で打ち固める。



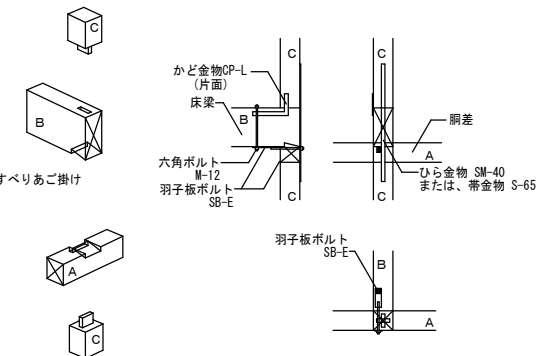
② 胴差と直交する梁があり、上端が揃う場合
 床梁(B)は胴差(A)に大入れあり掛け、下階柱には大入れ、胴差(B)を床梁(A)及び管柱(C)より羽子板ボルト(SB-E)で引き寄せ。
 上下管柱は胴差(A)へ短ほぼ差しとし、上下管柱外側にひら金物(SM-40)を当て、各々太めくぎ(ZN65)で打ち固める。



③ 胴差と直交する床梁が胴差の下側にある場合
 床梁(B)は下階管柱の短ほぼ差し込み、かど金物(CP-L)を片面に当て、太めくぎ(ZN65)で打ち、胴差(A)は床梁(B)に渡りあり掛け、床梁(B)を羽子板ボルト(SB-E)で引き寄せ。
 上階柱は胴差(A)に短ほぼ差し、上下管柱相互は外側にひら金物(SM-40) (長さが足りない場合は、帯金物(S-65)を代用する)を当て、各々太めくぎ(ZN65)で打ち固める。
 床梁(B)と下階柱とは、かど金物(CP-L)を片面に当て、太めくぎ(ZN65)で打ち固める。

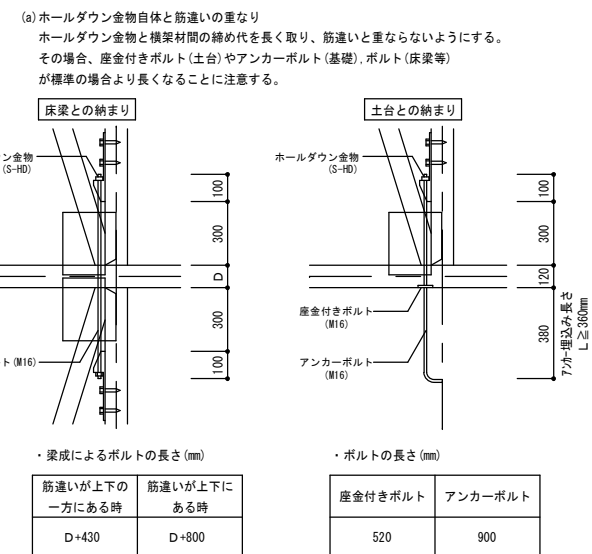


④ 胴差と直交する床梁が胴差の上側にある場合
 下階管柱の短ほぼに胴差(A)を差し込み、床梁(B)は胴差(A)にすべりあご掛けとし、胴差より羽子板ボルト(SB-E)で引き寄せる。
 上階管柱は床梁(B)へ短ほぼ差しとし、上下管柱相互は外側にひら金物(SM-40) (長さが足りない場合は、帯金物(S-65)を代用する)を当て、各々太めくぎ(ZN65)で打ち固める。
 上階管柱と床梁(B)とは、かど金物(CP-L)を片面に当て、太めくぎ(ZN65)で打ち固める。

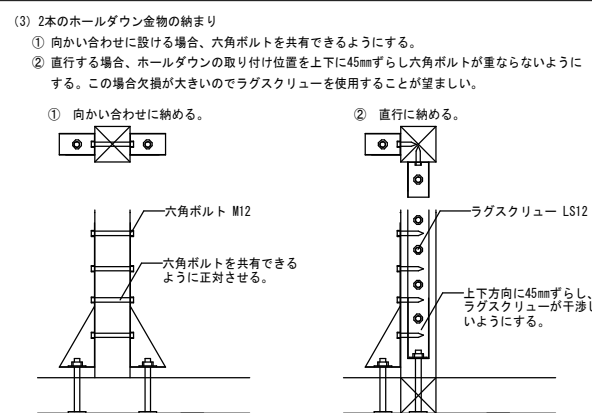
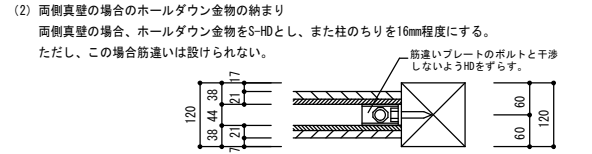
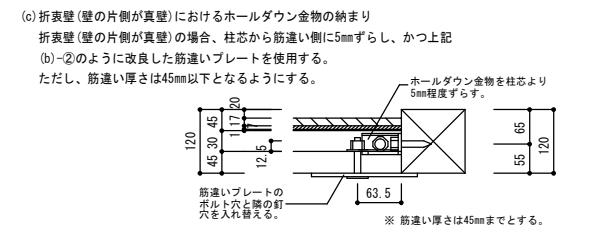
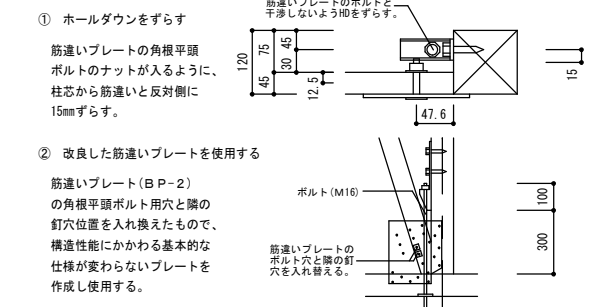


5 ホールダウン金物周辺の納まり

(1) 筋違いとホールダウン金物の納まり
 筋違いとホールダウン金物は極力重ならないように位置を決定する。
 重なりが出てきた場合には、以下の方法を参考に納まりを決定する。



(b) ホールダウン金物の引寄せボルトと筋違いプレートの角根平頭ボルトのナット部分との重なり
 120mmX120mmの柱に対して 45mmX105mmの筋違いが取り付く場合ホールダウン金物の引寄せボルトと筋違いプレートの角根平頭ボルトのナット部分との重なりを防ぐため以下のように納める。ただし、120mm 角未満の場合は施工できないことに注意する。

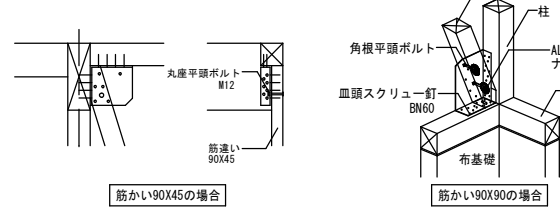


(4) ホールダウンの選定

ホールダウン	ホールダウンのとりつく壁の種類		
	大壁	折表壁	両面真壁
HD-N	○	×	×
HD-B	○	×	×
S-HD	○	○	○

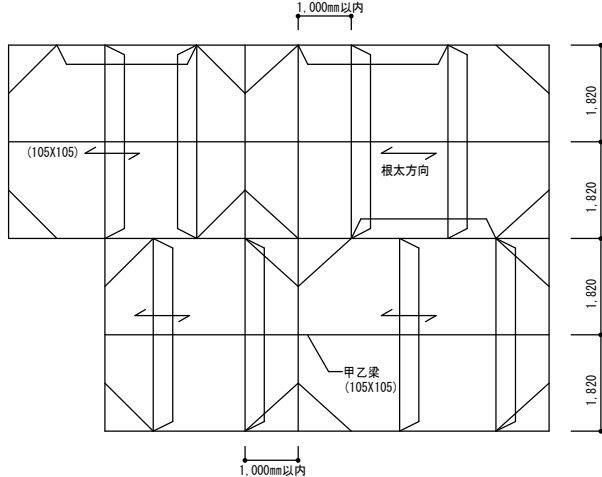
記号 ○ : 使用できる。
 × : 納まらないため、使用できない。
 ※ 面材の受材・筋違いが干渉する場合はS-HDを使用する。

(5) 3階建て用筋違い金物



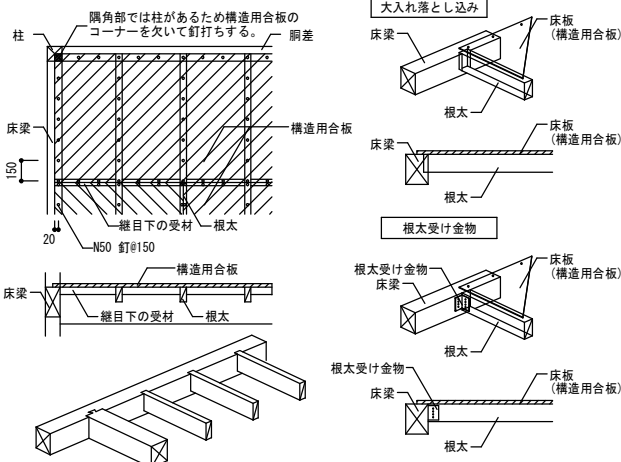
6 床組 2階(3階)床

耐力壁線の交点が不一致の場合は、その際の水平力伝達に有効な構架材を耐力壁線上に設ける。ただし、1メートル(約半間)を限度とする。

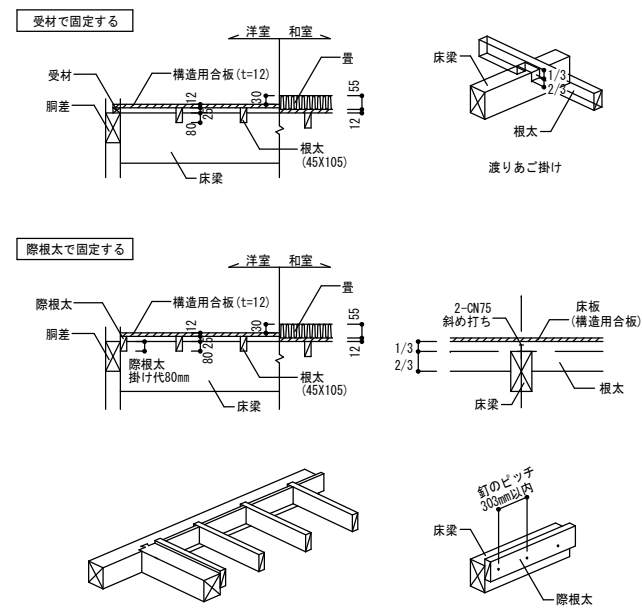


(1) 水平構面の剛性が十分期待できる床の施工(剛な床組)
 ① 種類 : サイズ3×6以上、厚さ12mm以上の構造用合板を用いる。
 ② 張り方 : 構造用合板の長手方向を根太と直交させ、かつ千鳥張りとする。
 構造用合板の継手は、根太上で付き付け継ぎとし、継目下に受材(45mmX45mm程度)を設ける。
 ③ 釘打ち : 構造用合板の四辺は釘(N50)を150mm以下で根太または床梁や胴差、受材等に平打ちする。
 ④ 床根太の寸法は45mmX105mmを標準とし、根太間隔は、455mm以下とする。
 ただし、断面寸法105mmX105mm以上の甲乙梁を1,820mm内外(1間)の間隔に梁間・桁行き方向に配置する。
 ⑤ 床梁・胴差の仕口補強
 柱と床梁・胴差、床梁と胴差の仕口は、金物・ボルトにより十分緊結補強する。

(a) 根太と床梁、胴差の上端高さが同じ場合の施工方法
 根太は床梁、胴差に大入れ落とし込みとし、釘(N75,2本)で斜め打ちとするか、または、根太受け金物を用いて床梁、胴差に留め付ける。
 この場合、構造用合板を床梁、胴差に釘で直張りする。
 ただし、隅角部では柱があるため構造用合板のコーナーを欠いて釘打ちする。
 なお、この場合、火打ち梁は省略できる。

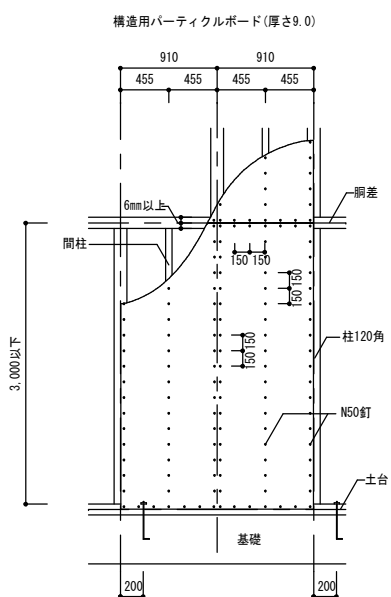


(b) 根太と床梁、胴差の上端高さが異なる場合の施工方法
 床梁、胴差に直交する根太は渡りあご掛けとし、釘(N75,2本)で斜め打ちとする。
 また、床梁・胴差の際には胴差太、または受材を添え付け床板構造用合板の四辺を固定する。
 際根太は床梁・胴差へ釘打ち(N90)間隔303mmで平打ちする。



7 耐力壁(面材)施工例

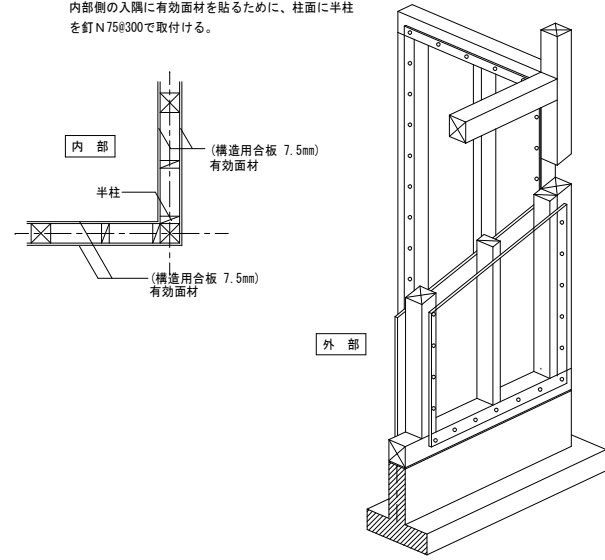
(1) 釘打ち基準



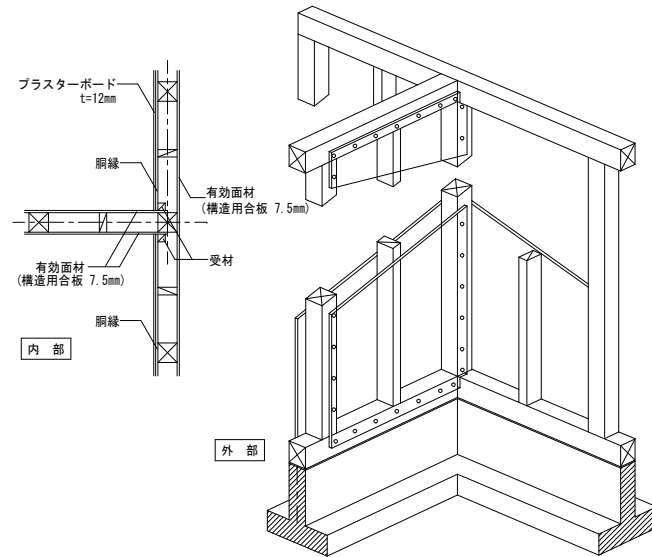
工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事	No.	
図面名	木造在来軸組工法標準納まり図(2)	S-02	
所在地	岡山市 都市整備部 住宅建設部 公共建築課	令和3年4月	S-06
作成者	主計 部長	課長	課長

(2) 標準的な耐力壁(面材)の納まり

(a) 隅角部(屋外・室内側共構造用合板 7.5mmの場合)
内部側の入隅に有効面材を貼るために、柱面に半柱を釘N75#300で取付ける。



(b) T字部(外壁屋外側・室壁に構造用合板 7.5mmの場合)



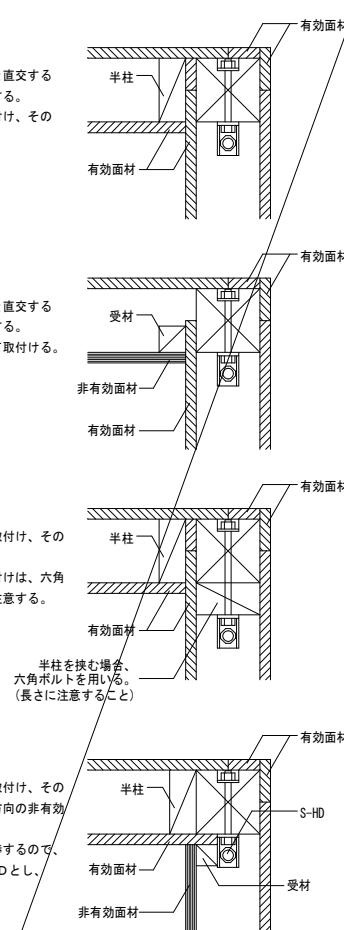
(c) 柱の断面寸法が異なる場合の面材の納め方

- 柱を外面に合わせる。内壁側は受材で調整し、面材を張る。
- 柱を外面に合わせる。内壁側は柱の一部を欠き取り調整し、面材を張る。
- 柱は芯合わせとし、外壁側、内壁側とも受材で調整し、面材を張る。
- 柱は芯合わせとし、外壁側、内壁側とも柱の一部を欠き取り調整し、面材を張る。

(3) 柱にホールダウン金物を使用する場合の耐力壁(面材)の納まり

(a) 隅角部

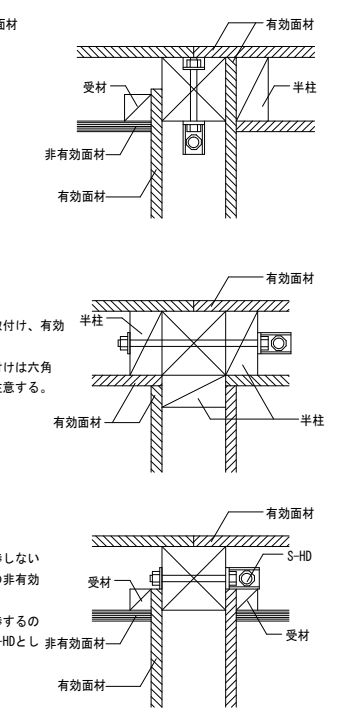
- ホールダウン金物の取り付け柱面と直交する柱面に有効面材を伸ばし、釘打ちする。その上から半柱を釘N75#300で取付け、その半柱に他方向の面材を釘打ちする。
- ホールダウン金物の取り付け柱面と直交する柱面に有効面材を伸ばし、釘打ちする。他方向の非有効面材は受材を設けて取付ける。
- 面材の受材に半柱を釘N75#300で取付け、その半柱に有効面材を釘打ちする。この場合、ホールダウン金物の取付けは、六角ボルトを使い、また、その長さに注意する。



- 面材の受材に半柱を釘N75#300で取付け、その半柱に有効面材を釘打ちする。他方向の非有効面材は受材を設けて取付ける。ただし、ホールダウンと面材が干渉するので、使用するホールダウン金物はS-HDとし、受材の大きさに注意する。

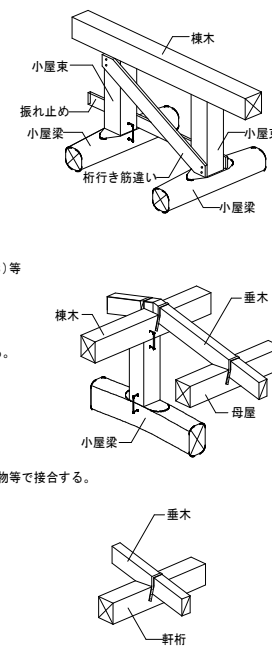
(a) T字部周辺

- ホールダウン金物の取り付け柱面と直交する柱面に面材を伸ばし釘打ちする。その上から半柱を釘N75#300で取付け、その半柱に他方向の有効面材を釘打ちする。
- 面材の受材に半柱を釘N75#300で取付け、有効面材を釘打ちする。この場合、ホールダウン金物の取付けは六角ボルトを使い、また、その長さに注意する。
- 有効面材をホールダウン金物に干渉しないように柱面に釘打ちする。他方向の非有効面材は受材を設けて取付ける。ただし、ホールダウンと面材が干渉するので、使用するホールダウン金物はS-HDとし、受材の大きさに注意する。

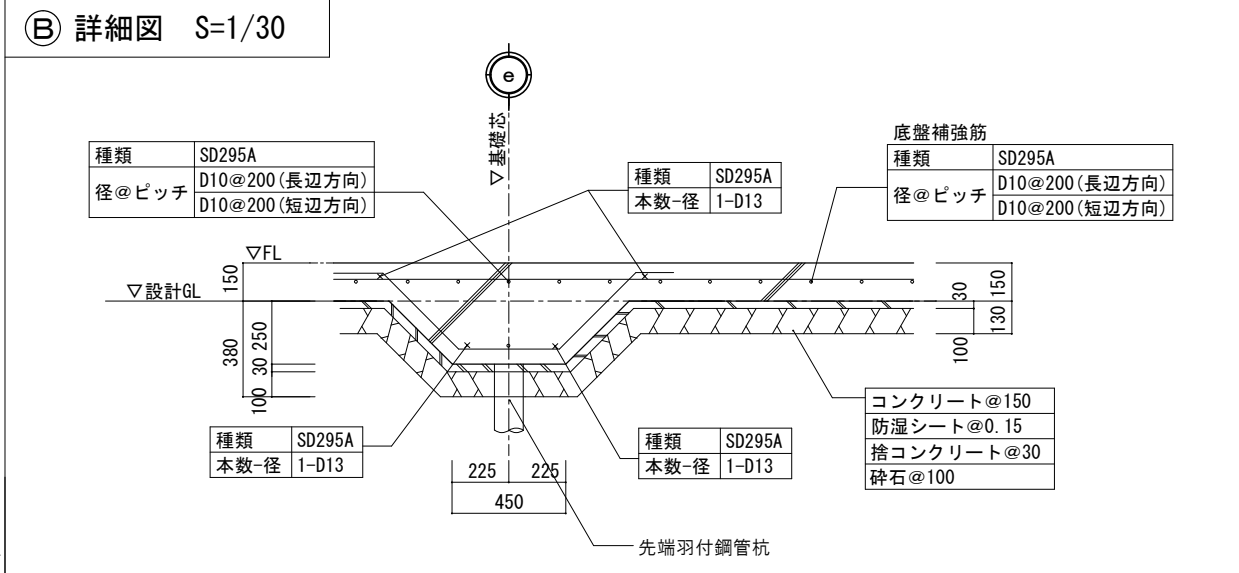
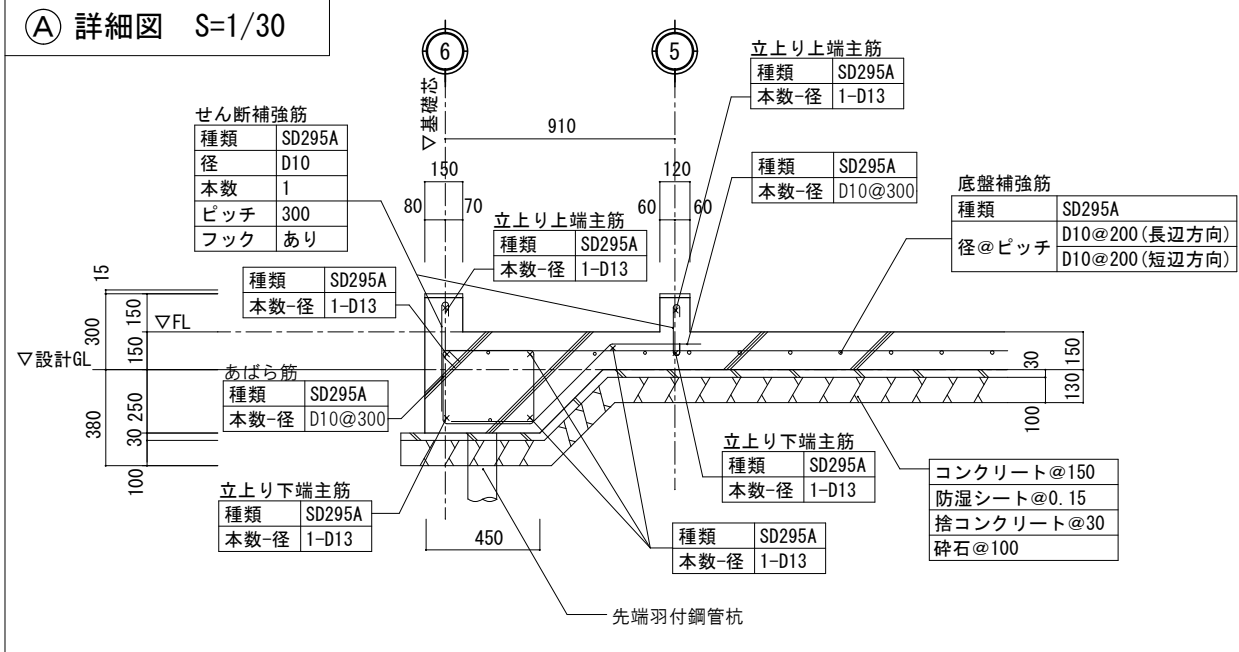
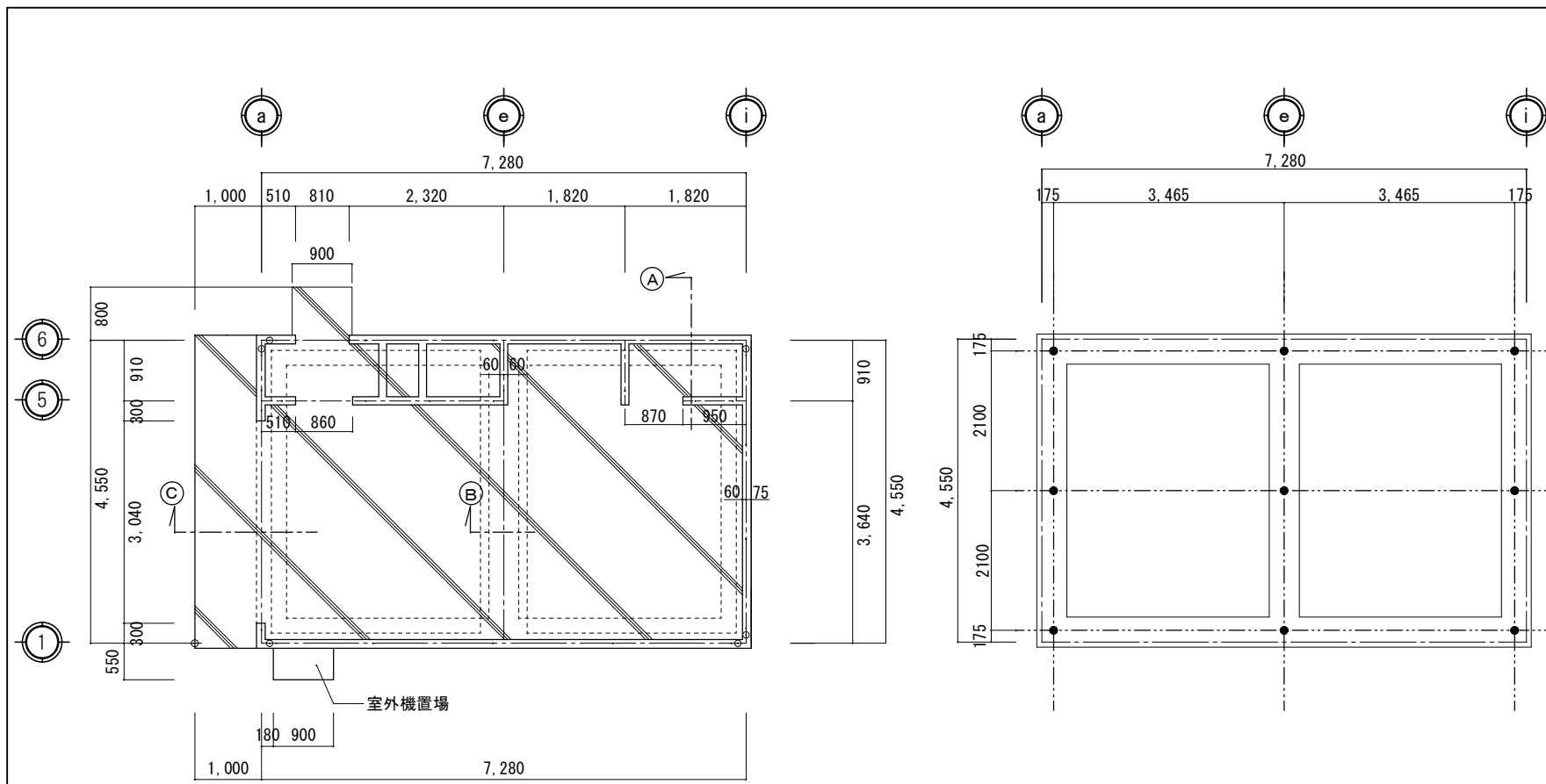


8 小屋組

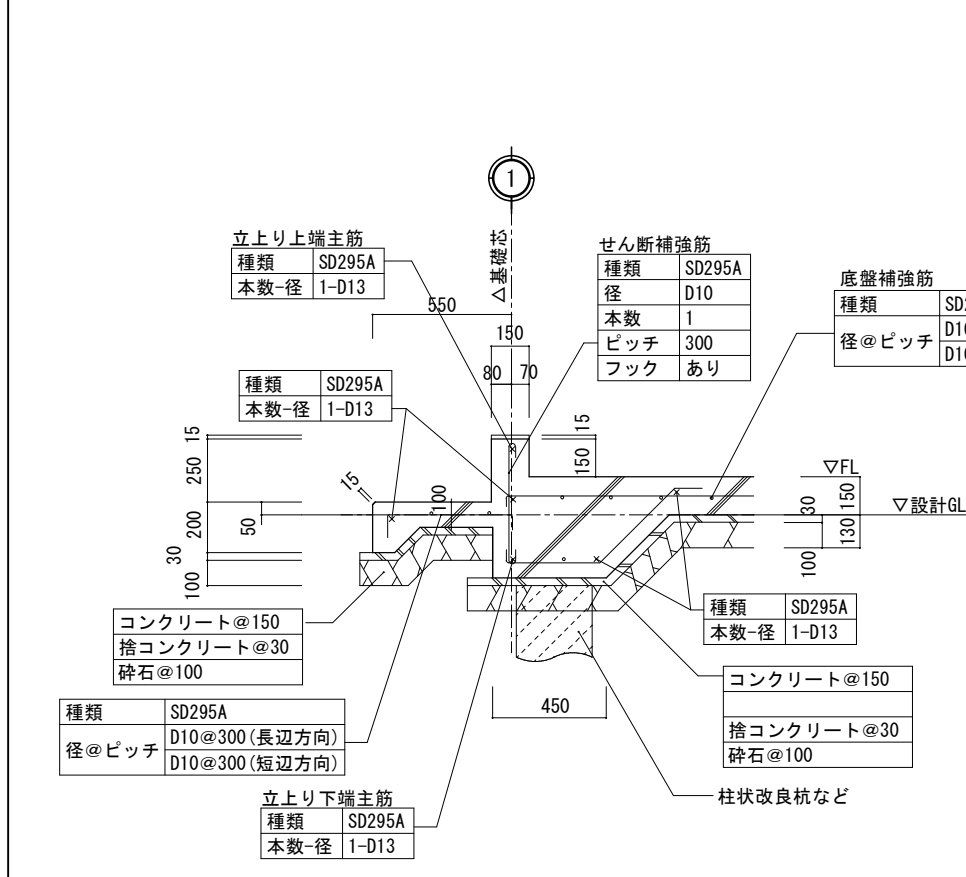
- 小屋火打梁
火打梁は耐力壁縁に囲まれた隅角部に設ける。
- 小屋筋違い及び桁筋違い・振れ止め
小屋組の一体化を図るために、小屋束相互及び梁・桁にまたがり筋違い15mm×90mm以上を釘(N50, 2本)で平打ちし固定する。
- 垂木
軒先部や、けらば・棟部の垂木は軒桁・母屋・棟木等の受材とひねり金物(S T)・折曲げ金物(S F)・くら金物(S S)等で繋結する。
- 棟木・母屋
棟木と第2母屋は、必要に応じて金物等で小屋束に接合する。
- 小屋束
小屋束下部と小屋梁あるいは妻梁・桁は、必要に応じて金物等で接合する。
- 垂木(剛床の場合) 今回工事
垂木は、ひねり金物のほか、折曲げ金物、L型受金物を使用して繋結する。



工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事			N o.	
図面名	木造在来軸組工法標準納まり図(3)			S-03	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和8年4月	S-06
担当課長	主幹	係長	課員	担当者	承認
				検図	製図



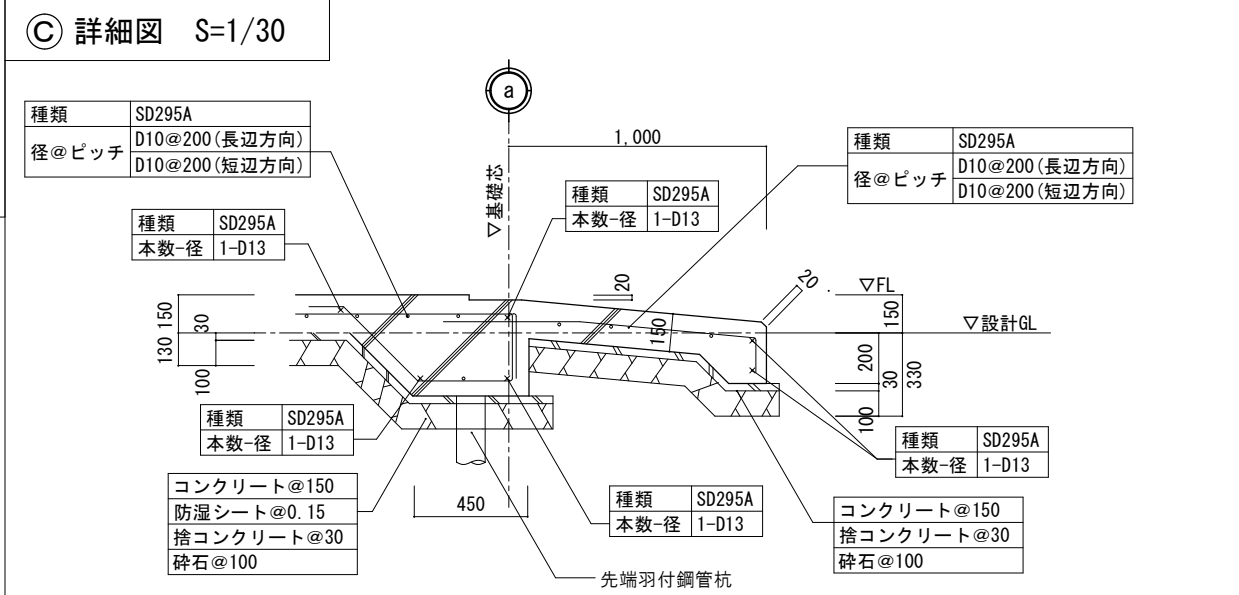
室外機置場詳細図 S=1:30



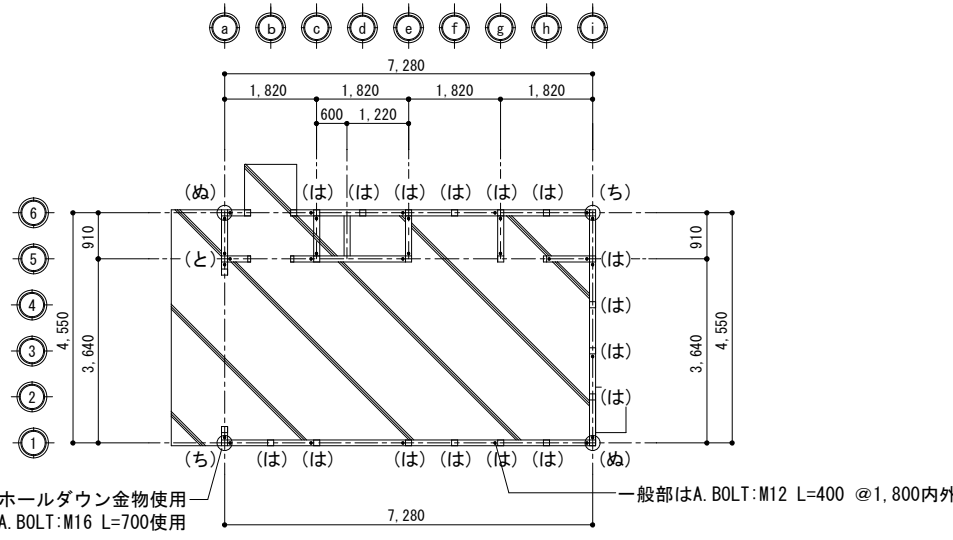
刃工法 同等以上
(GBRC 性能証明 第19-04号 改3)

軸径: $\phi 139.8\text{mm}$
軸管厚: $t_o=3.5\text{mm}$ (STK490)
拡翼径: $\phi 350.0\text{mm}$
拡翼厚: $t_w=12.0\text{mm}$ (SS400)
杭長: $L=9.1\text{m}$
杭先端深度: 設計GL-9.35m
本数: $n=9$ 本
杭1本当たりの支持力: $R_a=76.9\text{KN/本}$

※着工前に施工計画書を提出し、本杭1本を試験杭として
施工監理基準を定めて監理者の承認を受けること。

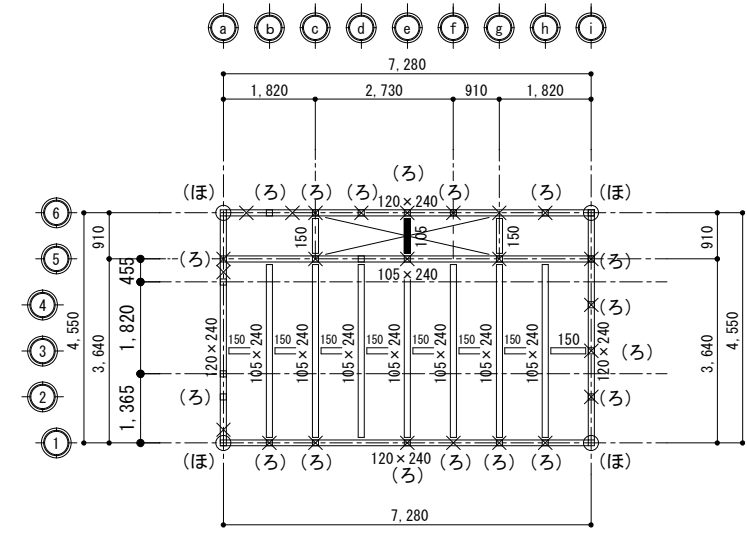


工事名 岡山市消防団大野分団機庫新築工事				No. S-04	
図面名 基礎伏図・杭伏図・基礎詳細図				縮尺 1/150 1/50	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和8年4月	
担当課長	主幹	係長	課員	担当者	承認
					検図
					製図



1階床伏図 S=1/150

凡例			
	通シ柱	桧 特1等 KD	120 X 120
	管柱	桧 特1等 KD	105 X 105
	土台	桧 特1等 KD	105 X 105
※接合金物はZマーク表示金物又は同等認定品による。			
※構造材はKD材とし、含水率は20%以下とする。※岡山県産材等の積極的な利用に努めること。			
※構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、建築基準法施行令第47条及び同告示平12建告1460号によること			
※図示 (い) ~ (ぬ) は上記の柱頭・柱脚金物を示し、特記なきは (い) とする。			

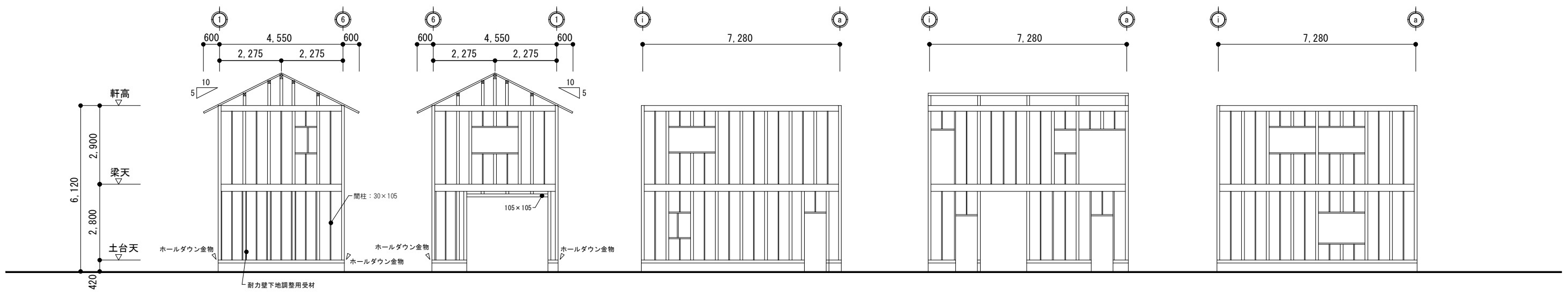


2階床伏図 S=1/150

凡例			
	通シ柱	桧 特1等 KD	120 X 120
	柱	桧 特1等 KD	105 X 105
	梁	米松 特1等 KD	(図面記載) ※150は、105×150を示す。
	梁	米松 特1等 KD	階段による下り梁
	下階柱位置		
※接合金物はZマーク表示金物又は同等認定品による。			
※構造材はKD材とし、含水率は20%以下とする。※岡山県産材等の積極的な利用に努めること。			
※構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、建築基準法施行令第47条及び同告示平12建告1460号によること			
※図示 (い) ~ (ぬ) は上記の柱頭・柱脚金物を示し、特記なきは (い) とする。			

<告示1460号に応じた金物耐力表>

告示記号	N値	必要耐力
(い)	0以下	0 kN
(ろ)	0.65以下	3.4 kN
(は)	1.0以下	5.1 kN
(に)	1.4以下	7.5 kN
(ほ)	1.6以下	8.5 kN
(へ)	1.8以下	10.0 kN
(と)	2.8以下	15.0 kN
(ち)	3.7以下	20.0 kN
(り)	4.7以下	25.0 kN
(ぬ)	5.6以下	30.0 kN

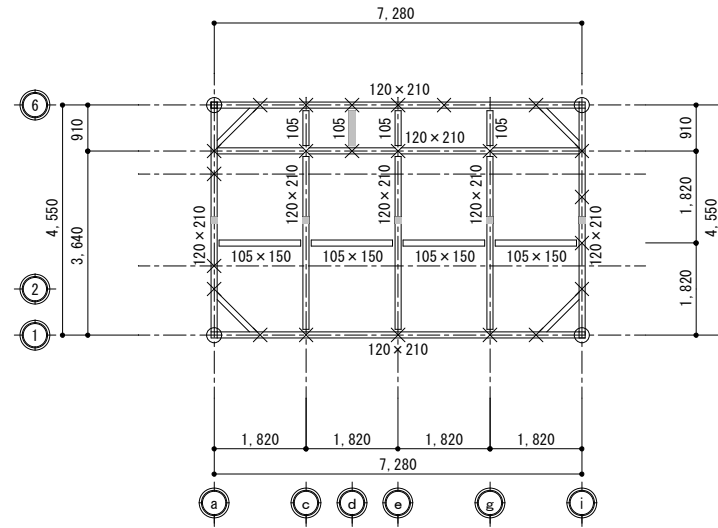


i軸組図 a軸組図 ⑥軸組図 ⑤軸組図 ①軸組図

軸組図 S=1/150

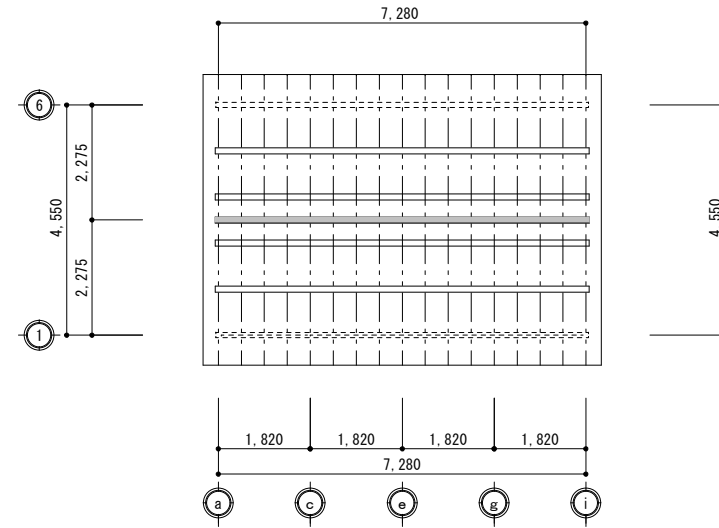
※GL+1000以内の軸組み材には防腐・防蟻塗料を塗布。

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事			N o.	S-05	S-06	承認	検図	製図
図面名	1階床伏図・2階床伏図・軸組図	縮尺	1/150						
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和8年4月					
担当課長	主幹	係長	課員	担当者					



小屋伏図 S=1/150

※小屋裏は小屋筋交い 杉 90×15 を使用する事



母屋伏図 S=1/150

凡例

	通シ柱	桧 特1等 KD	120×120
	真束	桧 特1等 KD	105×105
	小屋束	桧 特1等 KD	90×90
	梁	米松 特1等 KD	(図面記載) ※105は、105×105を示す。
	梁	米松 特1等 KD	物置による下り梁
	火打	火打金物	
	下階柱位置		

※接合金物はZマーク表示金物による

※構造材はKD材とし、含水率は20%以下とする。 ※岡山県産材等の積極的な利用に努めること。

※構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、建築基準法施行令第47条及び同告示平12建告1460号によること

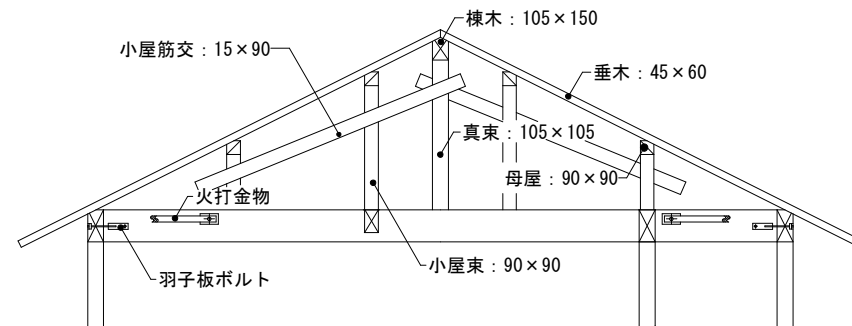
凡例

	棟木	米松 特1等 KD	105×150
	母屋	米松 特1等 KD	90×90
	垂木	杉	45×60@455

※接合金物はZマーク表示金物による

※構造材はKD材とし、含水率は20%以下とする。 ※岡山県産材等の積極的な利用に努めること。

※構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、建築基準法施行令第47条及び同告示平12建告1460号によること



小屋組図 S=1/50

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事				No.		
図面名	小屋伏図・母屋伏図			縮尺	1/150	S-06	
	岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和8年4月	S-06		
担当課長	主幹	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

岡山市建築設備工事（電気）仕様書

I 工事概要

1 工事場所 岡山市北区西野山町1649番1

2 建物概要

Table with columns: 建物名称, 構造, 階数, 無人・有人, 延べ面積 (㎡), 消防法令別表1, 備考

3 工事種目

Table with columns: 建物別及び屋外, 工, 事, 種, 別

II 工事仕様

- 1 共通仕様
2 特記仕様

Main specification table with columns: 項目, 特記事項

一般共通事項

電灯設備

動力設備

受変電設備

Technical specifications for electrical equipment, including tables for grounding, lightning protection, lighting, and power equipment.

発電設備

太陽光発電設備

雷保護設備

構内情報通信設備

構内交換設備

映像音響設備

拡声設備

情報表示設備

テレビ共同受信設備

インターホン設備

火災報知設備

警備配管設備

構内配電線路

機器取付高

機器取付高

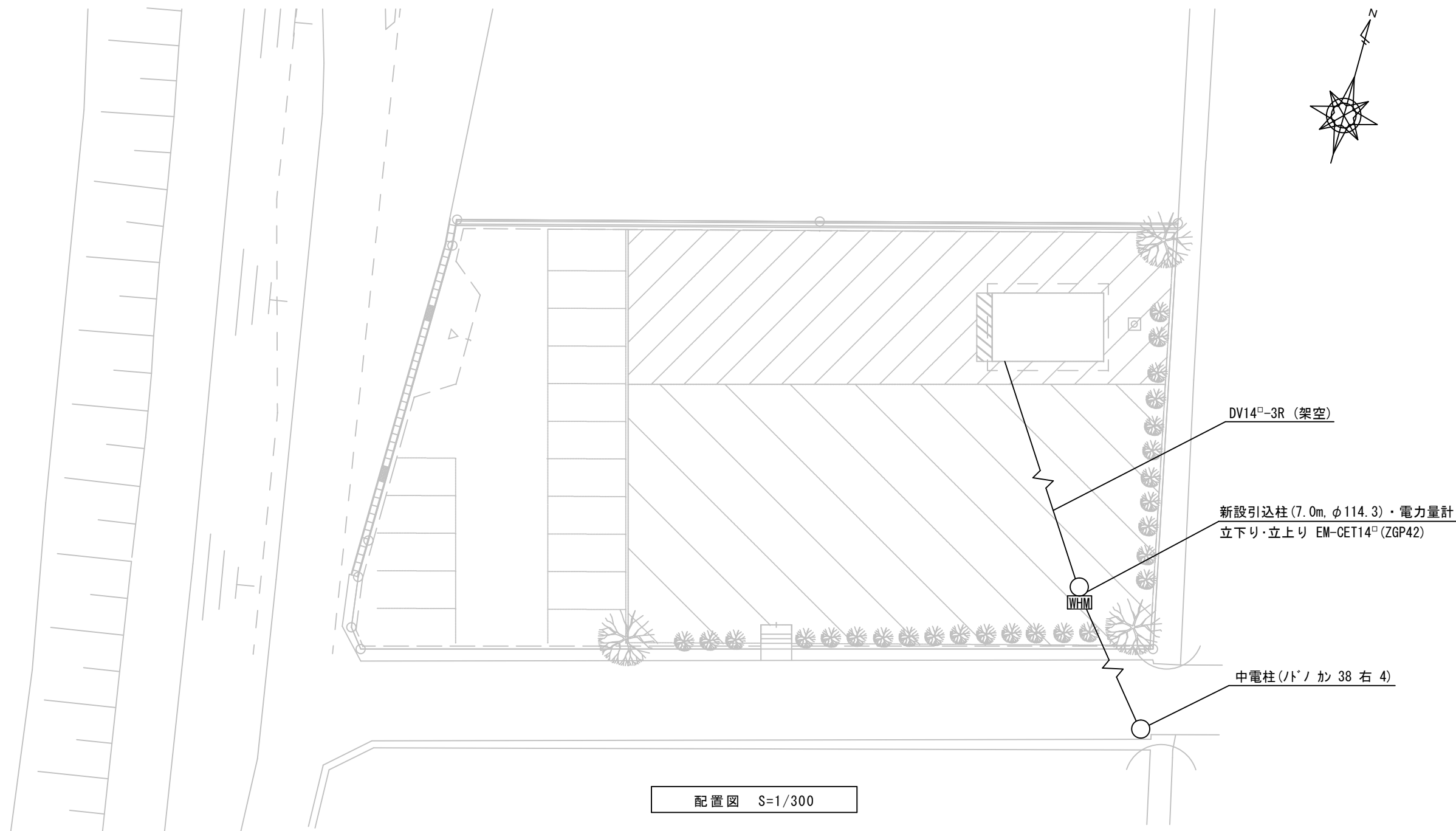
機器取付高

機器取付高

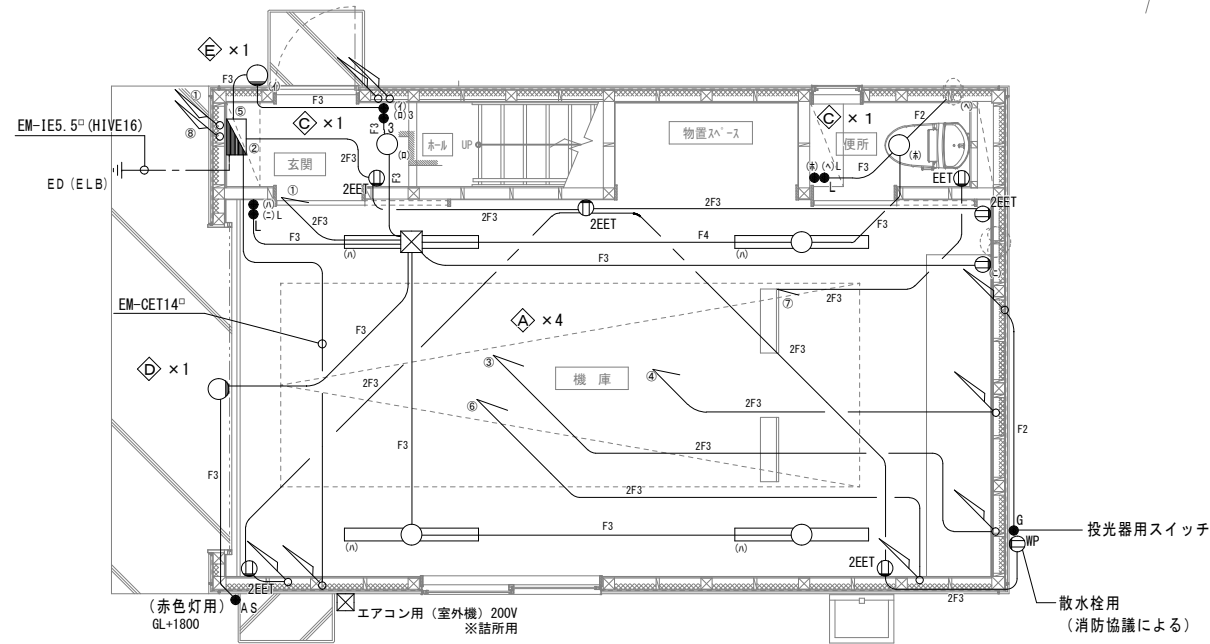
機器取付高

機器取付高

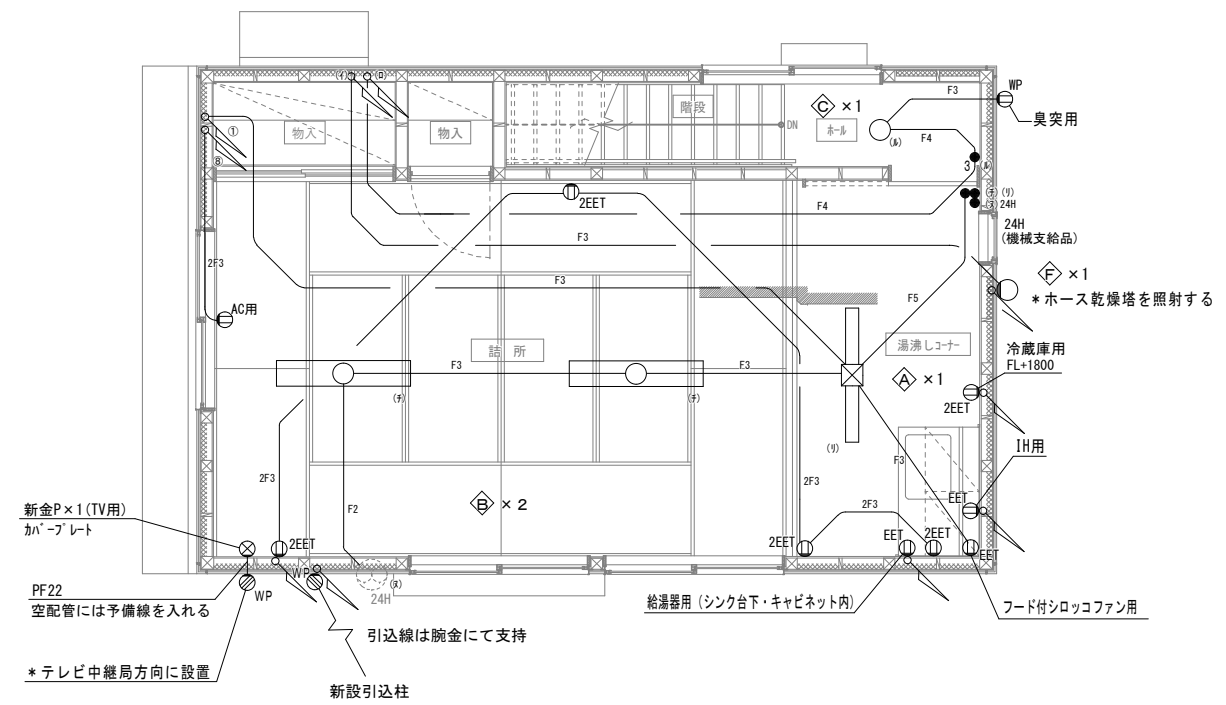
Project information table including project name, location, dates, and personnel.



工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事			No. E-02 E-03	承認	検図	製図
図面名	電気設備配置図	縮尺	A3 1/300				
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月	担当者		
課長	課長補佐	係長	課員				



1階平面詳細図 1/50

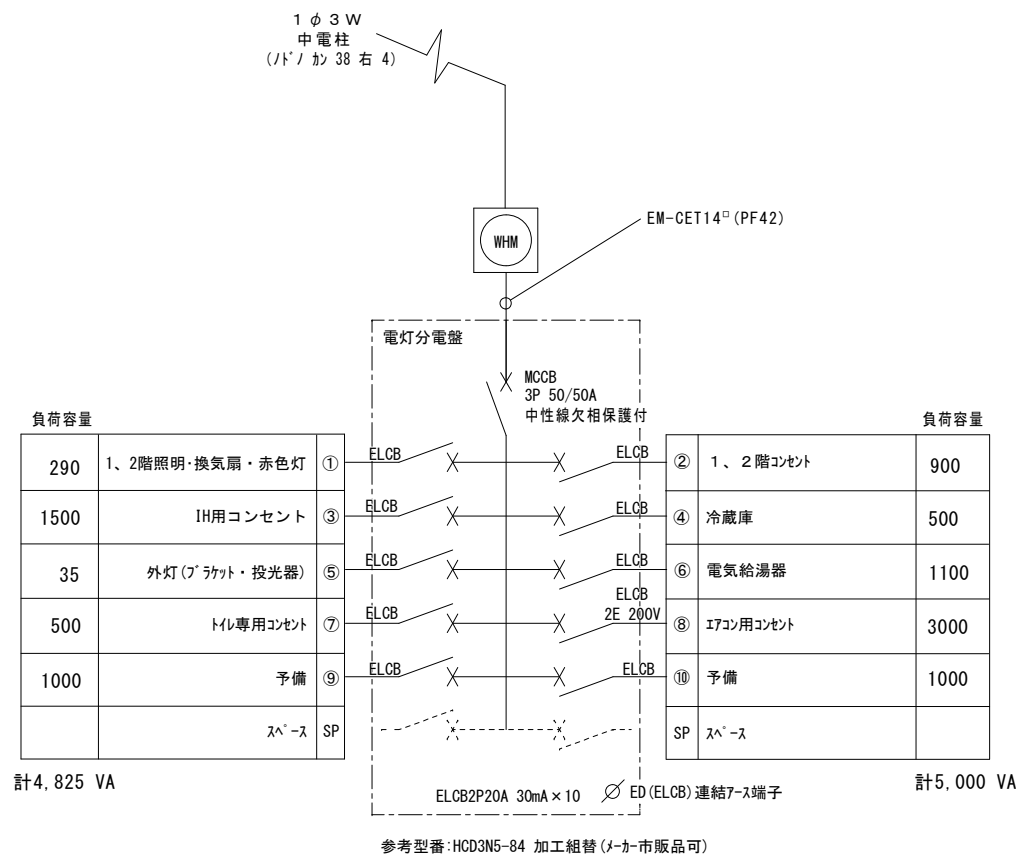


2階平面詳細図 1/50

- (注1) 配線は天井内ころがしケーブル配線とし、壁内配線はPF管にて保護すること
- (注2) コンセント等の取付高は岡山市建築設備工事(電気)仕様書を参考にし、変更は監督員と協議の上決定する
- (注3) 機庫内のコンセントの取付高は、FL+800(芯)とする。詰所内のコンセントの取付高は、FL+150(芯)とする。
- (注4) 接地線は緑線を使用すること

※型番は参考であり、製造者等を指定するものではない

<p>直付LED灯 3200LM (昼白色, 5000K) 公共品番: LSS9-4-30 LN</p>	<p>直付LED灯 6900LM (昼白色, 5000K) 公共品番: LSS9-4-65 LN</p>	<p>LED ダウンライト 800LM (昼白色, 5000K) 公共品番: LRS1-08 LN</p>
<p>LED 赤色灯 参考型番: NNF20293Z 相当品 消費電力2.2W 赤色ガラス φ=200</p>	<p>LEDブラケット灯 560LM (電球色, 2700K) 参考型番: EL-V0500AL 相当品 防雨型 人感センサー・明るさセンサー付 消費電力7.4W</p>	<p>LED投光器 3400LM (昼白色, 5000K) 参考型番: ECF2040W/NSAN8/W + FA20/W 相当品 LED投光器 防雨型 消費電力26.2W 広角タイプ ・フランジ ・落下防止ワイヤー</p>



結線図

*樹脂製キャビネット

凡	例	(注) スイッチ・コンセントのプレートは、全て新金プレートとする。
○	照明器具 ガウライト 器具リスト参照	電灯分電盤(市販品) 参考型番:HCD3N5-102
●	照明器具 壁付型 器具リスト参照	電力量計 3P小 ※樹脂製
○	照明器具 天井直付型 器具リスト参照	防雨入線カバー
○	照明器具 天井直付型 器具リスト参照	埋込コンセント 2P15A×1
○	換気扇 (機械設備工事)	埋込コンセント 2P15A×1.E.ET付 (接地極、接地端子付)
●	埋込ネームスイッチ 1P15A×1	埋込コンセント 2P15A×2.E.ET付 (接地極、接地端子付)
●3	" 3W15A×1	埋込コンセント (WPフタ付き) 2P15A×1.E.ET付 (接地極、接地端子付)
●L	埋込ネームスイッチ (ON表示灯付) 4A×1	埋込コンセント 2P20A×1.E.ET付 (接地極、接地端子付)
●G	埋込ネームスイッチ (WPフタ付き) 1P15A×1	加へプレート (新金属プレート)
●AS	自動点滅器 露出 点灯照度調整機能付 参考型番: EE44139	PB SS200 [□] ×200-VE
●24H	24H換気扇用スイッチ 機械支給品	

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事				N.0.			
図面名	1・2階電気設備平面図				縮尺	A2 1/50	E-03	
	岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課				令和8年5月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	

岡山市建築設備工事（機械）仕様書
I 工事概要
1 工事場所 岡山市北区西野山町1649番1
2 建物概要
II 工事仕様
1 共通仕様
2 特記仕様

15 重動観面下地処理
16 防振継手
17 フレキシブルジョイント
18 はつり工事
19 補修など
20 他工事との取合い

21 配管表示
22 土中埋設配管周囲の保護
23 砂及び埋め戻し土・盛土
24 埋設表示
25 支持金物、固定金具等
26 並走エーカー
27 ポンプの電動機の極数
28 ポンプの名称
29 保守工具
30 岡山市標準施工
31 耐震措置

1 大便器・小便器
2 洗浄用タンク
3 洗浄用タンク固定金物
4 大便器用洗浄弁
5 温水洗浄便座
6 陶器の色
7 量水器
8 量水器用管
9 量水器
10 量水器
11 量水器
12 量水器
13 量水器
14 量水器
15 量水器
16 量水器
17 量水器
18 量水器
19 量水器
20 量水器
21 量水器
22 量水器
23 量水器
24 量水器
25 量水器
26 量水器
27 量水器
28 量水器
29 量水器
30 量水器

重動観面下の地下処理はエッチングプライマ塗りとする。
・ 鋼製フランジ付ベローズ形 (接液部SUS304) ※ 合成ゴム製
・ ポリテトラフルオロエチレン製 (3山)
※ 鋼製フランジ付ベローズ形 (接液部SUS304) ・ 合成ゴム製
既存のコンクリート床・壁等の貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

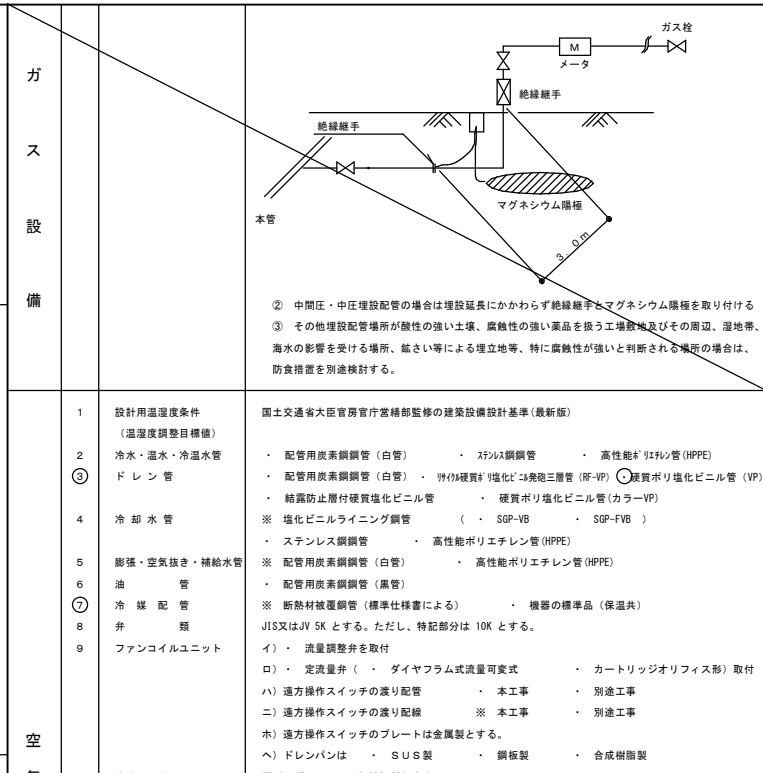
Table with 4 columns: 設置場所, 機器種別, 重要機器, 一般機器. Rows include 上層階, 屋上及び塔屋, 中間階, 地下・1階.

親メータは水道事業者からの借用、子メータは買取りとする。
※ 水道事業者の指定品とする。
下記のものとは本仕様による。
イ) 一般配管用
※ 水道用硬質塩化ビニル管 (SGP-VB) ・ SGP-VD ・ SGP-VA) ・ 水道用PVC2階管

給水設備
6 定流量弁
7 水槽周り可とう継手
8 埋設深度
9 ライニング鋼管管端処理
10 散水栓ボックス
11 給水管の使用許可
12 水質基準

排水設備
1 屋内汚水管 (第1層まで含む)
2 屋内雑排水管 (第1層まで含む)
3 通気管
4 屋外排水管
5 排水トラップ
6 ます
7 グリーストラップ
8 マンホール横
9 共栓鎖
10 満水試験継
11 洗面台接続
12 プール排水管
13 排水処理先

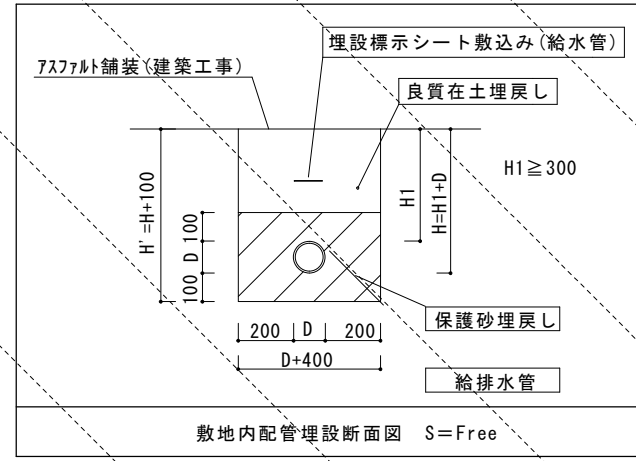
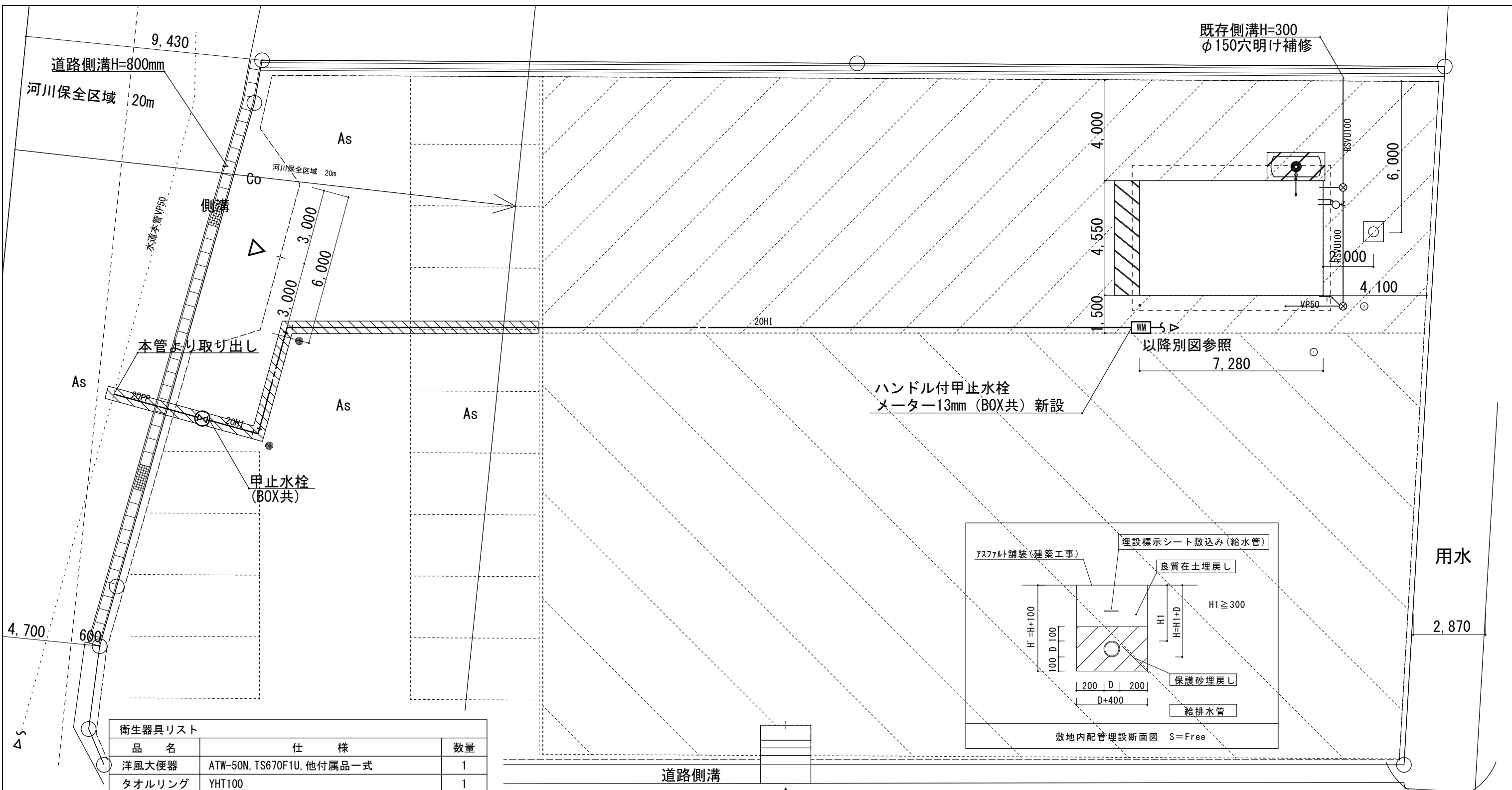
給湯設備
1 管
2 弁
3 膨張水槽の保温
4 ラインアップ
5 給湯用機器管端処理
ろ過循環設備
1 ろ過装置
2 ポンプ周り配管
3 循環配管
4 弁
5 保温
消火設備
1 屋内消火栓箱
2 消火栓弁の耐圧
3 消火栓弁
4 保温
5 フレキシブルジョイント
6 消火ポンプ
7 管
ガス
1 供給ガスの種類
2 管
3 ガスメータ
4 ガスメータの取付
5 緊急遮断弁の取付
6 供給方式
7 ポンプ周りの配管
8 フロン圧入管や接続
9 ポンプ駆動防止
10 管の地中埋設深さ
11 上下対策措置
12 電気防蝕
13 耐震対策設計



空気調和・冷暖房・換気設備
10 吹出口・吸込口
11 ダクト
12 防塵・防火ダンパ
13 風量測定口
14 吹出口チャンパ
15 消音内貼り
16 瞬間流量計
17 温度計
18 冷温水管の空気抜き
19 防振吊り金物及び
20 温度調節器・湿度調節器
21 エアフィルタの予備品
22 グリスフィルタの予備品
23 防振基礎
24 冷媒配管の保温カバー
25 保温
26 スリーブ

Table with 4 columns: 工事項目, 仕様, 備考, 備考. Includes details for fire gas supply and water supply equipment.

Table with 4 columns: 項目, 特記事項, 仕様, 備考. Includes details for materials, qualifications, and specific equipment requirements.



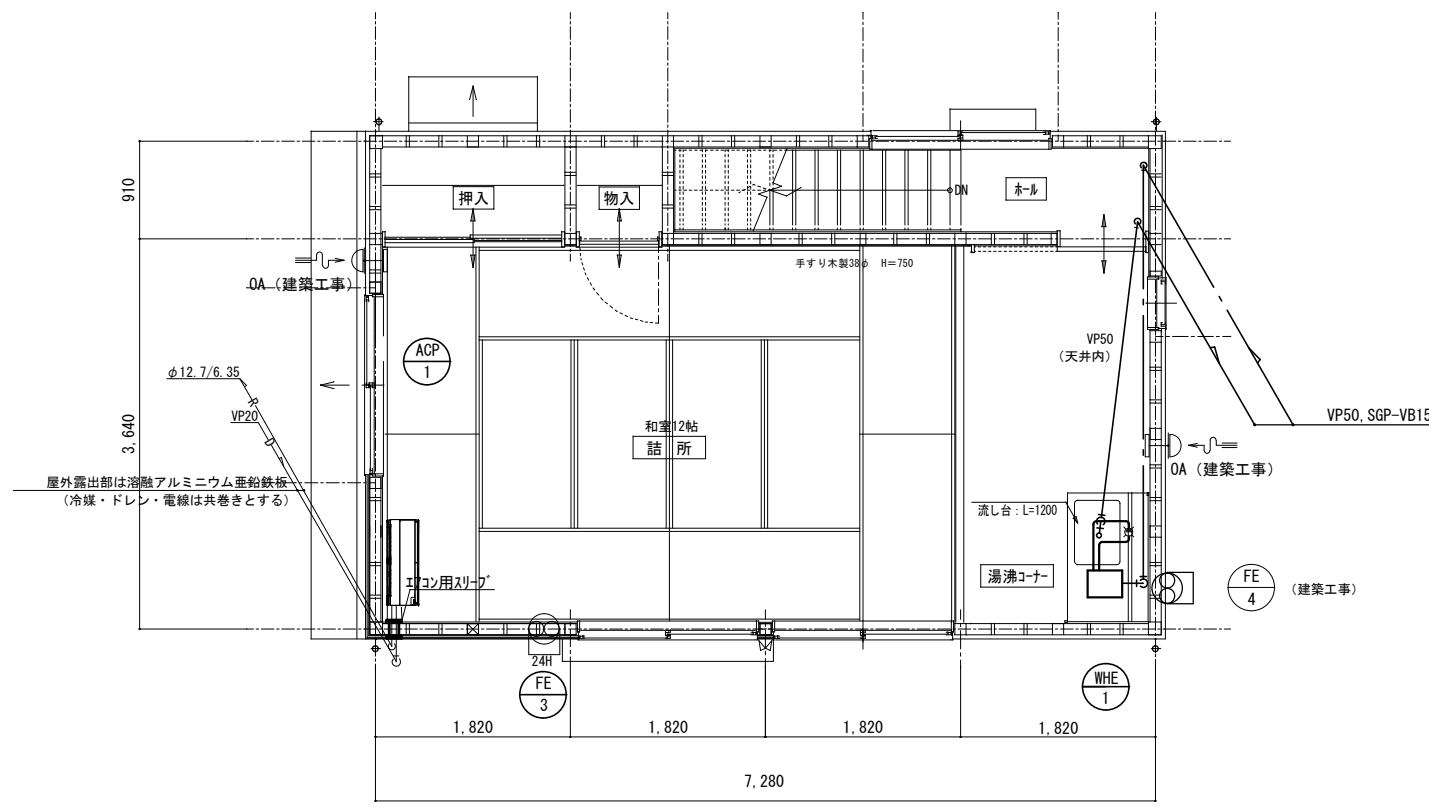
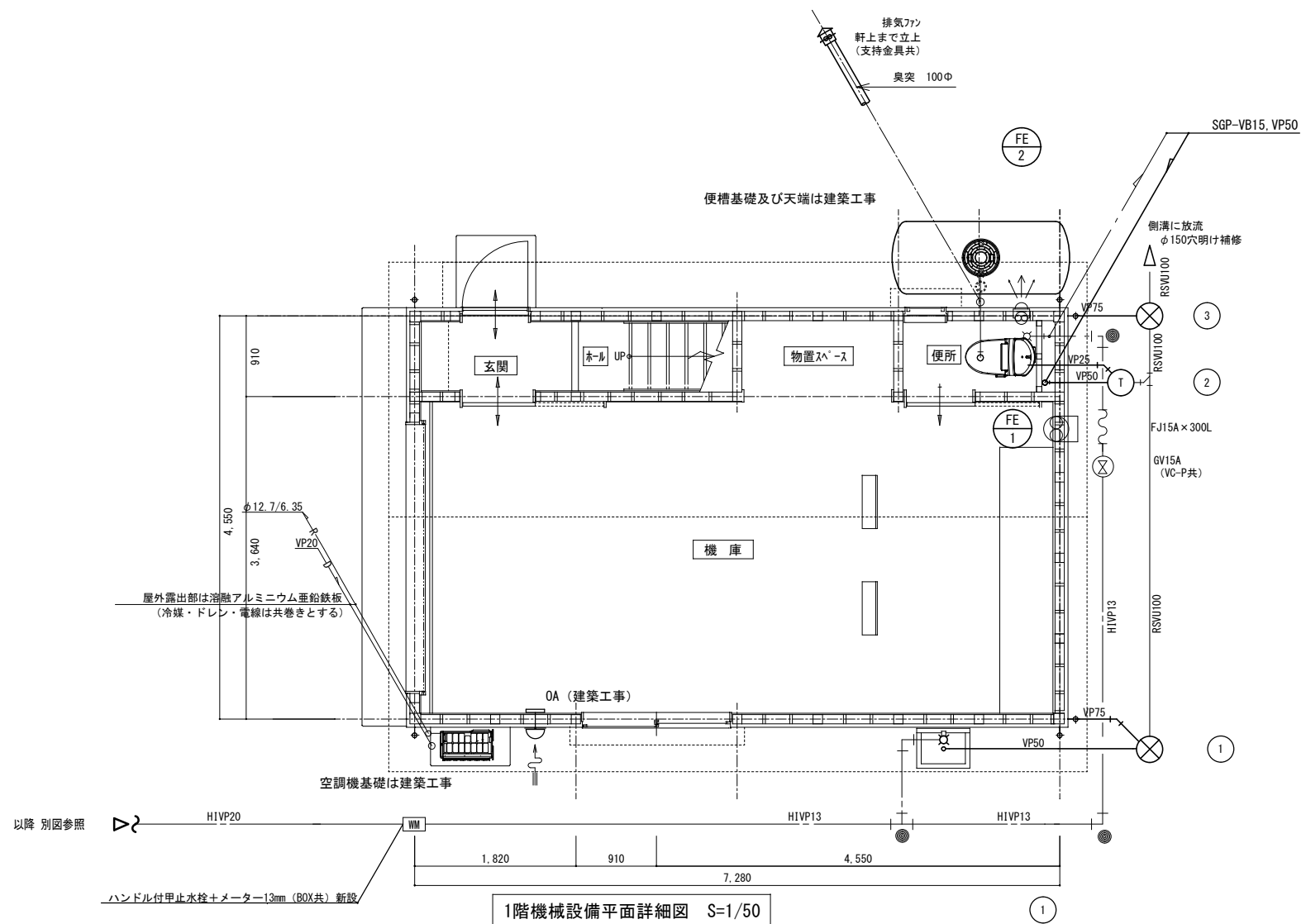
品名	仕様	数量
洋風大便器	ATW-50N, TS670F1U, 他付属品一式	1
タオルリング	YHT100	1
便槽	NYU4-9 同等品 (横型・横引配管) 960L ロック付FRP製マンホール、排便管類 仮固定バンド2組 SKB-820 同等品 臭突管セット1式 SYD-100A 同等品	1

設置場所	使用参考品番	数量
2階台所	飲料用・洗い物用 台下電気温水器貯湯式 (12L、単相100V、混合水栓、自動給排水機能付)	1
	アングル形止水栓、連結管 REKB12A12SW35D, TL347CU	1
屋外ガーデンパン	キー式横水栓 T28AKUH13	1
	水栓柱 樹脂製 □70×900L	1
	レジコン製ガーデンパン 前澤化成工業 SPR550同等品、取付付属品共	1

記号	名称	樹寸法	参考管底高	蓋仕様・備考
①	ため樹(ホリフピレ製)	φ300	GL-200	レジコン製(密閉型) (泥溜め≥150mm) (新設)
②	トラップ樹(ホリフピレ製)	φ300	GL-200	レジコン製(密閉型) (泥溜め≥200mm) (新設)
③	ため樹(ホリフピレ製)	φ300	GL-250	レジコン製(密閉型) (泥溜め≥150mm) (新設)

【注】樹の管底寸法は参考とする。放流先の状況に応じて現地調整のこと。

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事	No.	M-02
図面名	機械設備配置図	縮尺	A3 1/150
岡山市	都市整備局 住宅・建設部 公共建築課	令和8年4月	M-03
課長	課長補佐	係長	係員
			担当者
			承認
			検閲
			製図



記号	配管サイズ		室外機～室内機 連絡電線(冷媒管共巻き)
	ガス側	液側	
R	φ12.7 ×	φ6.35	EM-EEF2.0□-3C

換気量計算表

階	室名	床面積(A) [m ²]	天井高(H) [m]	換気回数(N) [回/h]	必要換気量(V) [m ³ /h]	備考
1	機庫	26.50	2.70	5	V=AHN =26.50x2.70x5≒358[m ³ /h]	FE-1
1	便所	1.66	2.35	15	V=AHN =1.66x2.35x15≒58.5[m ³ /h]	FE-2
2	詰所	19.87	2.40	0.3	V=AHN =(19.87x2.40+6.62x2.46)x0.3 ≒19.2[m ³ /h]	FE-3 シックハウス対策
	湯沸かしコーナー	6.62	2.458			
2	詰所	19.87	2.40	-	<人員密度による計算> V=30An (n=0.5) =30x26.50x0.5≒398[m ³ /h] を満足のこと。	FE-4
	湯沸かしコーナー	6.62	2.458			

換気機器リスト

記号	階	設置場所	機器名称	機器仕様				換気量判定 (必要換気量<機器風量 ならOK)
				材質等	参考型番	機器風量[m ³ /h]	台数	
FE-1	1	機庫	壁付換気扇(スタンダードタイプ)	羽根径200φ、引きひもなし、コンセントプラグ付き、電気式シャッター、1φ-100V	EX-20EH _o	588	1	358[m ³ /h] < 588[m ³ /h] OK
			ウェザーカバー	ステンレス製	P-20CVS _o	-	1	
			ウェザーカバー用防鳥網	ステンレス製	P-20CS _a	-	1	
FE-2	1	便所	パイプ用ファン	ダクト径100φ、連結端子、電気式シャッター、1φ-100V	V-08PD _o	85	1	58.5[m ³ /h] < 85[m ³ /h] OK
			パイプスリーブ	プラスチック製	P-13PSP	-	1	
			深形フード	ステンレス製・防虫網付き(#10)	P-13VSQ _a	-	1	
			木枠	-	W-202	-	1	
FE-3	2	詰所	パイプ用ファン	ダクト径100φ、24時間換気機能付き、連結端子、角形格子グリル、1φ-100V	V-08KLD _a	38	1	19.2[m ³ /h] < 38[m ³ /h] OK
			パイプスリーブ	プラスチック製	P-13PSP	-	1	
			深形フード	ステンレス製・防虫網付き(#10)	P-13VSQ _a	-	1	
			コントロールスイッチ	24時間換気専用	P-11SWL ₂	-	1	
FE-4 (建築工事)	2	湯沸かしコーナー	レンジフードファン	羽根径250φ、引きひもなし、コンセントプラグ付き、電気式シャッター、1φ-100V 本体: 銅板製、羽根: アルミ製	VDS-604L	650	1	398[m ³ /h] < 650[m ³ /h] OK
			ウェザーカバー	ステンレス製	P-25CVS _o	-	1	
			ウェザーカバー用防鳥網	ステンレス製	P-25CS _o	-	1	
			木枠	-	W-252	-	1	

新設空調設備 機器リスト

※機器はグリーン購入法適合品とする。
※冷暖房能力は定格能力を示す。インバーターの可変幅及びその他の数値は参考値とする。

記号	名称	仕様・型式・付属品	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電源・電動機出力			運転電流		台数	設置場所	
					φ-V	圧縮機 (kW)	室内ファン (kW)	室外ファン (kW)	冷房時 (A)			暖房時 (A)
ACP 1	空冷ヒートポンプ パナソニック形エアコン	壁型 P56形 ベア 冷媒: R-32 APF: 5.0以上 ワイヤレスモコン	定格5.0	定格5.6	1-200	0.6以内	0.03	0.06	8.7	8.9	1	2階詰所 (参考型番: PA-P56K7SHBX)

工事名	岡山市消防団大野分団機庫新築工事			N. No.	M-03
図面名	1・2階機械設備平面詳細図 機器リスト			縮尺	A2 1/50
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月	M-03
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認
					検図
					製図

● 地中埋設標示ピンを示す